

廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での 廃棄物等の存否に係わる確認調査の実施結果

1. 概要

豊島処分地内の地下水浄化対策として実施していた F G 3 4 付近のつぼ掘り拡張工事中に、新たに廃棄物等（汚泥）が 2 か所で見つかったことを受け、豊島処分内の他箇所でも存在する可能性は否定できないため、「廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での廃棄物等の存否に係わる確認調査の実施計画」に基づき筋掘りを行った結果を取りまとめた。

2. 調査に至った経緯

これまで、廃棄物等の底面掘削時は県職員が立会い、掘削後には、「廃棄物等の掘削完了判定マニュアル」に基づき現地において豊島住民会議の関係者も立会いの下、豊島廃棄物等処理事業管理委員会の技術アドバイザーが廃棄物等の掘削・除去されたことを確認してきた。さらに、つぼ掘り部や施設設置部を除く箇所において電磁法探査を実施し、金属物が埋設されていないことを確認しており、その時点で最善と考えられる方法により廃棄物等の残存がないよう、確認を行ってきた。

しかしながら、今回、豊島処分地内の地下水浄化対策として実施していた F G 3 4 付近のつぼ掘り拡張工事中、平成 30 年 1 月 25 日と 2 月 20 日に、新たに廃棄物等（汚泥）が 2 か所で見つかった。これらの廃棄物等はこれまでのつぼ掘りより相当厚く覆土されており、掘削完了確認時の地表土壌面からは、その存在が確認できない状態にあった。

これらは稀な事態とはいえ、今後、豊島処分内の他箇所でも存在する可能性は否定できないため、廃棄物等の存否の確認調査を実施するものとした。

3. 筋掘り調査の方法

第 3 回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（平成 30 年 3 月 24 日開催）において了承された「廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での廃棄物等の存否の確認調査の方針」と「廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での廃棄物等の存否に係わる確認調査の実施計画」に示したとおり、処分地内の調査対象区画を重機による掘削可能量（1 日）により 29 区画に分け、間隔 5 m のピッチで幅 1 m、深さ 2.0m（現地盤は TP=2.7m であり、地表からの深さ）の筋掘りを実施することとした。

4. 筋掘り調査の結果

筋掘り調査は、平成 30 年 4 月 12 日から 5 月 18 日にかけて行い、その実施状況について、P 3 ではその範囲を平面図で示し、P 4 では各日の作業状況を、P 5 以降では写真日報を掲載している。

筋掘り調査において、P 3 に示す箇所から廃棄物が見つかり、その内訳は H 測線付近で汚泥及び金属塊が出現しており、F 3 4 付近で汚泥が出現している。

なお、㊸と㊹区画については、現在、地下水浄化対策に使用するコンクリートヤードを設置しているため、撤去後に筋掘りを行う予定である。

5. 電磁法探査結果との比較

P91にあるように、最終混合面や仮置きヤードの施工に影響のない範囲については、平成28年4月より電磁法探査を行っており、その探査結果と今回の廃棄物の出現箇所を重ねたものをP92に掲載する。

電磁法探査未実施のH測線付近において汚泥及び金属塊が、電磁法探査実施範囲のF34付近において汚泥が確認された。

6. 廃棄物等の掘削状況

筋掘り調査にて確認された廃棄物等の掘削は、P4の作業状況に示すとおり、筋掘り作業と併せて行っており、その結果について、各日の写真日報とP93に出現した廃棄物等の一覧表としてまとめている。

筋掘り調査にて確認された廃棄物等は、汚泥が約489トン、内容物入りドラム缶が約3トン、空ドラム缶が約2.2トン、合計で約495トンとなった。

7. 廃棄物等の性状検査結果

性状検査結果の概要をP94に、有害物質の溶出量及びダイオキシン類の含有量試験結果等をP95～97に示す。

汚泥については、全ての項目で特別管理産業廃棄物の判定基準を下回っていた。

なお、一部の内容物入りドラム缶（固体）については、鉛又はその化合物、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン、ベンゼンが特別管理産業廃棄物の判定基準を超過しており、また、内容物入りドラム缶（液体）については、引火点が低く特別管理産業廃棄物に該当する結果であった。

8. 今後の対応

掘削した廃棄物については、「廃棄物等の搬出完了後に豊島処分地において新たに廃棄物が見つかった場合の対応マニュアル」にのっとり、それぞれ実施する性状検査結果を踏まえ、有効利用のことも含めて、フォローアップ委員会の指導・助言を受け、本年1月2月に見つかった廃棄物と併せて、なるべく早い時期に適正に処理していくこととする。

**廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での
廃棄物等の存否に係わる追加の確認調査の実施計画
(区画②⑨⑲⑳の追加調査)**

1. 背景

豊島処分地内の地下水浄化対策として実施していた F G 3 4 付近のつぼ掘り拡張工事中に、新たに廃棄物等（汚泥）が 2 箇所で見つかったことを受けて、第 3 回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会（H30. 3. 24開催）において報告した「廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での廃棄物等の存否に係わる確認調査の実施計画」（資料 3 ・ II / 1 - 4、別添 1 参照）に基づき筋掘り調査を行った結果、F G 3 4 付近と H 測線付近の大きく 2 つの箇所から集中して廃棄物が確認された。

今般、仮設テント等で一時保管していた廃棄物等の性状検査結果が判明し、検査結果に応じて効率的な一時保管が可能となりコンクリートヤードで一時保管していた廃棄物等（約 30 t）を仮設テントに移動したことや、コンクリートヤードの水洗浄処理設備の一部を整理したことにより、コンクリートヤードを 300 t 程度の廃棄物等の一時保管場所として確保できたため、これまでの確認調査で取り残しがないかの確認をするとともに、地下水浄化作業への影響の可能性も考慮し、「廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での廃棄物等の存否に係わる追加の確認調査」（以下「追加の確認調査」という。）を実施することとする。

2. 追加の確認調査箇所の選定

廃棄物等が確認された箇所の周辺情報として 30mメッシュごとの地下水調査結果を有することから、周辺情報の整理のしやすさを考慮し、筋掘り調査結果を踏まえて実施する追加の確認調査について、地下水概況調査の 30mメッシュの区画（以下「区画」という。）単位で実施する。

廃棄物等が確認された箇所のうち、ドラム缶が見つかった区画②⑨については、第 4 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（H30. 7. 22 開催）において報告した「地下水汚染領域の把握のための調査結果」（※第 4 回 II / 5）のとおり、地下水の高濃度汚染が確認された箇所（区画②⑨⑲）と重複していることから、地下水浄化作業への影響の可能性も考慮し、これまでの確認調査で取り残しがないかの確認を行う。

また、汚泥が見つかった区画⑲⑳のうち、区画⑲（区画⑲については、これまでの調査で区画内全域の廃棄物等の存否を確認済である。）についても、これまでの確認調査で取り残しがないかの確認を行う。

さらに、区画⑳については、汚泥が見つかった区画の付近であり、かつ、地下水の高濃度汚染が確認された箇所と重複していることから、今後の地下水浄化作業への影響の可能性も考慮し、あわせて確認を行う。

これらを踏まえ、調査対象区画を図 1 に示す区画②⑨⑲⑳とする。

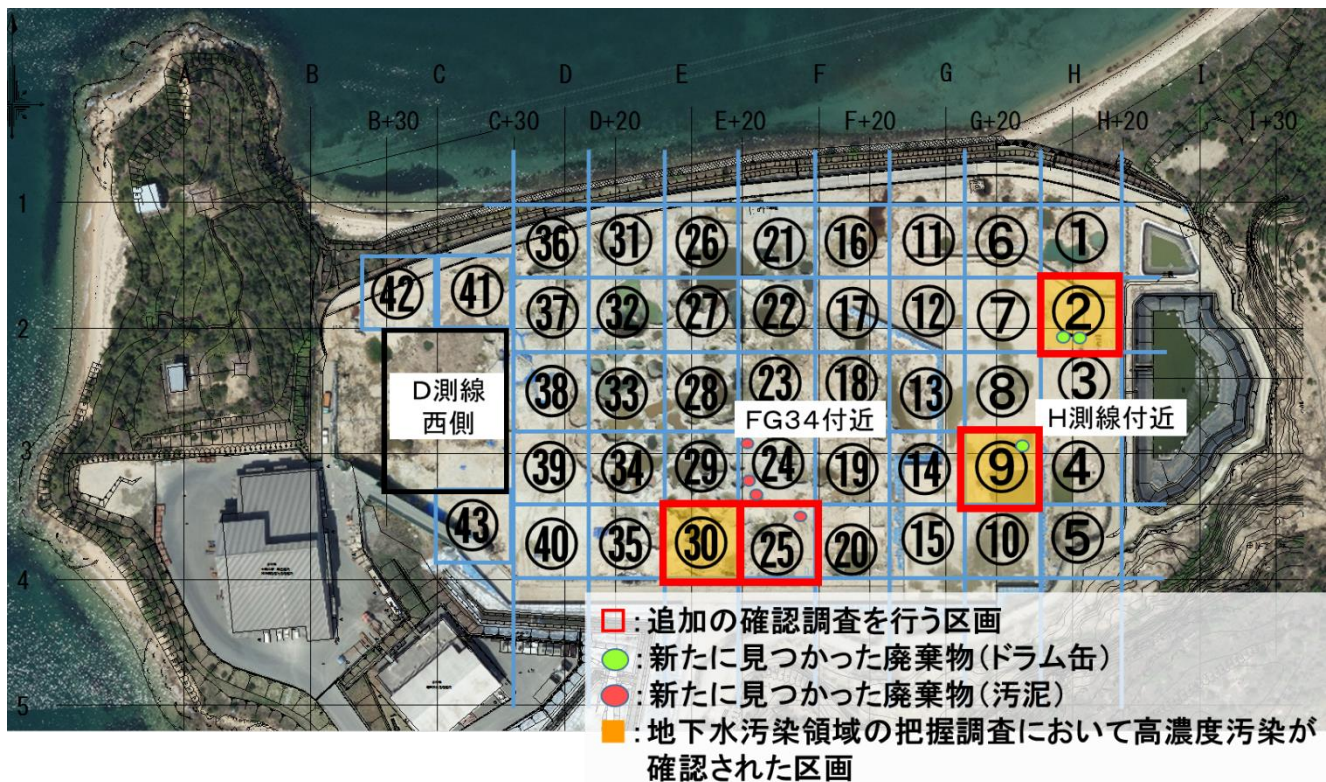


図1 調査対象区画

3. 追加の確認調査の方法

調査対象区画内全てにおいて、筋掘り調査を行った調査深度 (TP+0.7m) まで掘削を行い、廃棄物等の存否を確認する。

また、掘削中に地下水のしみ出しがあった場合、地下水を適切に排除し、安全な作業環境が確保されたことを確認してから廃棄物等の存否を確認する。

なお、掘削後の状況から安全への配慮が必要と考えられる場合は、埋め戻しや押え盛土等の安全対策を適切に行う。

4. 廃棄物等の存在が確認された場合の対応

豊島廃棄物等の搬出完了後に、豊島処分地で新たに廃棄物が見つかった場合の対応は、「廃棄物等の搬出完了後に豊島処分地において新たに廃棄物等が見つかった場合の対応マニュアル」(資料3・Ⅱ/1-1)に基づき、全て掘削・除去し、適正に処理することが定められていることから、本調査により廃棄物等が確認された場合も同様に対応するものとする。

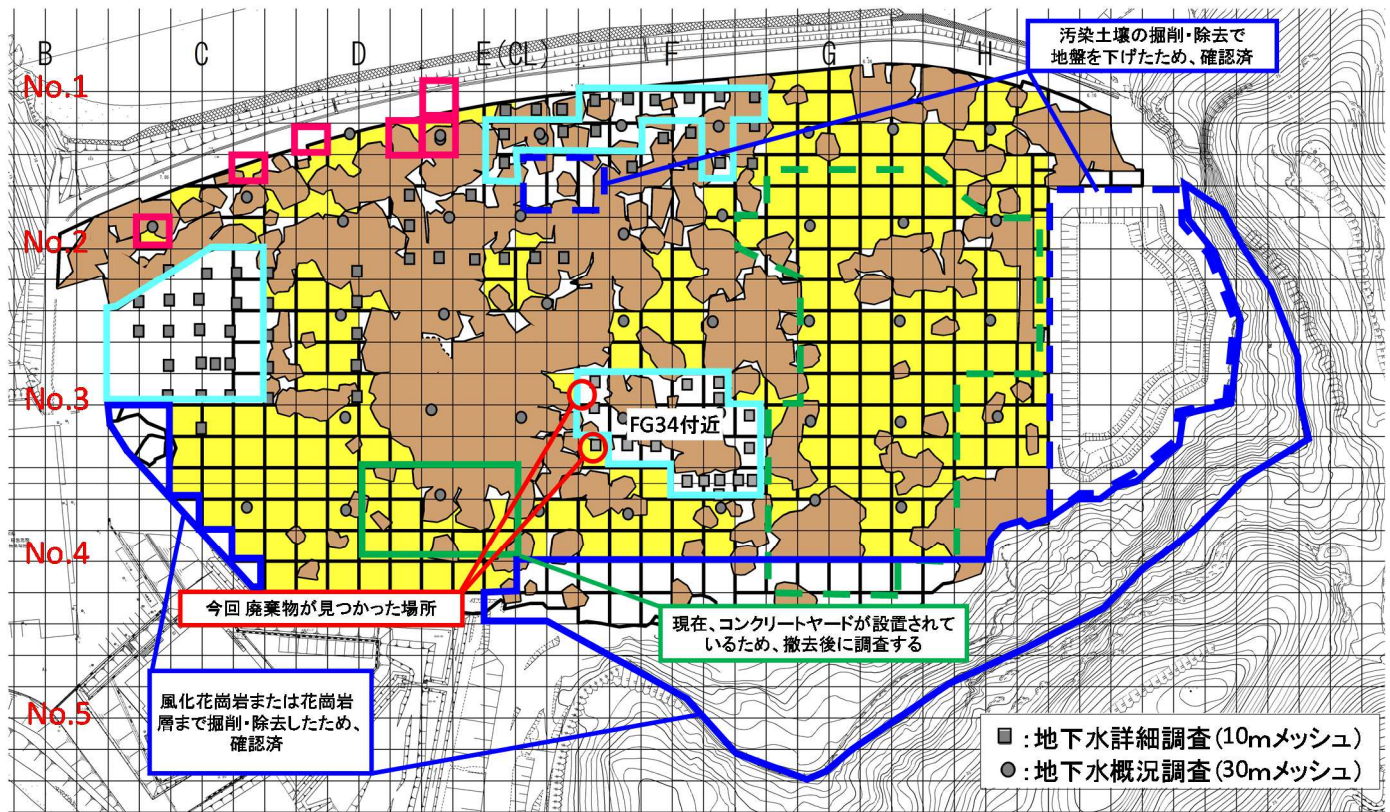
<参考>

コンクリートヤード下の廃棄物等の存否に係わる確認調査については、「廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での廃棄物等の存否に係わる確認調査の実施計画」において、「現在、コンクリートヤードが設置されているため、撤去後に調査する」とされていることから、追加の確認調査の結果及び廃棄物等の一時保管場所の状況を踏まえ、コンクリートヤードの撤去が可能となった時点で実施する予定としている。

廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での 廃棄物等の存否に係る確認調査の実施計画

1. 調査区画の選定結果

「廃棄物等の搬出完了後における豊島処分地での廃棄物等の存否の確認調査の方針」に基づき、以下の平面図の 227 区画を調査対象区画とする。



豊島処分地の平面図

 調査対象区画	 コンクリートヤード
 豊島住民会議からの要望箇所	 最終混合面及び仮置きヤード
 つば掘りがあった箇所	 岩盤部（風化花崗岩又は花崗岩まで掘削済）
 地下水対策地点	 汚染土壌掘削部

2. 調査方法

調査対象区画で、幅 1 m で間隔 5 m ピッチ、現地盤から 2.0m まで筋掘りをする。掘削に当たっては、豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会委員あるいは技術アドバイザーの指導・助言をいただきながら、掘削物及び筋掘り部分について、目視により確認を行うとともに、廃棄物等の可能性があるものが見つかった場合は熱灼減量により廃棄物等かどうかの判断をする。

3. 今後の対応

本調査やつば掘り拡張工事等で廃棄物等が確認された場合には、「廃棄物等の搬出完了後に豊島処分地において新たに廃棄物等が見つかった場合の対応マニュアル」（資料 3 ・ II / 1 - 1）に基づき、速やかに全て掘削・除去し、適正に処理する。

第 4 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会の審議概要

第 3 回豊島処理事業フォローアップ委員会（H30. 3. 24）以降に開催された、第 4 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（H30. 7. 22）の審議結果の概要は以下のとおりである。

第 4 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（H30. 7. 22）

1. 豊島処分地の地下水浄化対策等の概況（報告）

各汚染地点での地下水浄化対策の概況についてとりまとめたものを説明した。

<委員からの意見等>（※【 】は県の対応、以下同じ）

○つば掘り拡張区域については、積替施設が埋まっているので中断しているが、更に掘削していくかということ、深い層の汚染状況とその対策と併せて考えた方がいい。

【意見を踏まえ、検討を進める。】

2. 地下水調査結果の状況

（1）D 測線西側

（1）－ 1 D 測線西側の地下水質の状況（定期モニタリング）（報告）

揚水浄化対策を実施している D 測線西側において、平成 30 年 5 月及び 6 月に実施したモニタリング結果を報告した。

<委員からの意見等>

○（C, 2 + 4 0）の深い層の濃度と水位が大きく減少している。集水井で大きく掘り下げた影響がでているのかもしれない。

（1）－ 2 D 測線西側の集水井の設置工事（報告）

D 測線西側で設置工事中の集水井の進捗状況について、縦孔の掘削及び横ボーリングの第 7 層部分の掘削が完了したこと並びに各段階における水質調査結果を報告した。

<委員からの意見等>

○水量と濃度を適宜見ていくことで汚染物質の取り除けた量が出せるので測定してほしい。

○100 m³も集まってきていると井戸が崩壊するかもしれないので注意してほしい。

（2）井戸側の水質の状況（報告）

井戸側を設置する 7 つの区画について、井戸側を設置した後、水質調査を実施したところ、㊸の区画と㊹の区画に設置してある井戸側において、排水基準を超過していた。その他の井戸側については、排水基準を満足していたことから、今後は排水基準を超過していた㊸と㊹の 2 つの区画の井戸側について揚水対策を実施することを報告した。

<委員からの意見等>

○汚染水の繋がりを考察するために一般水質項目を測ってほしい。

【次回調査時に併せて測定する。】

3 地下水浄化対策の工事等の実施状況

(1) 油混じり水周辺土壌の洗浄浄化業務（報告）

油混じり水周辺土壌について、平成 30 年 4 月に掘削を完了し、洗浄を行い 100 m³毎に分けた 3 つのロットの分析結果を示した。なお、各ロットについてはそれぞれ 2 回ずつ洗浄を実施した。

また、ダイオキシン類の洗浄目標値について、海域の底質への影響を考慮して 250pg-TEQ/g としていたが、廃棄物等の掘削完了判定マニュアルで定める土壌の完了判定基準と同じ 1,000pg-TEQ/g へと変更することを報告した。

<委員からの意見等>

- 3 回目の洗浄を行うと濃度は下がると思うが、どれだけ下がるかはやってみないとわからない。どうしても駄目であったら、もう少し分級をしっかりとらさうか。

【ダイオキシン類の洗浄目標値を、250pg-TEQ/g から 1000pg-TEQ/g とした変更を廃止する。】

(2) 応急的な整地工事（報告）

応急的な整地工事については、本年 8 月に完了する予定で、現在（E，4）のところに集水柵の設置工事中であることを報告した。

<委員からの意見等>

- 特になし。

【平成 30 年 7 月豪雨等の影響で工事が遅れており、9 月末には完了予定である。】

4 処分地内の水管理

(1) 水質検査項目の見直し（審議）

廃棄物の撤去が完了し、新たに汚染されるおそれなくなったことから、平成 29 年 3 月以降の各調査において検出されなかった項目や、水質汚濁防止法により海域への放流で規制されていない BOD 等の項目を除き、今後の水質検査項目を整理したことについて審議を行った。

また、沈砂池 1 については、応急的な整地工事が完了した後は第 1 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（H29.9.3 開催）において了承済みである自然越流方式へと切り替え、これまでの放流ごとの測定を廃止することについて審議を行った。

<委員からの意見等>

- BOD を外すことは妥当だと思う。廃棄物処分場から出てくる水というのは、BOD は低くて COD が高いという傾向があり、また、COD の分析においては、BOD の成分も含めて測ることになるので、BOD を外して COD のみで監視をすることは妥当である。
- 沈砂池 1 については、自然越流方式にした後にも定期的なモニタリングとして調査は必要と考えられる。

【沈砂池 1 について、整地工事が完了するまでの水質検査の結果を踏まえ、問題がないことを確認したうえで定期モニタリングに切り替える。】

(2) 新たな排水処理装置による処理の検討（審議）

現在、設置工事を進めている D 測線西側の集水井において、日量 100 m³を超える水が揚がっており、高度排水処理施設の処理量の日量 80 m³を超えていることから、活性炭素繊維を用いて VOC 及び 1,4-ジオキサンを吸着除去する設備の設置について審議を行った。

<委員からの意見等>

- 処理原水の水質をトリクロロエチレン、ベンゼン及び 1,4-ジオキサンについて 1 mg/L としてい

るが、4.3mg/Lで検出されているデータもあるので、安全を見て5mg/Lくらいにしておいた方がよい。

- 1,4-ジオキサンが活性炭に吸着するということが理解しにくいので、きちんと実証試験をすること。また、油などの夾雑物により妨害が起こることも考えられるので、現場の水で試験をすること。

【試験に当たっては、現場の水を実際に送って試験をする計画を立てている。】

(3) 大雨による処分地の状況（報告）【資料Ⅱ／4－3】

7月5日から8日にかけて降った雨（平成30年7月豪雨）による処分地の状況について報告した。

<委員からの意見等>

- 特になし。

5 地下水汚染領域の把握のための調査結果（報告）

地下水汚染領域の把握のための調査として、地表から5m深度及び10m深度において地下水調査を実施した結果、②、⑨及び⑩の区画において高濃度汚染が見つかったことを報告した。また、その他の区画の多くにおいても排水基準値の超過が確認されていた。

<委員からの意見等> 資料5～7は関連性が非常に高いので、資料7のところに併せて記載した。

6 深い層の地下水浄化対策の方法の検討（審議）

地下水汚染領域の把握のための調査で汚染が広範囲に及んでいた結果を受けて、深い層の地下水浄化対策の方法について整理・検討を行った結果、原位置分解の化学処理が、豊島処分地における深い層の地下水浄化方法の候補となることを提案した。

<委員からの意見等> 資料5～7は関連性が非常に高いので、資料7のところに併せて記載した。

7 今後の深い層の地下水浄化対策の進め方（案）（審議）

今後の深い層の地下水浄化対策の進め方として、資料5及び資料6を受け、高濃度地点（②、⑨及び⑩）からの広がりを見直し、この②⑨⑩の地点において優先的に対策を進め、対策方法については、化学処理を検討することについて審議した。化学処理における具体的な手法（薬剤注入法や、土壌攪拌混合等）は今後、検討を進め、また、現在揚水対策中であるD測線西側等についても化学処理による原位置浄化の適用性を検討するとした。

<委員からの意見等>

- 濃度が非常に高い②、⑨、⑩というのは、集水状況が非常に悪く、希釈度合が低いために高濃度になっている可能性もある。
- 北海岸側や、FG34付近の浅い層の汚染については、掘削対応としていたが、深い層の汚染と併せて化学処理の方が効率的である可能性があるため検討してほしい。
- ②⑨⑩のところは水の流れが非常に遅いようなので、たぶん、地下水に注入する方法は無理で、土壌と薬剤を混合する方法が必要であろう。

【意見を踏まえ、検討を進める。】

油混じり水周辺土壌の洗浄浄化における洗浄目標の変更の廃止

1. これまでの経緯

平成 30 年 7 月 22 日開催の第 4 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において、ダイオキシン類の洗浄目標値を 1000pg-TEQ/g に変更したことを報告した。

これに対し、豊島住民会議から、「ダイオキシン類の洗浄目標値を 1000pg-TEQ/g に変更することにはただちに同意できない」との意見があったことから、県としては、この意見を踏まえ、最大限の努力をするという意味で、再度の洗浄を行った。

3 回目の洗浄を行った結果、ダイオキシン類の当初の洗浄目標値 250pg-TEQ/g を満足した。

2. 洗浄目標の変更の廃止

県としては、洗浄後の土壌を処分地内の不特定の場所に埋め戻すことを想定し、ダイオキシン類の洗浄目標値 250pg-TEQ/g を前回 1000pg-TEQ/g とした変更を廃止する。

表 1 油混じり水周辺土壌の洗浄浄化結果

検査項目	1 ロット目			2 ロット目			3 ロット目			洗浄 目標値
	1 回 洗浄後	2 回 洗浄後	3 回 洗浄後	1 回 洗浄後	2 回 洗浄後	3 回 洗浄後	1 回 洗浄後	2 回 洗浄後	3 回 洗浄後	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	900	330	110	480	280	94	1100	310	100	250
P C B (mg/L)	0.0011	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出され ないこと

※ ダイオキシン類は含有量試験、P C B は溶出量試験である。

台風による処分地の状況

1 概要

平成 30 年 8 月 23 日に香川県に最接近した台風 20 号及び 9 月 4 日に最接近した台風 21 号による処分地の状況については、表 1 及び別紙 1 のとおりである。軽微な施設の損傷はあったが、特段の影響はなかった。

表 1 台風による処分地の状況

時期	降雨量	状況等
8 月 23 日 (台風 20 号)	約 40 mm	●北海岸の一部で植生土囊の崩れ
9 月 4 日 (台風 21 号)	約 36 mm	●処分地入口の門の門の変形

台風による処分地の状況

別紙1

2



平成30年8月24日(北海岸)及び9月4日(その他)撮影【航空写真はH29.4.1現在】

高度排水処理施設の定期点検整備の状況

1. 概要

高度排水処理施設及び屋外に仮設している水処理装置の定期点検整備の状況について報告する。

2. 高度排水処理施設の定期点検整備

(1) 実施状況

高度排水処理施設において、表 1 の定期点検整備の工程に示すとおり、平成 30 年 5 月に凝集膜ろ過装置の薬品洗浄（年 3 回計画のうち 1 回目）を実施した。

表 1 定期点検整備の工程

No	項目	5月																															概要
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木			
1	凝集膜ろ過装置点検整備																																
	膜ろ過薬品洗浄																																

○凝集膜ろ過装置（2基）

セラミック膜モジュールの有機及び無機成分洗浄を目的とした薬液洗浄を実施した。薬液洗浄の結果、1号機は-0.006MPa から 0.003MPa に、2号機は-0.010MPa から 0.003MPa に復帰しており、どちらも正常な運転状況を確認した。

今後とも設備が安定運転出来るよう、定期的に薬液洗浄を実施する予定としている。

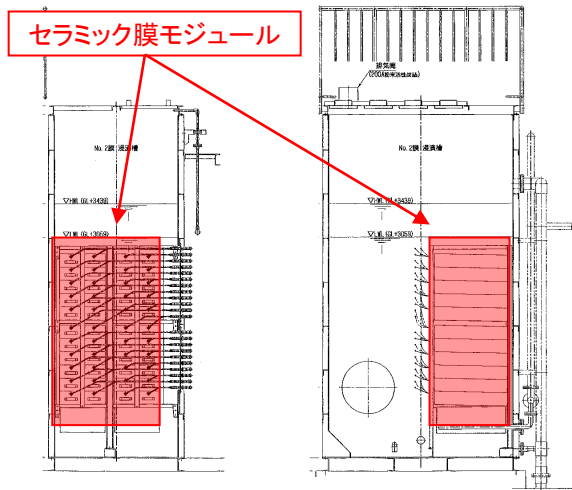


図 1 凝集膜ろ過装置 構造図

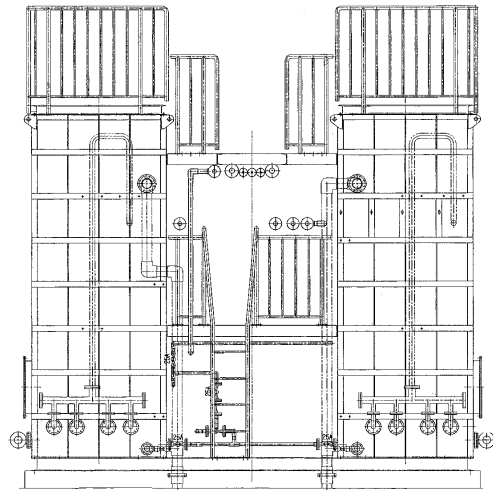


図 2 凝集膜ろ過装置 全体図



写真 1 セラ膜 No, 1 (薬品洗浄後)



写真 2 セラ膜 No, 2 (薬品洗浄後)

(2) 今後の予定

今後、表2に示すとおり、定期点検整備の実施を予定している。

表2 高度排水処理施設全体計画工程表

No	項 目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
1	原水調整槽清掃作業																																				
	第3, 4																																				
	5槽+沈砂槽																																				
2	トソ送水ポンプ点検整備																																				
	トソ送水ポンプ2号																																				
3	脱臭ファン点検整備																																				
	脱臭ファン1, 2号																																				
4	凝集膜ろ過装置点検整備																																				
	凝集膜薬液洗浄(年3回)																																				
	膜汚泥引抜ポンプ1, 2号																																				
	水槽内部全面補修																																				
5	紫外線照射装置点検整備																																				
	紫外線照射装置																																				
6	ポンプ設備点検整備																																				
	ポンプ発生装置																																				
	PSA酸素発生器																																				
	ポンプモニター																																				
7	活性炭塔バルブ更新																																				
	バルブ更新																																				
8	ポンプユニット点検整備																																				
	計装用ポンプユニット																																				
	バック用ポンプユニット																																				
9	薬注ポンプ更新																																				
	薬注ポンプ13台																																				
10	計装機器点検整備																																				
	PH計, DO計, ORP計, UV計, SS計																																				
11	電気設備点検整備																																				
	中央監視盤、動力制御盤																																				

3. 凝集膜分離装置、活性炭吸着塔及び加圧浮上装置の定期点検整備計画（案）

屋外に仮設している水処理装置（凝集膜分離装置、活性炭吸着塔及び加圧浮上装置）の整備については、これまで、日常の点検整備及び消耗品の交換のみを実施している。

今後、これらの水処理装置について、平成34年度まで稼働させる可能性があることを考慮し、処理運営に支障がないよう予防保全の観点から定期点検整備計画（案）について検討した。

(1) 凝集膜分離装置（1基）

設置日：平成24年2月 処理量：50 m³/日

処理対象：ダイオキシン類、COD、SS

整備理由：今後の処理量増強計画において装置の使用頻度が多くなることが予想され、さらに耐用年数（一般的に7～10年）を考慮し、主要機器の整備を計画した。

表3 凝集膜分離装置の定期点検整備計画（案）

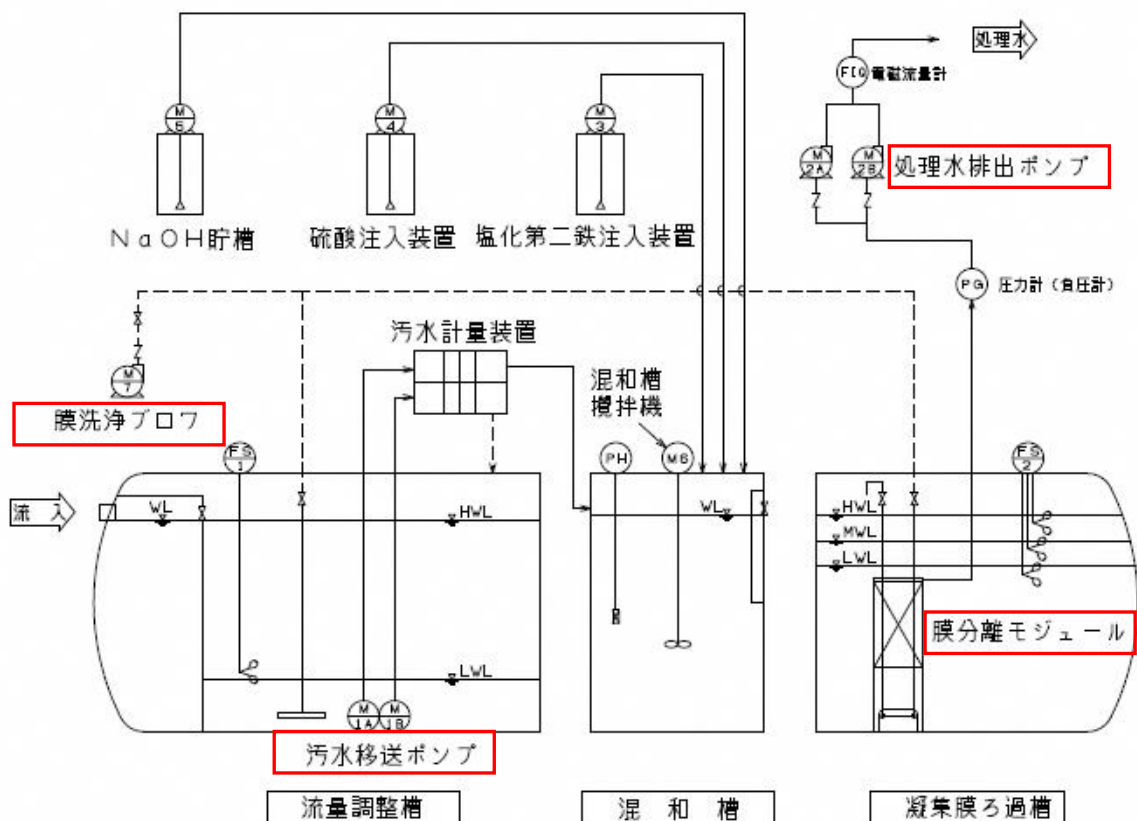


図3 凝集膜分離装置の処理フロー

(2) 活性炭吸着塔（1基）

設置日：平成26年3月 処理量：200 m³/日

処理対象：COD

整備理由：活性炭が吸着した有機物が腐り処理水に影響する事が考えられるため、活性炭の交換が必要。また、流量計について、ひび割れによる損傷が確認されており、交換が必要。

表4 活性炭吸着塔の定期点検整備計画（案）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
活性炭吸着塔									
活性炭原水ポンプ									
逆洗ポンプ									
放流ポンプ									
活性炭	交換	交換	交換			交換			
切替バルブ									
その他						流量計交換			

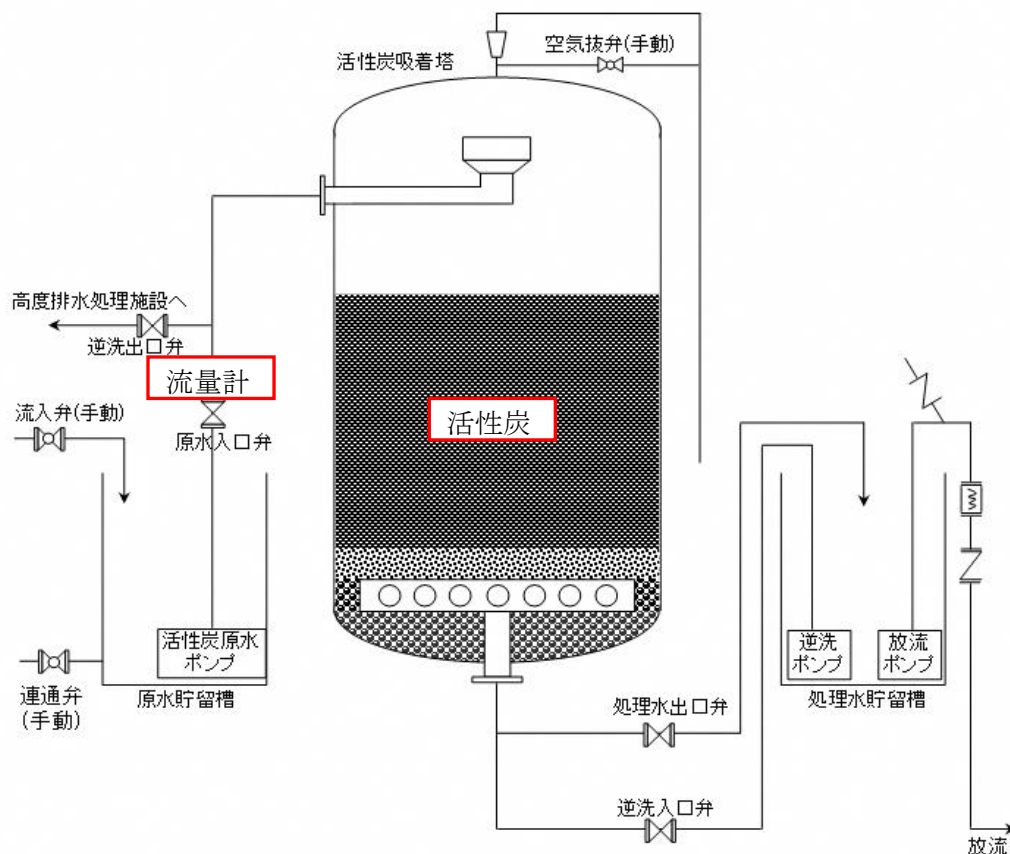


図4 活性炭吸着塔の処理フロー

(3) 加圧浮上装置（1基）

設置日：平成27年8月 処理量：120 m³/日

処理対象：油分

整備理由：屋外設置の機器に発錆・紫外線劣化が多く見られる。また現在行っている土壌洗浄の排水処理により運転時間が増えている為、予防保全の観点から主要機器の交換を推奨する。

表5 加圧浮上装置の定期点検整備計画（案）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
加圧浮上装置								
苛性ソーダ注入ポンプ								
塩鉄注入ポンプ					交換			
ポリマー注入ポンプ					交換			
原水ポンプ	1号				交換			
	2号				交換			
反応槽攪拌機								
凝集槽攪拌機								
浮上分離槽攪拌機								
スカム移送ポンプ								
加圧水ポンプ					交換			
処理水移送ポンプ					交換			
ピットポンプ								
その他								

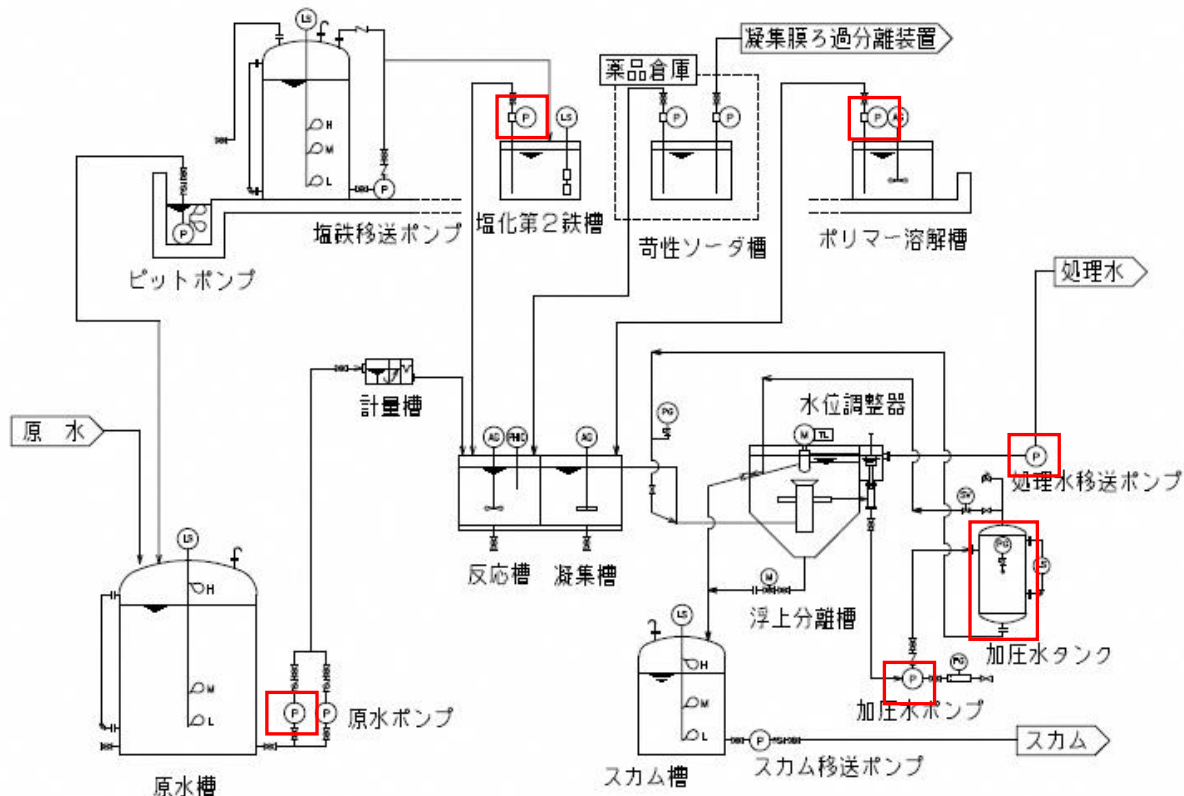


図5 加圧浮上装置の処理フロー

環境計測及び周辺環境モニタリングの結果

1. 環境計測

(1) 豊島における環境計測(地下水調査)結果について

……………平成 30 年 2 月、5 月、6 月及び 8 月調査

- ・観測井 9 地点 (A 3、B 5、C 1 北、C 1 南、C 3 北、C 3 南、DE 1、F 1 東、F 1 西) については、これまでの調査結果と特段の差異は見られなかった。
- ・D 測線西側の観測井については、揚水井の設置時に環境基準値を満足していなかった 5 項目 (トリクロロエチレン、クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン及び 1,4-ジオキサン) についてのモニタリングを平成 26 年 4 月から実施している。浅井戸については概ね排水基準値を満足してきたが、深井戸についてはどの地点についても排水基準値を超過していた項目があった。

(2) 豊島における環境計測(北揚水井)結果について……………平成 30 年 6 月調査

- ・北揚水井の水質は生物化学的酸素要求量 (BOD)及び化学的酸素要求量(COD)が管理基準値を満たさなかった。

(3) 豊島における環境計測(沈砂池 1)結果について……………平成 30 年 7 月調査

- ・全ての項目について、管理基準値を満足していた。

2. 周辺環境モニタリング

(1) 豊島における周辺環境モニタリング(水質)結果について……………平成 30 年 5 月調査

- ・事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異は見られなかった。

(2) 豊島における周辺環境モニタリング(西井戸)結果について……………平成 30 年 5 月調査

- ・全ての項目について、管理基準を満足していた。

豊島における環境計測（地下水調査）結果について

地下水の環境計測は、工事の進捗に伴う水質の推移を把握することを目的としている。今回、平成30年2月及び6月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の概要

(1) 調査日

平成30年2月7日(水)

平成30年2月13日(火)

平成30年2月14日(水)

平成30年6月26日(火)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

観測井 9 地点

(A3、B5、C1北、C1南、C3北、C3南、DE1、F1西、F1東)

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

分析機関：環境保健研究センター

2 調査結果の概要（表1～3）

- ・ その他観測井3地点全てにおいて、これまでの調査結果と比較して特段の差異は見られなかった。
- ・ それぞれの観測井において、次の項目が環境基準値を満足しなかった。

観測井A3：砒素及びその化合物、クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、トリクロロエチレン

観測井B5：砒素及びその化合物、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井C1北：ベンゼン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井C1南：クロロエチレン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン

観測井C3北：砒素及びその化合物、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井C3南：クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、
ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井DE1：カドミウム

観測井F1東：クロロエチレン、トリクロロエチレン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井F1西：砒素及びその化合物

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点		A3									地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9		
一般項目	pH	7.0	7.1	6.9	7.1	7.0	6.8	7.0	7.2	6.9	-	-
	BOD	7.5	12	0.8	4.3	0.7	0.9	ND	1.4	1.0	-	0.5
	COD	32	70	17	18	10	21	3.1	3.7	5.7	-	0.5
	大腸菌群数	13	33	33	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	0.1	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.56	0.73	0.40	1.1	0.42	0.59	0.31	1.6	1.2	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.21	0.018	0.029	0.018	0.0091	0.0082	0.0053	0.0019	0.0007	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.054	0.009	0.011	0.004	0.003	ND	ND	ND	0.005	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	1.7	0.32	0.33	0.11	0.071	0.047	0.033	0.022	0.047	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.21	0.023	0.025	0.011	0.007	0.0036	0.0018	0.0011	0.0072	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.15	0.010	0.017	0.022	0.019	0.011	0.006	0.007	0.042	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.022	0.011	0.034	0.0027	0.0012	0.0014	ND	0.0006	0.0007	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.053	0.012	0.012	0.005	0.002	0.002	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.5	1	0.1	
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	4	3	1.6	3	1	1	1	5	3	-	1
	全燐	0.5	ND	0.2	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	68	39	28	23	37	29	24	28	21	-	1
	電気伝導率	51.3	40	32	29.5	14.6	16.1	16.2	15	16	-	0.1
	ニッケル	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	0.016	ND	ND	0.008	0.026	0.022	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	0.002	0.005	0.002	0.002	0.003	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND	0.046	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点	A3									地下水の 環境基準	検出 下限	
	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22			
一般項目	pH	6.8	6.7	6.7	6.9	6.6	6.8	6.9	6.9	6.8	-	-
	BOD	ND	1.0	1.0	0.8	ND	ND	0.8	1.3	1.3	-	0.5
	COD	5.6	3.7	5.1	3.8	7.0	5.0	4.1	3.4	7.9	-	0.5
	大腸菌群数	ND	2	7.8	ND	ND	11	13	ND	350	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	0.008	ND	ND	0.008	0.008	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.26	0.55	0.50	0.70	1.0	0.54	0.27	0.13	0.090	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.0034	0.0063	0.0044	0.0090	0.0040	0.017	0.0023	0.0034	0.0035	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0066	0.010	0.0060	0.0032	0.0057	0.0079	0.0045	0.0036	0.0033	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.007	0.011	0.004	0.002	0.003	0.002	0.004	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.046	0.032	0.030	0.037	0.021	0.024	0.022	0.019	0.010	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.011	0.023	0.0096	0.0029	0.0039	0.0083	0.0025	0.0019	0.0011	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.043	0.066	0.027	0.016	0.021	0.033	0.0026	0.010	0.007	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0057	0.081	0.014	0.0007	0.0014	0.0013	0.0014	0.0007	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	ホル素	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1	0.1
	1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.005
	その他の項目	全窒素	1	1	1	2	4	1	1	1	1	-
全燐		ND	ND	ND	0.2	ND	0.2	ND	ND	0.1	-	0.1
塩化物イオン		25	31	30	32	20	33	31	33	41	-	1
電気伝導率		32.7	30	28	30.8	30.8	32	30	30	32	-	0.1
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
モリブデン		ND	0.028	0.030	0.038	0.022	ND	0.008	0.044	0.016	-	0.007
アンチモン		ND	ND	ND	0.004	ND	ND	0.001	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点	A3									地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.5.22	H25.7.29	H25.11.13	H26.3.17	H26.5.13	H26.7.29	H26.11.25	H27.2.16	H27.5.19			
一般項目	pH	6.8	6.8	6.6	9.8	11.4	7.0	7.0	7.0	6.8	-	-
	BOD	1.3	ND	ND	1.0	ND	ND	1.3	22	0.8	-	0.5
	COD	7.9	3.5	4.2	8.4	7.2	5.2	6.3	49	11	-	0.5
	大腸菌群数	350	2	7.8	ND	ND	280	11	ND	ND	-	-
	油分	ND	ND	0.7	1.1	0.6	ND	0.8	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.090	0.21	0.56	0.49	0.26	0.16	0.22	0.68	29	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.0035	0.0032	ND	ND	0.0022	0.0018	0.012	0.018	0.0059	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0033	0.0037	0.0050	0.0020	0.0031	0.0010	0.016	0.0072	0.016	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	0.002	0.002	ND	ND	0.005	ND	0.008	0.010	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.010	0.022	0.015	ND	0.022	0.054	0.12	0.056	0.082	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.0011	0.0055	0.0049	ND	0.0021	0.016	0.041	0.011	0.029	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.007	0.020	0.015	0.002	0.016	0.033	0.098	0.058	0.091	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	0.0006	0.0007	ND	ND	0.0020	0.0053	0.0059	0.0092	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	0.059	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	砒素	0.2	ND	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	1	0.1
	1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.008	0.05	0.005
	その他の項目	全窒素	1	1	ND	ND	2	1	ND	2	2	-
全燐		0.1	0.2	ND	ND	ND	ND	0.4	0.4	-	0.1	
塩化物イオン		41	38	40	48	57	53	54	50	46	-	1
電気伝導率		32	30	31	32	87	40.9	50.3	43.7	30.8	-	0.1
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
モリブデン		0.016	0.013	0.019	0.12	0.098	0.023	0.007	0.049	ND	-	0.007
アンチモン		ND	0.001	ND	0.004	ND	ND	ND	0.002	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果 (A3地点の推移)

調査地点		A3									地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H27.9.17	H27.11.24	H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.30	H29.5.23	H29.7.26		
一般項目	pH	7.5	7.0	6.8	6.7	7.8	7.1	7.5	7.1	6.8	-	-
	BOD	0.6	ND	1.4	0.6	1.8	1.8	0.5	1.4	2.7	-	0.5
	COD	6.5	5.6	5.7	5.0	6.7	5.1	9.0	7.5	4.3	-	0.5
	大腸菌群数	23	ND	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	ND	0.8	ND	ND	ND	0.6	0.9	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	0.010	0.014	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.64	0.38	0.45	1.1	7.6	0.20	0.47	3.9	0.38	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.017	0.0061	0.0076	0.0052	0.0054	0.0056	0.0014	0.012	0.0052	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0062	0.0083	0.0097	0.0094	0.015	0.0070	0.0035	0.0083	0.012	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.002	0.002	0.006	0.008	0.013	0.004	0.002	0.002	0.010	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.046	0.034	0.027	0.029	0.037	0.020	0.011	0.021	0.033	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.010	0.010	0.017	0.030	0.049	0.014	0.0087	0.011	0.026	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.062	0.049	0.078	0.10	0.15	0.065	0.039	0.059	0.063	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0015	0.0028	0.0026	0.0034	0.0044	0.0017	0.0007	0.0013	0.0038	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.017	0.005	ND	0.005	0.005	ND	ND	ND	0.009	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	2	1	1	1	2	2	5	2	1	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	0.4	0.1	-	0.1
	塩化物イオン	61	49	48	47	50	33	37	70	33	-	1
	電気伝導率	52.5	41.3	39.2	38.4	38.0	34.0	39.6	48.0	37.0	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	0.009	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	0.032	0.014	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5									地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		H12.12.4	H13.3.6	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9		
一般項目	pH	6.3	6.4	6.6	7.1	6.8	6.9	6.7	7.0	6.5	-	-
	BOD	120	55	50	44	43	41	36	29	21	-	0.5
	COD	530	300	370	300	310	220	240	420	300	-	0.5
	大腸菌群数	3.5×10 ²	2.4×10 ²	ND	ND	17	ND	2.0	ND	2.0	-	-
	油分	2.9	4.1	8.9	5.6	4.5	5.5	5.2	4.3	6.1	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	0.018	0.048	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.047	0.022	ND	0.008	0.013	0.012	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.085	0.039	0.018	0.006	0.003	0.002	0.003	ND	0.004	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0017	0.0014	ND	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.22	0.19	0.042	0.014	0.003	0.002	0.006	0.002	0.025	0.01	0.001
	セレン	ND	-	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	4.2	5.0	3.6	3.0	2.0	1.3	ND	0.8	0.8
トリ素	2.1	2.6	3.0	3.1	3.1	2.6	3.0	2.5	2.5	1	0.1	
1,4-ジオキサン	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	14	14	12	10	37	30	31	45	8	-	1
	全燐	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	2,300	1,840	2,000	1,520	1,550	1,330	1,470	1,400	1,400	-	1
	電気伝導率	635	462	694	542	478	314	274	280	560	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アジモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.020	ND	ND	ND	ND	0.010	0.010	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5									地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22		
一般項目	pH	6.8	6.5	6.5	6.6	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	-	-
	BOD	33	43	24	27	15	34	13	4.2	12	-	0.5
	COD	223	240	210	260	160	204	186	179	194	-	0.5
	大腸菌群数	ND	23	ND	ND	ND	ND	49	ND	2.0	-	-
	油分	8.2	5.8	5.4	4.6	4.6	5.2	4.2	3.4	7.0	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	0.005	0.017	ND	0.011	0.007	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.004	ND	0.004	0.005	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	0.0004	0.0005	ND	ND	ND	0.0006	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.020	0.025	0.020	0.022	0.016	0.015	0.013	0.009	0.010	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	0.26	1.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	2.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.4	0.8	0.8
ホウ素	2.6	2.6	4.9	2.8	2.6	2.7	2.6	2.5	2.2	1	0.1	
1,4-ジオキサン	5.1	5.6	5.1	5.2	3.5	4.5	4.1	3.5	3.5	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	9	38	34	28	34	24	17	17	15	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1,400	1,480	1,390	1,330	1,180	1,120	1,080	944	943	-	1
	電気伝導率	502	517	523	502	432	467	399	413	400	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果 (B5地点の推移)

調査地点	B 5									地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25. 7. 29	H25. 11. 13	H26. 3. 4	H26. 5. 13	H26. 7. 29	H26. 11. 25	H27. 2. 16	H27. 5. 19	H27. 7. 27			
一般項目	pH	6.6	6.7	6.8	6.6	6.7	6.6	6.9	6.4	6.6	-	-
	BOD	10	8	16	13	3.2	6.2	17	12	23	-	0.5
	COD	228	215	120	200	100	130	100	110	58	-	0.5
	大腸菌群数	790	2.0	350	1700	33	49	59	170	ND	-	-
	油分	10	8.6	11	7.6	6.2	8.9	4.7	5.9	3.1	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.006	ND	0.006	ND	ND	ND	0.009	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.002	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.013	0.004	0.010	0.030	0.014	0.018	0.007	0.014	0.006	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	1.1	0.9	1.4	1.8	0.8	0.8	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	2.6	2.7	2.5	2.0	2.3	2.0	2.0	1.9	1.2	1	0.1	
1,4-ジオキサン	4.1	3.1	3.3	3.6	2.3	2.3	1.6	2.4	0.85	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	18	4	ND	12	3	8	3	3	5	-	1
	全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1,020	690	704	901	603	967	585	773	330	-	1
	電気伝導率	354	339	320	403	272	336	249	264	195	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	0.018	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点	B5										地下水の 環境基準	検出 下限		
	H28. 2. 9	H28. 5. 24	H28. 7. 26	H28. 11. 8	H29. 1. 31	H29. 5. 23	H29. 7. 26	H29. 11. 29	H30. 2. 13	H30. 6. 26				
一般項目	pH	6.8	6.8	6.9	6.8	7.0	6.6	6.6	6.8	6.7	6.8	-	-	
	BOD	24	20	14	8.9	22	16	17	6.3	5.8	6.4	-	0.5	
	COD	65	67	69	74	92	77	60	57	61	72	-	0.5	
	大腸菌群数	ND	ND	4.0	11	ND	ND	4.5	ND	ND	790	-	-	
	油分	4.0	5.7	4.4	4.9	5.8	3.8	4.6	2.9	1.8	3.4	-	0.5	
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003	
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05	
	砒素	ND	0.007	0.006	0.006	ND	0.008	0.011	0.009	<u>0.013</u>	<u>0.011</u>	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005	
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002	
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0007	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001	
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005	
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	チラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001	
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003	
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	ベンゼン	0.007	0.008	0.008	0.008	0.005	0.006	0.008	0.006	0.003	0.004	0.01	0.001	
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10	
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	<u>0.9</u>	<u>ND</u>	<u>ND</u>	ND	ND	0.8	0.8	
	ホウ素	<u>1.5</u>	<u>1.7</u>	<u>1.6</u>	<u>1.7</u>	<u>1.8</u>	<u>1.7</u>	<u>1.6</u>	<u>1.7</u>	<u>1.6</u>	<u>1.5</u>	1	0.1	
	1,4-ジオキサ	<u>1.0</u>	<u>1.2</u>	<u>1.5</u>	<u>1.4</u>	<u>1.1</u>	<u>1.3</u>	<u>2.3</u>	<u>1.4</u>	<u>0.84</u>	<u>1.1</u>	0.05	0.005	
	その他の項目	全窒素	4	3	4	4	3	4	3	3	3	3	-	1
		全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
		塩化物イオン	390	447	430	425	457	460	340	350	340	340	-	1
電気伝導率		197	194	183	210	203	190	170	201	180	140	-	0.1	
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	
モリブデン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007	
アンチモン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001	
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006		

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (F1西地点の推移)

調査地点		F1西								地下水の	検出
調査年月日		H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	環境基準	下限
一般項目	pH	7.0	7.0	7.0	6.9	7.3	6.9	7.2	7.7	-	-
	BOD	3.9	6.6	1.0	2.7	0.5	1.6	1.7	1.1	-	0.5
	COD	5.4	7.9	1.7	2.4	2.4	2.7	2.3	0.9	-	0.5
	大腸菌群数	22	4.5	2.0	22	33	3.7	7.8	2.0	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	0.024	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.016	0.016	ND	0.013	ND	0.010	ND	0.008	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	1	4	ND	ND	1	ND	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	ND	0.2	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	230	230	220	216	223	274	241	250	-	1
	電気伝導率	98.6	94	94.6	90	83.7	53.4	47.3	49	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	0.033	0.030	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果（F1西地点の推移）

調査地点		F1西									地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日	H23. 2. 9	H23. 6. 14	H23. 8. 3	H23. 11. 22	H24. 2. 1	H24. 5. 16	H24. 8. 1	H24. 11. 19	H25. 2. 5			
一般項目	pH	6.8	6.9	6.9	7.2	6.9	6.8	6.8	7.1	7.1	-	-
	BOD	0.9	ND	ND	0.7	0.6	ND	ND	ND	2.1	-	0.5
	COD	1.8	2.8	1.9	1.9	1.9	2.0	3.0	2.2	0.9	-	0.5
	大腸菌群数	ND	13	22	540	7.8	11	11	70	ND	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.012	0.008	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.0013	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンソカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	0.4	0.5	0.5	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	ND	0.008	ND	ND	0.006	ND	0.010	0.010	0.010	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	1.6	1.2	1.2	4	ND	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	270	360	248	252	285	331	342	328	338	-	1
	電気伝導率	110	136	102	109	115	130	133	118	133	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果（F1西地点の推移）

調査地点		F1西									地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		H25.5.22	H25.7.22	H25.11.13	H26.2.17	H26.5.13	H26.7.22	H26.11.25	H27.2.16	H27.5.19		
一般項目	pH	6.7	6.7	7.1	6.9	7.1	6.7	6.7	6.7	6.4	-	-
	BOD	1.7	0.5	0.6	ND	ND	ND	0.6	1.3	ND	-	0.5
	COD	7.8	6.1	1.7	5.0	2.6	8.0	10	5.8	6.9	-	0.5
	大腸菌群数	69	33	ND	7.8	ND	ND	7.8	ND	ND	-	-
	油分	ND	ND	ND	0.5	ND	ND	0.5	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	0.0004	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.008	ND	0.016	0.009	0.019	0.011	0.011	0.020	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	0.0006	0.0003	ND	ND	0.0005	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.011	0.019	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.011	0.033	0.006	0.031	0.021	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	0.001	ND	0.010	0.012	0.007	0.006	0.012	0.015	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
鈣素	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5	0.3	0.5	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.020	0.023	ND	0.017	0.027	0.045	0.025	0.026	0.039	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	436	426	280	314	309	539	456	522	545	-	1
	電気伝導率	168	176	100	127	117	207	174	193	197	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (F1西地点の推移)

調査地点		F1西										地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H27.7.27	H27.11.24	H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.31	H29.5.23	H29.7.26	H29.11.29		
一般項目	pH	6.7	6.8	6.8	6.7	6.6	6.7	6.9	6.7	6.6	6.8	-	-
	BOD	0.7	ND	1.3	0.8	0.8	1.4	1.8	4.9	7.7	3.6	-	0.5
	COD	6.4	7.2	6.5	7.4	6.3	7.4	7.7	8.8	7.2	6.0	-	0.5
	大腸菌群数	2.0	7.8	2.0	13	79	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	ND	1.2	ND	0.7	ND	0.9	ND	1.5	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シソ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	<u>0.012</u>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	<u>0.024</u>	<u>0.030</u>	<u>0.039</u>	<u>0.038</u>	<u>0.030</u>	<u>0.033</u>	<u>0.045</u>	<u>0.048</u>	<u>0.040</u>	<u>0.034</u>	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	0.0002	0.0002	0.0002	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.002	ND	0.009	ND	0.003	ND	0.003	0.001	0.001	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.001	0.001	<u>0.012</u>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホウ素	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.027	0.025	0.019	0.029	0.026	0.033	0.028	0.034	<u>0.053</u>	0.023	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	554	539	496	555	498	588	584	660	540	440	-	1
	電気伝導率	204	202	191	205	181	220	208	200	194	188	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (F1西地点の推移)

調査地点		F1西		地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		H30.2.13	H30.6.26		
一般項目	pH	6.8	6.7	-	-
	BOD	6.4	4.2	-	0.5
	COD	8.5	8.2	-	0.5
	大腸菌群数	<1.8	<1.8	-	-
	油分	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.046	0.043	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.003	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	0.002	0.0002
	チウム	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	0.4	0.5	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.025	0.035	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	540	530	-	1
	電気伝導率	198	190	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	C 1 北										地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25. 7. 24	H26. 2. 18	H26. 7. 22	H27. 2. 25	H27. 7. 21	H28. 2. 1	H28. 7. 25	H29. 1. 30	H29. 8. 9	H30. 2. 13			
一般項目	pH	6.9	6.7	6.9	6.9	6.9	7.0	6.9	7.0	7.0	7.0	-	-
	BOD	6.6	4.7	13	4.5	12	27	32	12	21	5.2	-	0.5
	COD	160	130	130	130	130	130	150	150	140	120	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	13	ND	ND	ND	790	ND	-	-
	油分	1.5	2.4	1.8	1.8	1.7	2.4	2.3	2.3	2.2	1.6	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0012	0.0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	0.0003	ND	0.0003	<u>0.0045</u>	0.0002	ND	ND	0.0002	0.0002	0.0002	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	0.004	0.005	<u>0.095</u>	ND	0.005	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	0.009	<u>0.017</u>	<u>0.093</u>	0.001	0.003	ND	ND	ND	0.002	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>0.099</u>	<u>0.10</u>	<u>0.085</u>	<u>0.14</u>	<u>0.11</u>	<u>0.10</u>	<u>0.14</u>	<u>0.12</u>	<u>0.18</u>	<u>0.12</u>	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	<u>7.2</u>	<u>6.5</u>	<u>7.3</u>	<u>7.1</u>	<u>7.6</u>	<u>8.4</u>	<u>7.8</u>	<u>8.1</u>	<u>7.9</u>	<u>7.7</u>	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>0.73</u>	<u>0.99</u>	<u>0.78</u>	<u>0.69</u>	<u>0.60</u>	<u>0.44</u>	<u>0.78</u>	<u>0.51</u>	<u>0.65</u>	<u>0.52</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	23	18	11	12	14	12	12	13	40	41	-	1
	全燐	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	0.1
	塩化物イオン	1850	1880	1690	1630	1640	1650	1580	1430	1310	1500	-	1
	電気伝導率	727	719	714	677	664	670	625	617	552	648	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	C1南										地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.7.24	H26.2.18	H26.7.22	H27.2.25	H27.7.21	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.30	H29.8.9	H30.2.13			
一般項目	pH	5.5	5.2	4.7	5.5	5.4	5.6	5.7	5.6	5.7	6.4	-	-
	BOD	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	ND	ND	1.9	ND	-	0.5
	COD	7.1	7.7	5.8	5.5	5.1	4.3	4.3	4.1	4.1	6.0	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.5	ND	7.8	ND	-	-
	油分	ND	0.7	ND	ND	ND	1.2	0.5	ND	ND	0.6	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0011	0.0009	0.0028	0.0007	0.0012	0.0010	0.0004	0.0015	0.0017	0.0010	0.003	0.0003
	全シソ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	ND	<u>0.010</u>	<u>0.0036</u>	<u>0.011</u>	0.0013	<u>0.0091</u>	<u>0.015</u>	<u>0.012</u>	<u>0.016</u>	<u>0.0027</u>	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	<u>0.088</u>	<u>0.088</u>	<u>0.041</u>	<u>0.12</u>	<u>0.086</u>	<u>0.076</u>	<u>0.11</u>	<u>0.080</u>	<u>0.11</u>	0.023	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0015	0.0007	0.0009	0.0009	0.0007	0.0006	0.0010	0.0007	0.0011	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	<u>0.25</u>	<u>0.28</u>	<u>0.13</u>	<u>0.33</u>	<u>0.30</u>	<u>0.24</u>	<u>0.37</u>	<u>0.26</u>	<u>0.40</u>	<u>0.084</u>	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>0.023</u>	<u>0.024</u>	<u>0.019</u>	<u>0.049</u>	<u>0.022</u>	<u>0.022</u>	<u>0.032</u>	<u>0.014</u>	<u>0.022</u>	0.010	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>0.13</u>	<u>0.20</u>	<u>0.13</u>	<u>0.16</u>	<u>0.16</u>	<u>0.12</u>	<u>0.24</u>	<u>0.14</u>	<u>0.20</u>	<u>0.083</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	ND	1	-	1	
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	4890	5340	5350	5320	5250	5220	5320	5200	5040	4100	-	1
	電気伝導率	1360	1440	1460	1510	1400	1390	1270	1430	1260	1170	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	C3北										地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.7.24	H26.2.19	H26.7.7	H27.2.18	H27.8.3	H28.2.2	H28.8.1	H29.2.7	H29.7.31	H30.2.7			
一般項目	pH	6.6	6.6	6.7	6.6	6.5	6.8	6.4	6.7	6.5	6.4	-	-
	BOD	12	18	5.0	3.0	1.7	4.2	0.7	3.4	2.2	3.3	-	0.5
	COD	210	140	110	67	67	19	23	22	35	36	-	0.5
	大腸菌群数	2.0	31	2.0	11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	7.6	10	3.8	4.1	2.4	3.5	1.6	2.2	2.9	1.1	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0004	0.0004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.006	ND	ND	<u>0.015</u>	ND	0.006	ND	0.010	<u>0.017</u>	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	メチル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	<u>0.035</u>	0.0008	<u>0.0089</u>	0.0017	0.0010	<u>0.0079</u>	0.0011	<u>0.0045</u>	0.0017	0.0017	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0014	ND	0.0005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.033	ND	0.009	0.007	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	<u>0.025</u>	ND	<u>0.065</u>	<u>0.022</u>	ND	0.002	0.002	0.008	0.002	ND	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チクロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>9.2</u>	<u>0.26</u>	<u>0.33</u>	<u>0.032</u>	<u>0.017</u>	<u>0.15</u>	0.008	<u>0.069</u>	<u>0.045</u>	0.006	0.01	0.001
	セレン	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	<u>3.0</u>	<u>1.4</u>	<u>2.0</u>	<u>2.5</u>	<u>2.4</u>	0.3	0.8	0.8	<u>1.2</u>	<u>1.9</u>	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>1.3</u>	<u>0.48</u>	<u>2.7</u>	<u>0.72</u>	<u>0.30</u>	0.036	<u>0.057</u>	<u>0.27</u>	<u>0.30</u>	<u>0.17</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	11	7	19	27	35	8	15	12	24	10	-	1
	全燐	ND	0.4	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	-	0.1
	塩化物イオン	322	295	343	240	187	40	64	165	160	170	-	1
	電気伝導率	590	330	377	273	237	43.4	116	118	169	163	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	0.009	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	C3南										地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.7.24	H26.2.19	H26.7.7	H27.2.18	H27.8.3	H28.2.2	H28.8.1	H29.2.7	H29.7.31	H30.2.7			
一般項目	pH	6.3	6.1	6.1	6.2	6.2	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	-	-
	BOD	11	9.3	1.0	1.4	1.3	8.8	2.9	3.2	2.1	7.0	-	0.5
	COD	84	68	36	39	38	40	34	30	19	22	-	0.5
	大腸菌群数	4.5	ND	ND	4.5	ND	2.0	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	4.0	4.3	2.6	2.6	2.3	3.7	2.4	1.8	2	1.9	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0008	0.0004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シソ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	メチル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.002	0.002	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	0.12	0.15	0.24	0.035	0.043	0.020	0.035	0.032	0.059	0.031	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0024	0.0030	0.0042	ND	0.0031	0.0025	0.0035	ND	0.0021	0.0021	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.67	0.65	0.23	0.12	0.10	0.090	0.12	0.099	0.34	0.088	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0024	0.0023	0.0022	ND	0.0012	0.0010	0.0014	0.0011	0.0018	0.0013	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.46	0.54	0.37	0.32	0.26	0.28	0.45	0.30	0.51	0.26	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.56	0.13	0.021	0.018	0.009	0.013	0.008	0.003	0.008	0.002	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	2.9	2.4	2.0	2.5	2.1	2.1	1.7	1.2	1.1	1.2	1	0.1	
1,4-ジオキサン	1.3	1.1	1.3	0.65	0.62	0.43	0.55	0.32	0.44	0.40	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	9	6	6	4	3	4	3	3	3	3	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1260	1440	1670	1670	1770	1760	1770	1860	1800	1700	-	1
	電気伝導率	506	536	597	586	584	581	546	607	594	589	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	F1東										地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.7.22	H26.2.17	H26.7.22	H27.2.17	H27.7.27	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.31	H29.8.9	H30.2.13			
一般項目	pH	6.2	6.3	6.3	6.4	6.2	6.4	6.3	6.5	6.4	6.7	-	-
	BOD	9.3	10	3.7	14	7.1	16	13	10	5.4	3.3	-	0.5
	COD	136	96	72	73	77	65	71	67	71	65	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	2	ND	49	ND	4.5	ND	-	-
	油分	4.4	2.3	1.6	2.2	2.3	4.3	4.1	2.0	2.6	0.6	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0011	0.0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シソ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	0.0017	0.0045	0.0039	0.0041	0.0026	0.0027	0.0027	0.0036	0.0028	0.0028	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0009	0.0009	0.0015	0.0009	0.0009	0.0008	0.0010	0.0008	0.0011	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	0.002	ND	0.002	0.006	0.002	ND	0.002	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	0.016	0.011	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.0022	ND	ND	ND	ND	ND	0.0020	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.002	ND	0.064	0.022	0.002	0.008	0.007	0.002	0.019	0.011	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.017	0.051	0.020	0.016	0.011	0.061	0.011	0.008	0.014	0.007	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
砒素	9.4	6.5	6.6	6.3	6.9	6.4	6.5	6.1	6.2	5.7	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.72	0.71	0.75	0.66	0.58	0.33	0.66	0.56	0.68	0.35	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	4	5	5	4	3	4	4	4	4	4	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1230	1270	1310	1310	1300	1320	1350	1370	1310	1200	-	1
	電気伝導率	524	524	537	545	542	544	514	560	503	534	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	0.007	0.017	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点		DE 1										地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		H25. 7. 22	H26. 2. 19	H26. 7. 22	H27. 2. 17	H27. 7. 28	H28. 2. 2	H28. 7. 25	H29. 1. 30	H29. 8. 9	H30. 2. 7		
一般項目	pH	5.9	6.1	6.3	6.3	5.9	6.0	5.8	6.3	5.9	5.9	-	-
	BOD	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.6	ND	1.6	1.3	-	0.5
	COD	2.5	4.3	4.8	2.8	2.3	1.5	2.5	4.3	1.8	1.7	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	22	ND	12	ND	2.0	ND	ND	ND	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	0.7	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0026	<u>0.044</u>	<u>0.022</u>	0.0004	<u>0.0036</u>	0.0021	0.0011	ND	0.0030	<u>0.0041</u>	0.003	0.0003
	全シソ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	0.005	<u>0.084</u>	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.009	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	ND	ND	0.0004	0.0006	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	0.012	0.027	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	<u>0.056</u>	<u>0.041</u>	ND	0.003	<u>0.011</u>	0.004	ND	ND	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チカテム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンソカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.003	0.007	<u>0.014</u>	<u>0.023</u>	0.007	<u>0.013</u>	0.002	0.001	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	砒素	0.8	0.6	0.9	0.9	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	1	0.1
	1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.005
	その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-
全燐		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
塩化物イオン		9650	10200	9830	10000	9660	9590	9820	9750	9270	9300	-	1
電気伝導率		2650	2580	2560	2700	2300	2570	2170	2610	2490	2460	-	0.1
ニッケル		ND	ND	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
モリブデン		0.008	0.008	ND	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
アンチモン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
7カル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

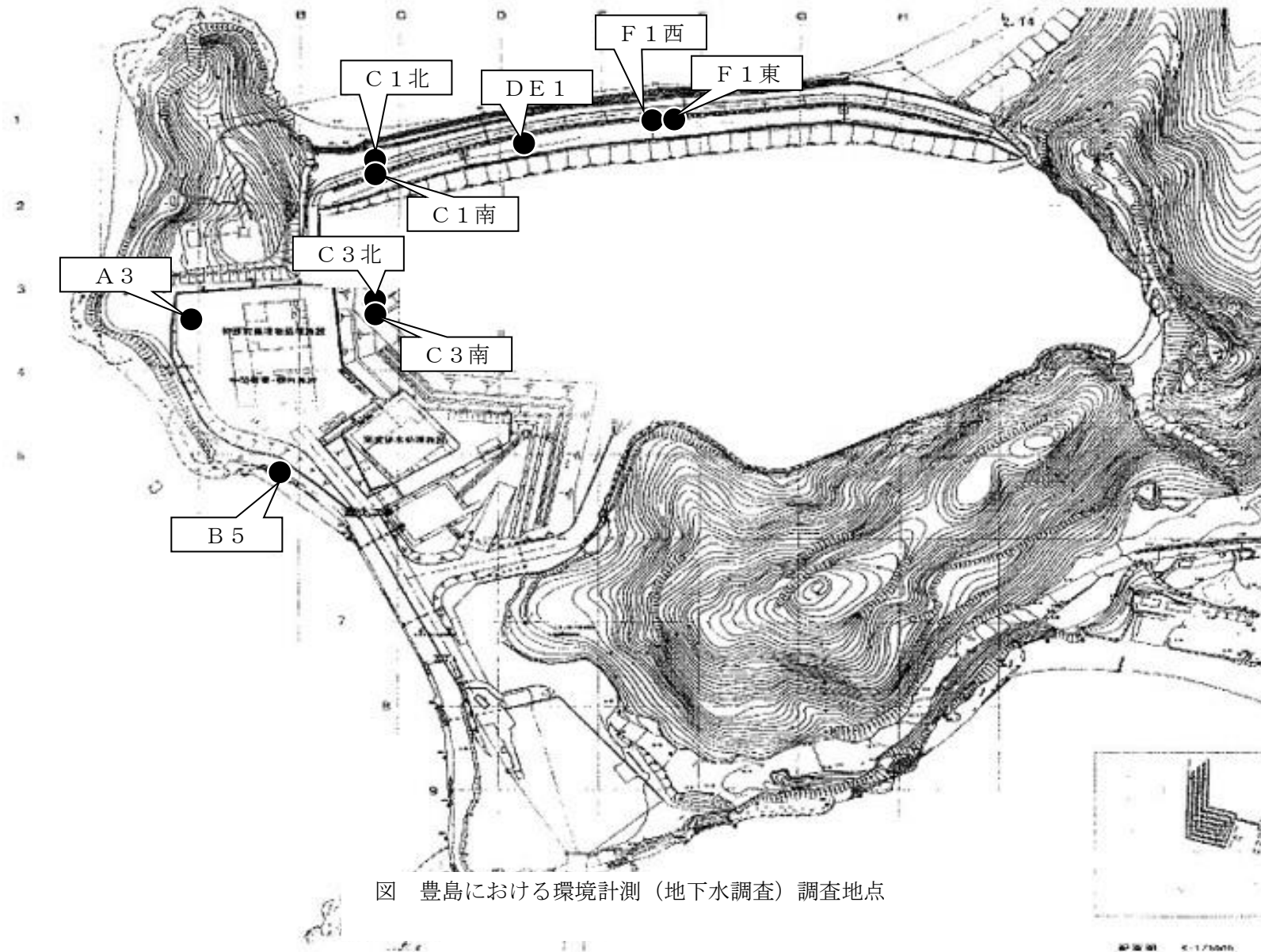


図 豊島における環境計測（地下水調査）調査地点

豊島における環境計測（地下水調査）結果について

地下水の環境計測は、工事の進捗に伴う水質の推移を把握することを目的としている。今回、平成30年5月、6月及び8月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の概要

(1) 調査日

平成30年5月23日(水)、24日(木)

平成30年6月11日(月)、12日(火)

平成30年8月27日(月)、28日(火)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

観測井 6 地点

- ・ (B+40, 2+10) 付近 2 地点（浅井戸、深井戸）
- ・ (C, 2+40) 付近 3 地点（浅井戸、中間井戸、深井戸）
- ・ (C, 3+10) 付近

揚水井 4 地点

- ・ (B+40, 2+10) 付近 2 地点（浅井戸、深井戸）
- ・ (C, 2+40) 付近 2 地点（浅井戸 深井戸）
- ・ (C, 3+10) 付近

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

分析機関：環境保健研究センター

2 調査結果の概要（表1～11）

(1) 各観測井において、次の項目が環境基準値を満足しなかった。

(B+40, 2+10) 浅井戸：

ベンゼン、1,4-ジオキサン

(B+40, 2+10) 深井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 2+40) 浅井戸：

ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 2+40) 中間井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 2+40) 深井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 3+10)：

1,4-ジオキサン

(2) 各揚水井において、次の項目が環境基準を満足しなかった。

(B+40, 2+10) 浅井戸：

クロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(B+40, 2+10) 深井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 2+40) 浅井戸)

1,4-ジオキサン

(C, 2+40) 深井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 3+10) 浅井戸

1,4-ジオキサン

表1 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近浅井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26.4.10	<u>0.0077</u>	<u>0.056</u>	<u>0.080</u>	<u>0.73</u>	<u>1.6</u>	-	-
H26.6.17	<u>0.022</u>	<u>0.28</u>	<u>1.1</u>	<u>0.79</u>	<u>2.9</u>	17	0.83
H26.8.25	<u>0.0046</u>	0.012	0.018	<u>0.75</u>	<u>1.4</u>	17	1.54
H26.10.22	<u>0.0028</u>	0.017	0.030	<u>0.32</u>	<u>0.34</u>	5.7	1.24
H26.12.10	<u>0.0024</u>	0.008	<u>0.021</u>	<u>0.22</u>	<u>0.54</u>	5.6	0.87
H27.2.18	0.0014	0.006	<u>0.029</u>	<u>0.28</u>	<u>0.58</u>	4.0	0.61
H27.4.22	0.0015	0.008	<u>0.011</u>	<u>0.28</u>	<u>0.78</u>	3.9	0.96
H27.6.17	<u>0.15</u>	<u>0.34</u>	<u>0.025</u>	<u>0.33</u>	<u>0.38</u>	5.9	0.67
H27.8.27	<u>0.027</u>	<u>0.10</u>	<u>0.097</u>	<u>0.27</u>	<u>0.35</u>	12	1.04
H27.10.7	<u>0.020</u>	<u>0.042</u>	<u>0.021</u>	<u>0.17</u>	<u>0.20</u>	8.5	0.85
H27.12.11	<u>0.030</u>	<u>0.043</u>	0.002	<u>0.16</u>	<u>0.18</u>	9.8	0.81
H28.2.3	<u>0.014</u>	<u>0.13</u>	<u>0.048</u>	<u>0.15</u>	<u>0.19</u>	6.4	0.79
H28.4.7	<u>0.0022</u>	ND	ND	<u>0.15</u>	<u>0.22</u>	11	0.67
H28.6.10	0.0010	0.004	<u>0.013</u>	<u>0.084</u>	<u>0.31</u>	5.0	0.70
H28.8.4	<u>0.017</u>	0.038	ND	<u>0.077</u>	<u>0.15</u>	3.1	1.12
H28.10.11	0.0012	0.018	<u>0.015</u>	<u>0.077</u>	<u>0.15</u>	3.5	1.03
H28.12.15	0.0016	ND	0.008	<u>0.081</u>	<u>0.16</u>	3.6	0.82
H29.2.6	<u>0.0073</u>	0.027	<u>0.024</u>	<u>0.10</u>	<u>0.16</u>	5.0	0.56
H29.4.10	<u>0.0025</u>	0.006	ND	<u>0.077</u>	<u>0.13</u>	4.3	0.71
H29.6.12	<u>0.044</u>	<u>0.25</u>	<u>0.014</u>	<u>0.13</u>	<u>0.20</u>	6.6	0.49
H29.7.31	<u>0.024</u>	<u>0.079</u>	0.005	<u>0.073</u>	<u>0.17</u>	5.0	0.74
H29.10.2	<u>0.0076</u>	0.023	0.010	<u>0.045</u>	<u>0.077</u>	3.9	0.80
H29.11.28	<u>0.0096</u>	0.022	0.002	<u>0.020</u>	0.028	3.2	0.79
H30.2.6	<u>0.0028</u>	0.018	0.002	<u>0.018</u>	<u>0.088</u>	3.2	0.36
H30.5.23	0.0016	0.002	0.002	<u>0.073</u>	<u>0.083</u>	3.7	0.85
H30.6.11	0.0013	ND	0.004	<u>0.062</u>	<u>0.093</u>	3.3	0.48
H30.8.27	0.0013	0.004	0.001	<u>0.030</u>	0.048	2.5	0.68
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近深井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26. 4. 10	<u>0.016</u>	<u>3.0</u>	<u>3.4</u>	<u>1.3</u>	<u>4.1</u>	-	-
H26. 6. 17	<u>5.8</u>	<u>2.6</u>	<u>4.1</u>	<u>1.3</u>	<u>7.2</u>	5.3	0.86
H26. 8. 25	<u>0.70</u>	<u>2.7</u>	<u>2.6</u>	<u>1.3</u>	<u>4.3</u>	5.4	1.51
H26. 10. 22	<u>0.63</u>	<u>3.3</u>	<u>3.9</u>	<u>1.7</u>	<u>3.4</u>	6.4	1.02
H26. 12. 10	<u>0.81</u>	<u>3.1</u>	<u>3.6</u>	<u>1.7</u>	<u>3.8</u>	7.4	0.87
H27. 2. 18	<u>0.47</u>	<u>2.1</u>	<u>1.8</u>	<u>1.0</u>	<u>3.4</u>	5.5	0.61
H27. 4. 22	<u>0.29</u>	<u>1.6</u>	<u>1.8</u>	<u>1.9</u>	<u>4.0</u>	4.4	0.87
H27. 6. 17	<u>0.064</u>	<u>0.25</u>	<u>0.20</u>	<u>1.7</u>	<u>2.4</u>	4.5	-0.30
H27. 8. 27	<u>0.20</u>	<u>1.1</u>	<u>1.4</u>	<u>1.9</u>	<u>2.3</u>	5.9	1.06
H27. 10. 7	<u>0.13</u>	<u>0.45</u>	<u>0.67</u>	<u>1.9</u>	<u>2.3</u>	5.9	1.02
H27. 12. 11	<u>0.15</u>	<u>0.64</u>	0.89	<u>2.3</u>	<u>1.7</u>	5.2	-0.10
H28. 2. 4	<u>0.095</u>	<u>0.52</u>	<u>0.50</u>	<u>1.9</u>	<u>1.7</u>	4.5	0.78
H28. 4. 7	<u>0.29</u>	<u>0.82</u>	<u>1.0</u>	<u>2.5</u>	<u>1.9</u>	5.4	0.68
H28. 6. 14	<u>0.23</u>	<u>1.6</u>	<u>2.1</u>	<u>2.1</u>	<u>2.3</u>	4.9	0.74
H28. 8. 4	<u>0.31</u>	<u>1.9</u>	<u>1.8</u>	<u>2.5</u>	<u>2.1</u>	4.8	1.13
H28. 10. 11	<u>0.091</u>	<u>0.066</u>	<u>0.067</u>	<u>3.2</u>	<u>1.5</u>	4.8	1.02
H28. 12. 15	<u>0.42</u>	<u>1.2</u>	<u>1.4</u>	<u>1.6</u>	<u>2.3</u>	6.0	0.68
H29. 2. 6	<u>0.40</u>	<u>1.4</u>	<u>1.7</u>	<u>1.7</u>	<u>1.7</u>	5.1	0.53
H29. 4. 10	<u>0.080</u>	<u>0.30</u>	<u>0.48</u>	<u>1.9</u>	<u>1.3</u>	3.1	0.65
H29. 6. 12	<u>0.41</u>	<u>1.9</u>	<u>2.7</u>	<u>2.1</u>	<u>1.8</u>	3.7	0.65
H29. 7. 31	<u>0.0089</u>	0.015	<u>0.024</u>	<u>3.4</u>	<u>2.5</u>	5.7	-0.21
H29. 10. 2	<u>0.12</u>	<u>0.51</u>	<u>0.76</u>	<u>3.7</u>	<u>2.2</u>	3.8	1.19
H29. 11. 28	<u>0.12</u>	<u>0.50</u>	<u>0.69</u>	<u>2.7</u>	<u>1.7</u>	4.4	1.02
H30. 2. 6	<u>0.0090</u>	0.024	<u>0.017</u>	<u>2.8</u>	<u>1.7</u>	4.1	0.54
H30. 5. 24	<u>0.043</u>	<u>0.057</u>	<u>0.075</u>	<u>1.2</u>	<u>1.7</u>	4.3	0.89
H30. 6. 11	<u>0.0093</u>	0.011	<u>0.014</u>	<u>1.8</u>	<u>2.2</u>	6.6	0.52
H30. 8. 27	ND	0.006	0.006	<u>0.41</u>	<u>1.0</u>	4.1	-3.7
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (C, 2+40)付近浅井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26.4.10	<u>0.26</u>	<u>0.042</u>	0.028	<u>0.61</u>	<u>5.2</u>	-	-
H26.6.17	<u>0.023</u>	0.037	<u>0.040</u>	<u>0.82</u>	<u>0.94</u>	22	0.83
H26.8.25	<u>0.025</u>	<u>0.063</u>	<u>0.16</u>	<u>0.49</u>	<u>0.42</u>	6.7	1.54
H26.10.22	<u>0.0033</u>	0.019	0.023	<u>0.47</u>	<u>0.27</u>	5.0	1.24
H26.12.10	<u>0.0037</u>	0.016	<u>0.042</u>	<u>0.15</u>	<u>0.12</u>	4.9	0.87
H27.2.18	<u>0.0034</u>	0.012	<u>0.041</u>	<u>0.23</u>	<u>0.26</u>	4.0	0.61
H27.4.21	<u>0.0033</u>	0.005	<u>0.015</u>	<u>0.14</u>	<u>0.21</u>	3.1	0.99
H27.6.18	0.0012	0.007	0.008	<u>0.15</u>	<u>0.18</u>	4.6	0.83
H27.8.26	0.0003	ND	0.005	<u>0.071</u>	<u>0.17</u>	4.8	1.15
H27.10.6	0.0003	ND	0.006	<u>0.063</u>	<u>0.14</u>	4.6	1.07
H27.12.10	0.0006	ND	0.008	<u>0.029</u>	<u>0.12</u>	4.9	0.93
H28.2.3	0.0004	0.004	<u>0.012</u>	<u>0.031</u>	<u>0.12</u>	4.8	0.85
H28.4.6	0.0002	ND	0.004	<u>0.033</u>	<u>0.16</u>	4.4	0.74
H28.6.10	ND	ND	ND	<u>0.038</u>	<u>0.10</u>	3.7	0.93
H28.8.3	0.0013	ND	ND	<u>0.038</u>	<u>0.15</u>	4.0	1.18
H28.10.11	0.0004	ND	ND	<u>0.014</u>	<u>0.097</u>	1.8	0.97
H28.12.14	<u>0.011</u>	0.033	0.006	<u>0.038</u>	<u>0.15</u>	2.6	0.76
H29.2.6	<u>0.0025</u>	ND	0.001	<u>0.048</u>	<u>0.10</u>	2.7	0.64
H29.4.10	0.0010	ND	0.002	<u>0.043</u>	<u>0.10</u>	2.6	0.70
H29.6.12	0.0016	ND	ND	<u>0.081</u>	<u>0.14</u>	3.2	0.70
H29.7.31	0.0007	ND	0.006	<u>0.049</u>	<u>0.20</u>	3.0	0.62
H29.10.2	0.0016	ND	0.002	<u>0.055</u>	<u>0.17</u>	3.8	1.03
H29.11.28	0.0009	ND	0.004	<u>0.043</u>	<u>0.12</u>	1.7	1.01
H30.2.6	0.0005	ND	ND	<u>0.022</u>	<u>0.080</u>	3.7	0.61
H30.5.23	0.0003	ND	0.001	<u>0.012</u>	<u>0.058</u>	1.5	0.97
H30.6.11	0.0006	ND	0.001	<u>0.015</u>	<u>0.058</u>	1.8	0.50
H30.8.27	ND	ND	0.001	0.007	<u>0.065</u>	2.0	0.72
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果 (C, 2+40)付近中間井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26.4.10	<u>0.45</u>	<u>0.13</u>	0.030	<u>3.8</u>	<u>4.8</u>	-	-
H26.6.17	<u>0.011</u>	<u>0.090</u>	<u>0.46</u>	<u>8.5</u>	<u>11</u>	19	0.91
H26.8.25	<u>0.31</u>	<u>0.49</u>	<u>0.14</u>	<u>4.7</u>	<u>4.0</u>	17	1.58
H26.10.22	<u>0.020</u>	<u>0.045</u>	<u>0.034</u>	<u>4.9</u>	<u>3.8</u>	16	1.35
H26.12.10	<u>0.0051</u>	0.026	<u>0.051</u>	<u>4.2</u>	<u>3.7</u>	19	0.95
H27.2.18	<u>0.0033</u>	0.018	<u>0.047</u>	<u>2.1</u>	<u>2.2</u>	5.3	0.74
H27.4.21	<u>0.0021</u>	0.009	<u>0.017</u>	<u>0.41</u>	<u>1.8</u>	1.9	0.97
H27.6.18	0.0012	0.004	0.006	<u>0.77</u>	<u>1.7</u>	4.3	0.82
H27.8.26	<u>0.0052</u>	0.009	0.003	<u>0.095</u>	<u>1.5</u>	5.3	1.13
H27.10.6	0.0007	ND	0.005	<u>0.051</u>	<u>0.68</u>	5.0	1.07
H27.12.10	0.0019	ND	0.004	<u>0.062</u>	<u>0.62</u>	5.5	0.92
H28.2.3	<u>0.0062</u>	0.005	0.009	<u>0.047</u>	<u>0.47</u>	5.1	0.83
H28.4.6	<u>0.014</u>	ND	ND	<u>0.084</u>	<u>0.56</u>	5.2	0.72
H28.6.10	0.0015	ND	ND	<u>0.083</u>	<u>1.1</u>	2.9	0.96
H28.8.3	<u>0.033</u>	<u>0.082</u>	<u>0.015</u>	<u>0.066</u>	<u>0.41</u>	3.8	1.15
H28.10.11	<u>0.050</u>	<u>0.073</u>	0.007	<u>0.26</u>	<u>0.68</u>	3.9	0.97
H28.12.14	<u>1.7</u>	<u>6.5</u>	<u>3.1</u>	<u>0.58</u>	<u>1.6</u>	5.3	0.72
H29.2.6	<u>0.41</u>	<u>2.3</u>	<u>0.043</u>	<u>0.32</u>	<u>0.99</u>	4.7	0.63
H29.4.10	<u>0.067</u>	<u>0.17</u>	0.006	<u>0.18</u>	<u>0.42</u>	1.6	0.67
H29.6.12	<u>0.030</u>	<u>0.042</u>	ND	<u>0.26</u>	<u>0.96</u>	4.7	0.68
H29.7.31	<u>0.0093</u>	0.012	0.005	<u>0.12</u>	<u>1.2</u>	3.1	0.60
H29.10.2	<u>0.0034</u>	ND	0.001	<u>0.12</u>	<u>1.2</u>	2.8	1.21
H29.11.28	<u>0.039</u>	<u>0.090</u>	<u>0.024</u>	<u>0.11</u>	<u>0.76</u>	1.6	0.98
H30.2.6	<u>0.0031</u>	ND	ND	<u>0.048</u>	<u>1.0</u>	2.5	0.55
H30.5.23	0.0002	ND	0.001	<u>0.029</u>	<u>0.19</u>	2.4	0.91
H30.6.11	<u>0.037</u>	<u>0.057</u>	0.001	<u>0.41</u>	<u>0.30</u>	2.1	0.38
H30.8.27	<u>0.18</u>	<u>0.25</u>	0.003	<u>0.39</u>	<u>0.17</u>	1.8	0.56
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表5 地下水調査結果 (C, 2+40)付近深井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26.4.10	<u>0.0037</u>	<u>2.0</u>	<u>3.1</u>	<u>3.3</u>	<u>5.4</u>	-	-
H26.6.17	<u>2.0</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>4.6</u>	<u>7.0</u>	19	0.91
H26.8.25	<u>0.52</u>	<u>5.8</u>	<u>4.9</u>	<u>4.2</u>	<u>4.1</u>	17	1.58
H26.10.22	<u>0.31</u>	<u>3.0</u>	<u>3.0</u>	<u>4.1</u>	<u>3.5</u>	16	1.38
H26.12.10	<u>1.9</u>	<u>15</u>	<u>16</u>	<u>3.6</u>	<u>4.7</u>	17	0.96
H27.2.18	<u>3.6</u>	<u>21</u>	<u>11</u>	<u>4.0</u>	<u>3.0</u>	6.7	0.66
H27.4.22	<u>1.2</u>	<u>10</u>	<u>2.5</u>	<u>1.6</u>	<u>2.5</u>	4.1	0.81
H27.6.18	<u>1.4</u>	<u>11</u>	<u>2.8</u>	<u>1.9</u>	<u>2.0</u>	8.2	0.71
H27.8.26	<u>1.2</u>	<u>12</u>	<u>7.2</u>	<u>1.2</u>	<u>1.6</u>	7.3	1.11
H27.10.6	<u>1.0</u>	<u>7.3</u>	<u>2.0</u>	<u>0.88</u>	<u>1.1</u>	5.6	0.82
H27.12.11	<u>1.2</u>	<u>7.1</u>	<u>1.9</u>	<u>0.95</u>	<u>0.96</u>	6.3	0.80
H28.2.3	<u>1.2</u>	<u>8.9</u>	<u>1.3</u>	<u>0.84</u>	<u>0.84</u>	5.3	0.83
H28.4.7	<u>2.9</u>	<u>16</u>	<u>5.1</u>	<u>1.4</u>	<u>1.1</u>	6.5	0.78
H28.6.14	<u>2.9</u>	<u>27</u>	<u>15</u>	<u>2.0</u>	<u>2.0</u>	6.3	1.04
H28.8.3	<u>1.6</u>	<u>13</u>	<u>13</u>	<u>1.0</u>	<u>1.4</u>	3.8	1.14
H28.10.11	<u>2.7</u>	<u>22</u>	<u>8.9</u>	<u>2.0</u>	<u>1.4</u>	5.7	0.92
H28.12.15	<u>5.0</u>	<u>25</u>	<u>21</u>	<u>1.8</u>	<u>1.9</u>	5.9	0.70
H29.2.6	<u>3.1</u>	<u>17</u>	<u>4.0</u>	<u>1.6</u>	<u>1.4</u>	5.8	0.63
H29.4.11	<u>2.4</u>	<u>17</u>	<u>7.9</u>	<u>1.4</u>	<u>0.94</u>	1.7	0.69
H29.6.12	<u>4.4</u>	<u>26</u>	<u>8.3</u>	<u>2.1</u>	<u>1.9</u>	5.3	0.69
H29.8.1	<u>1.2</u>	<u>10</u>	<u>2.7</u>	<u>0.96</u>	<u>1.4</u>	4.6	0.61
H29.10.2	<u>3.0</u>	<u>22</u>	<u>5.1</u>	<u>1.7</u>	<u>1.7</u>	3.9	1.01
H29.11.28	<u>2.6</u>	<u>18</u>	<u>5.2</u>	<u>1.5</u>	<u>1.3</u>	3.8	0.99
H30.2.6	<u>1.8</u>	<u>11</u>	<u>3.1</u>	<u>1.0</u>	<u>1.4</u>	4.9	0.52
H30.5.23	<u>0.012</u>	<u>0.071</u>	<u>0.021</u>	<u>0.10</u>	<u>0.23</u>	3.0	0.51
H30.6.11	<u>0.014</u>	<u>0.093</u>	<u>0.22</u>	<u>0.32</u>	<u>0.31</u>	2.3	0.05
H30.8.27	<u>0.071</u>	<u>0.12</u>	<u>0.035</u>	<u>0.20</u>	<u>0.19</u>	2.0	0.14
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表6 地下水調査結果 (C, 3+10) (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26. 6. 17	0.0006	0.007	0.007	<u>0.11</u>	<u>1.8</u>	3.8	0.91
H26. 8. 25	0.0004	ND	ND	<u>0.024</u>	<u>0.41</u>	3.5	1.57
H26. 10. 22	ND	ND	ND	0.010	<u>0.67</u>	3.3	1.36
H26. 12. 10	0.0004	ND	ND	0.008	<u>0.56</u>	3.9	0.97
H27. 2. 18	0.0007	ND	ND	<u>0.014</u>	<u>0.93</u>	5.1	0.70
H27. 4. 22	ND	ND	ND	0.005	<u>0.39</u>	1.2	0.82
H27. 6. 17	0.0009	ND	ND	0.002	<u>0.17</u>	1.2	0.75
H27. 8. 26	ND	ND	ND	0.003	<u>0.19</u>	1.5	1.11
H27. 10. 7	ND	ND	ND	0.001	0.033	1.3	1.02
H27. 12. 10	0.0003	ND	0.002	0.002	<u>0.13</u>	1.5	0.91
H28. 2. 3	0.0010	0.006	0.005	0.002	<u>0.19</u>	1.9	0.84
H28. 4. 7	0.0008	ND	ND	0.002	<u>0.47</u>	2.5	0.75
H28. 6. 9	0.0005	ND	0.001	0.002	<u>0.38</u>	1.2	0.95
H28. 8. 4	ND	ND	ND	0.001	<u>0.18</u>	1.5	1.13
H28. 10. 12	ND	ND	ND	0.001	0.037	2.2	0.85
H28. 12. 15	0.0005	ND	ND	0.001	<u>0.25</u>	2.1	0.68
H29. 2. 6	0.0005	ND	ND	0.003	<u>0.50</u>	2.6	0.62
H29. 4. 10	0.0007	ND	0.001	0.003	<u>0.39</u>	2.8	0.66
H29. 6. 13	0.001	ND	0.001	0.003	<u>0.21</u>	3.2	0.70
H29. 8. 1	0.0003	ND	ND	0.003	<u>0.48</u>	2.9	0.70
H29. 10. 3	0.0005	ND	ND	0.001	<u>0.096</u>	1.2	1.24
H29. 11. 29	0.0002	ND	ND	0.001	<u>0.12</u>	4.2	1.00
H30. 2. 6	0.0009	ND	ND	0.001	<u>0.19</u>	4.8	0.58
H30. 5. 23	0.0005	ND	ND	0.002	<u>0.25</u>	1.4	0.93
H30. 6. 11	ND	ND	ND	0.002	<u>0.44</u>	1.7	0.39
H30. 8. 28	ND	ND	ND	0.002	<u>0.32</u>	2.5	0.60
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表7 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近浅井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1, 2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質 (油分等)
H26. 6. 17	<u>0.025</u>	0.040	0.003	<u>0.32</u>	<u>0.77</u>	25
H26. 8. 25	<u>0.0044</u>	0.013	ND	<u>1.0</u>	<u>1.2</u>	20
H26. 10. 22	<u>0.0025</u>	0.009	0.007	<u>0.65</u>	<u>0.56</u>	8.0
H26. 12. 10	<u>0.0021</u>	ND	ND	<u>0.33</u>	<u>0.73</u>	14
H27. 2. 18	<u>0.022</u>	<u>0.066</u>	<u>0.13</u>	<u>0.53</u>	<u>0.54</u>	8.0
H27. 4. 22	<u>0.0066</u>	0.010	ND	<u>0.27</u>	<u>0.48</u>	3.9
H27. 6. 17	<u>0.026</u>	<u>0.054</u>	ND	<u>0.46</u>	<u>0.43</u>	5.7
H27. 10. 20	<u>0.0024</u>	0.005	ND	<u>0.81</u>	<u>1.5</u>	7.3
H27. 12. 11	<u>0.0044</u>	0.009	0.010	<u>0.19</u>	<u>0.34</u>	9.4
H28. 2. 4	0.0014	ND	ND	<u>0.27</u>	<u>0.47</u>	8.0
H28. 4. 7	0.017	<u>0.079</u>	<u>0.020</u>	<u>0.075</u>	<u>0.40</u>	12
H28. 6. 9	<u>0.0055</u>	ND	ND	<u>0.17</u>	<u>0.49</u>	8.4
H28. 8. 4	<u>0.0021</u>	ND	ND	<u>0.10</u>	<u>0.21</u>	3.7
H28. 10. 12	<u>0.0025</u>	0.005	0.003	<u>0.076</u>	<u>0.17</u>	5.6
H28. 12. 14	<u>0.018</u>	0.004	0.003	<u>0.071</u>	<u>0.21</u>	4.6
H29. 2. 7	<u>0.0022</u>	0.005	ND	<u>0.16</u>	<u>0.40</u>	4.8
H29. 4. 11	0.0007	ND	0.001	<u>0.066</u>	<u>0.15</u>	1.4
H29. 6. 13	<u>0.0047</u>	0.008	0.003	<u>0.58</u>	<u>2.6</u>	3.4
H29. 8. 1	<u>0.0086</u>	<u>0.047</u>	0.009	<u>0.013</u>	<u>0.15</u>	3.4
H29. 10. 3	0.0007	ND	ND	<u>0.55</u>	<u>1.3</u>	2.7
H29. 11. 29	0.0008	ND	ND	<u>0.011</u>	<u>0.12</u>	1.6
H30. 2. 7	0.0004	ND	ND	<u>0.12</u>	<u>0.73</u>	2.4
H30. 5. 24	<u>0.0033</u>	0.004	0.001	<u>0.12</u>	<u>0.095</u>	3.8
H30. 6. 12	0.0014	0.005	0.002	<u>0.046</u>	<u>0.096</u>	2.2
H30. 8. 28	0.0006	0.005	ND	<u>0.016</u>	<u>0.089</u>	2.0
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表8 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近深井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質 (油分等)
H27. 4. 21	<u>0.45</u>	<u>3.8</u>	<u>3.2</u>	<u>2.2</u>	<u>2.7</u>	4.4
H27. 6. 17	<u>0.60</u>	<u>3.7</u>	<u>3.9</u>	<u>2.4</u>	<u>2.8</u>	5.3
H27. 10. 20	<u>0.23</u>	<u>2.9</u>	<u>1.9</u>	<u>1.6</u>	<u>3.3</u>	7.5
H27. 12. 11	<u>0.54</u>	<u>3.8</u>	<u>2.0</u>	<u>1.9</u>	<u>2.1</u>	6.9
H28. 2. 4	<u>0.58</u>	<u>4.1</u>	<u>2.0</u>	<u>2.4</u>	<u>2.5</u>	6.9
H28. 4. 7	<u>0.91</u>	<u>2.5</u>	<u>0.75</u>	<u>1.4</u>	<u>2.4</u>	6.7
H28. 6. 9	<u>0.46</u>	<u>3.5</u>	<u>1.0</u>	<u>2.0</u>	<u>2.4</u>	6.0
H28. 8. 4	<u>2.5</u>	<u>0.35</u>	<u>0.065</u>	<u>3.3</u>	<u>1.9</u>	4.5
H28. 10. 12	<u>1.6</u>	<u>2.4</u>	<u>0.72</u>	<u>5.5</u>	<u>4.2</u>	4.6
H28. 12. 15	<u>2.6</u>	0.024	<u>0.011</u>	<u>3.2</u>	<u>2.4</u>	4.8
H29. 2. 7	<u>1.1</u>	<u>0.95</u>	<u>0.30</u>	<u>1.5</u>	<u>1.7</u>	4.7
H29. 4. 11	<u>0.47</u>	<u>2.0</u>	<u>0.67</u>	<u>1.3</u>	<u>1.1</u>	1.4
H29. 6. 13	<u>0.69</u>	<u>2.2</u>	<u>0.54</u>	<u>3.0</u>	<u>2.4</u>	3.2
H29. 8. 1	<u>0.34</u>	<u>3.4</u>	<u>0.91</u>	<u>0.13</u>	<u>2.3</u>	5.3
H29. 10. 3	<u>1.3</u>	<u>1.9</u>	<u>0.38</u>	<u>1.9</u>	<u>1.9</u>	3.1
H29. 11. 29	<u>0.52</u>	<u>2.3</u>	<u>0.67</u>	<u>1.5</u>	<u>1.3</u>	3.6
H30. 2. 7	<u>0.51</u>	<u>1.8</u>	<u>0.36</u>	<u>1.3</u>	<u>1.6</u>	3.2
H30. 5. 24	<u>0.87</u>	<u>2.2</u>	<u>0.21</u>	<u>1.8</u>	<u>1.9</u>	4.2
H30. 6. 12	<u>0.60</u>	<u>3.0</u>	<u>0.19</u>	<u>2.3</u>	<u>1.8</u>	3.7
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表9 地下水調査結果 (C, 2+40) 付近浅井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)
H26. 6. 17	<u>0.025</u>	0.040	0.003	<u>0.32</u>	<u>0.77</u>	17
H26. 8. 25	0.0020	ND	ND	<u>0.037</u>	<u>0.29</u>	6.4
H26. 10. 22	0.0003	ND	ND	<u>0.057</u>	<u>0.055</u>	5.3
H26. 12. 10	0.0012	0.005	0.005	<u>0.022</u>	0.031	4.9
H27. 2. 18	<u>0.0022</u>	0.015	<u>0.053</u>	<u>0.046</u>	0.044	2.0
H27. 4. 21	ND	0.004	ND	<u>0.021</u>	<u>0.086</u>	3.9
H27. 6. 18	<u>0.028</u>	<u>0.31</u>	<u>0.16</u>	<u>0.045</u>	<u>0.19</u>	3.3
H27. 10. 20	ND	ND	0.002	0.007	0.013	5.9
H28. 4. 6	<u>0.0037</u>	0.019	<u>0.027</u>	<u>0.022</u>	<u>0.064</u>	3.9
H28. 6. 9	0.0005	0.012	<u>0.038</u>	0.004	0.012	4.4
H28. 8. 3	0.0013	0.010	<u>0.013</u>	<u>0.016</u>	0.034	2.6
H28. 10. 12	0.0016	0.009	0.008	0.002	0.009	2.5
H28. 12. 15	0.0010	ND	0.002	<u>0.014</u>	<u>0.14</u>	2.1
H29. 2. 6	0.0009	0.004	0.008	<u>0.014</u>	<u>0.054</u>	2.3
H29. 4. 11	<u>0.0025</u>	0.017	<u>0.026</u>	<u>0.021</u>	<u>0.084</u>	2.2
H29. 6. 13	0.0016	ND	0.008	<u>0.026</u>	0.020	3.3
H29. 8. 1	0.0011	ND	0.004	0.009	<u>0.067</u>	4.5
H29. 10. 3	0.0002	ND	ND	<u>0.015</u>	0.048	3.8
H29. 11. 29	ND	ND	ND	<u>0.031</u>	<u>0.13</u>	3.4
H30. 2. 9	<u>0.014</u>	<u>0.41</u>	<u>0.47</u>	<u>0.053</u>	<u>0.23</u>	2.3
H30. 5. 24	0.0003	ND	0.006	0.005	0.034	3.6
H30. 6. 12	0.0004	ND	0.003	0.003	<u>0.10</u>	2.7
H30. 8. 28	ND	ND	0.002	0.001	<u>0.061</u>	2.9
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表10 地下水調査結果 (C, 2+40) 付近深井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1, 2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質 (油分等)
H27. 4. 21	<u>1.1</u>	<u>12</u>	<u>24</u>	<u>2.6</u>	<u>3.0</u>	4.8
H27. 6. 18	<u>1.4</u>	<u>13</u>	<u>26</u>	<u>2.4</u>	<u>2.0</u>	6.8
H27. 10. 20	<u>0.32</u>	<u>4.7</u>	<u>8.7</u>	<u>0.80</u>	<u>1.3</u>	7.3
H27. 12. 11	<u>0.75</u>	<u>6.1</u>	<u>11</u>	<u>0.96</u>	<u>1.1</u>	6.7
H28. 2. 4	<u>0.47</u>	<u>6.7</u>	<u>12</u>	<u>0.96</u>	<u>1.3</u>	6.2
H28. 4. 6	<u>1.1</u>	<u>6.7</u>	<u>12</u>	<u>1.0</u>	<u>1.1</u>	7.0
H28. 6. 9	<u>1.5</u>	<u>18</u>	<u>7.9</u>	<u>0.97</u>	<u>1.8</u>	5.4
H28. 8. 3	<u>1.4</u>	<u>12</u>	<u>10</u>	<u>1.0</u>	<u>1.9</u>	4.6
H28. 10. 12	<u>0.76</u>	<u>7.4</u>	<u>11</u>	<u>0.97</u>	<u>1.4</u>	5.5
H28. 12. 14	<u>2.9</u>	<u>17</u>	<u>2.4</u>	<u>0.74</u>	<u>1.7</u>	4.8
H29. 2. 6	<u>0.80</u>	<u>6.3</u>	<u>8.9</u>	<u>0.73</u>	<u>1.2</u>	5.3
H29. 4. 11	<u>0.81</u>	<u>4.5</u>	<u>9.1</u>	<u>0.60</u>	<u>1.1</u>	1.0
H29. 6. 13	<u>0.77</u>	<u>7.3</u>	<u>16</u>	<u>0.89</u>	<u>1.2</u>	4.2
H29. 8. 1	<u>0.69</u>	<u>5.9</u>	<u>14</u>	<u>0.79</u>	<u>1.8</u>	5.9
H29. 10. 3	<u>0.90</u>	<u>5.3</u>	<u>11</u>	<u>0.60</u>	<u>0.86</u>	2.6
H29. 11. 29	<u>0.65</u>	<u>4.5</u>	<u>9.7</u>	<u>0.51</u>	<u>1.1</u>	3.1
H30. 2. 6	<u>0.79</u>	<u>4.8</u>	<u>10</u>	<u>0.49</u>	<u>1.3</u>	3.3
H30. 5. 24	<u>0.32</u>	<u>2.8</u>	<u>6.0</u>	<u>0.40</u>	<u>1.6</u>	3.3
H30. 6. 12	<u>0.19</u>	<u>1.7</u>	<u>5.0</u>	<u>0.39</u>	<u>0.69</u>	2.4
H30. 8. 28	<u>0.20</u>	<u>0.42</u>	<u>0.31</u>	<u>0.19</u>	<u>0.46</u>	2.5
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1) 単位は、mg/Lである。

(注2) ND：定量下限値未満

(注3) 下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4) 環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5) 環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表11 地下水調査結果 (C, 3+10)付近浅井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1, 2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1, 4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)
H27. 4. 22	0.0005	ND	ND	<u>0.056</u>	<u>0.26</u>	3.8
H27. 6. 17	0.0012	ND	ND	<u>0.018</u>	<u>0.20</u>	2.8
H27. 12. 11	0.0005	ND	0.004	<u>0.049</u>	0.034	5.2
H28. 2. 4	ND	ND	<u>0.018</u>	<u>0.031</u>	0.005	8.2
H28. 4. 7	0.0006	ND	0.008	0.003	0.009	8.8
H28. 6. 9	ND	ND	0.001	0.005	ND	7.5
H28. 8. 4	0.0014	0.009	<u>0.015</u>	0.003	0.018	3.4
H28. 10. 12	ND	ND	0.002	0.005	ND	6.5
H28. 12. 15	0.0012	0.006	<u>0.032</u>	0.002	ND	7.9
H29. 2. 7	0.0008	0.006	0.002	0.002	<u>0.057</u>	14
H29. 4. 11	ND	ND	0.003	0.004	0.008	8.0
H29. 6. 13	ND	ND	ND	0.001	ND	8.8
H29. 10. 3	0.0020	ND	0.001	0.006	<u>0.15</u>	1.8
H29. 11. 29	0.0004	ND	0.008	0.001	0.025	1.4
H30. 2. 7	0.0012	ND	ND	0.002	<u>0.12</u>	1.5
H30. 5. 24	ND	ND	ND	ND	0.015	3.4
H30. 6. 12	ND	ND	ND	ND	<u>0.10</u>	2.5
H30. 8. 28	ND	ND	ND	ND	0.010	2.9
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

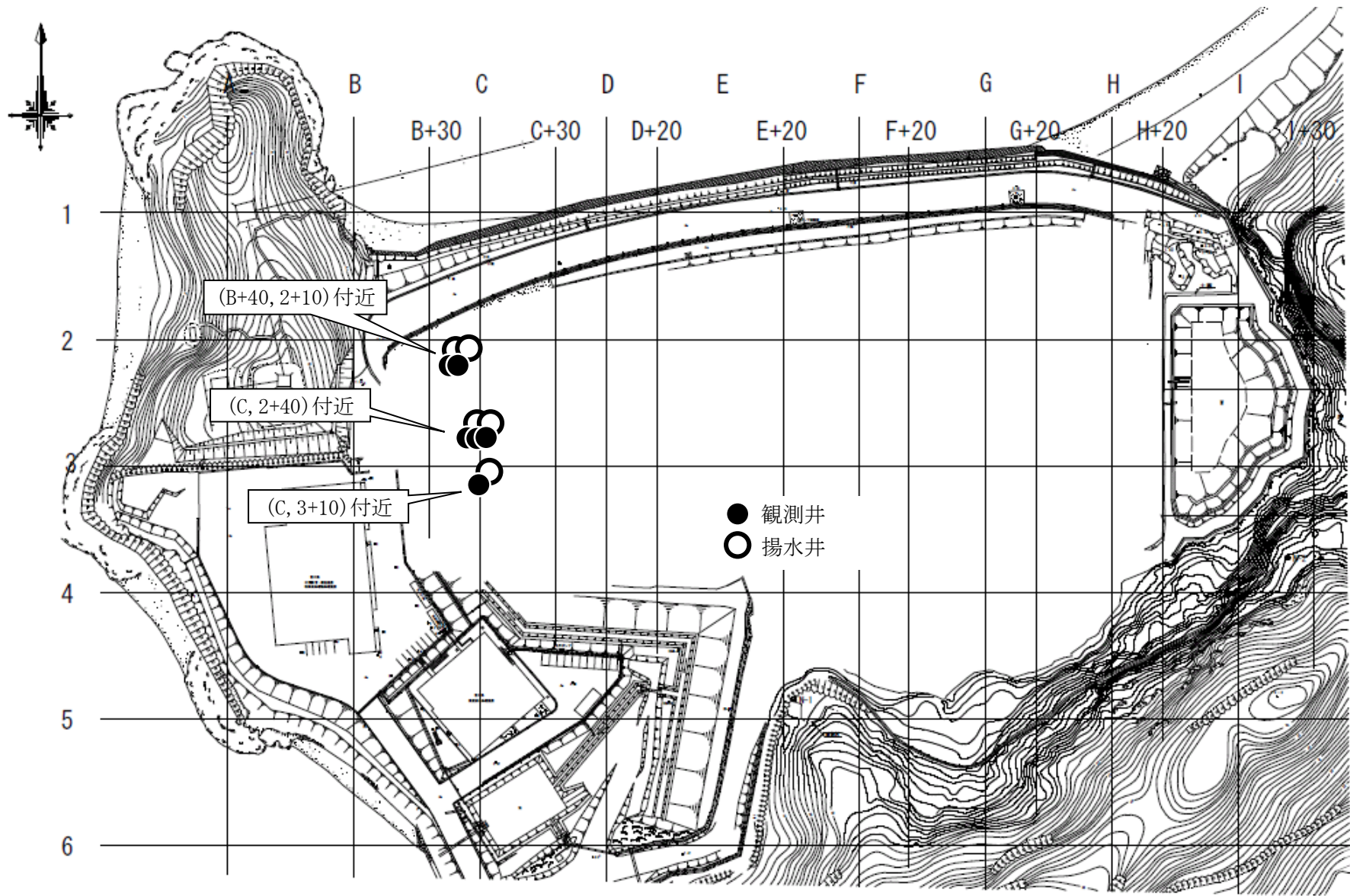
(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)



調査地点図

豊島における環境計測（北揚水井）結果について

高度排水処理施設の環境計測は、高度排水処理施設の運転期間中に地下水・浸出水の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。なお、高度排水処理施設は、北揚水井からの揚水を原水として、地下水・浸出水の浄化を行っている。

今回、平成30年2月及び6月に実施した高度排水処理施設の原水である北揚水井の水質の調査結果についてとりまとめた。

1. 調査の概要

(1) 調査日

平成30年2月13日(火)

平成30年6月26日(火)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

高度排水処理施設の原水流入槽（北揚水井）

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：環境保健研究センター、廃棄物対策課

分析機関：環境保健研究センター

2. 結果の概要（表1）

生物化学的酸素要求量（BOD）及び化学的酸素要求量（COD）が管理基準値を満たさなかった。

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

	検査項目	北揚水井									管理基準値 (参考)	検出下限
		平成15年度			平成16年度			平成17年度				
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均		
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.4	7.4	7.4	7.2	7.5	7.3	7.2	7.4	7.3	5.0~9.0	-
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	56	93	75	32	120	66	28	41	32	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	170	340	255	170	270	208	110	320	185	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	4	15	10	7	17	11	5	7	6	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	0	0	0	4	80	41	2	280	125	(日間平均3000)	-
	油分 (1,1,1-トリクロロエチレン抽出物質含有量)	8.7	13	11	4.2	9.0	5.6	1.7	3.5	2.6	35	0.5
	フェノール類含有量	ND	0.7	0.36	0.11	1.9	1.0	0.57	3.5	2.2	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	0.65	0.39	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	0.8	0.6	ND	ND	ND	2	0.5
	溶解性鉄含有量	4.5	5.0	4.8	0.55	1.5	0.88	0.20	4.4	2.3	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	0.48	0.80	0.64	ND	1.5	1.0	ND	0.7	0.6	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	150	150	150	98	150	110	83	180	120	120 (日間平均60)	1
	リン含有量	0.2	0.4	0.3	0.2	0.5	0.3	0.1	0.6	0.4	16 (日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03
シアン化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
六価クロム及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物		ND	0.01	0.01	ND	0.01	0.01	ND	0.03	0.02	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
P C B		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03
テトラクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
四塩化炭素		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
トリス(1,2-ジクロロエチレン)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
チウラム		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
シマジン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
ベンゼン		0.19	1.3	0.75	0.13	0.66	0.34	0.08	1.4	0.49	0.1	0.01
セレン及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		16	22	19	13	21	16	12	23	15	230	0.1
ふっ素及びその化合物		0.9	1.0	1.0	ND	2.3	1.2	0.9	1.3	1.0	15	0.8
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物		40	57	49	40	55	44	30	68	44	100	10
1,4ジオキサン		/	/	/	/	/	/	/	/	/	0.5	0.05
その他	ニッケル	0.01	0.17	0.09	0.06	0.30	0.17	0.06	0.08	0.07	0.1	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	0.10	0.08	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.7	1.9	1.3	0.29	1.8	1.0	0.58	2.8	1.4	10	-

(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2) ND : 検出せず

(注3) 環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成13年度：H13.7.11、H14.2.1実施、平成14年度：H14.10.21、H15.3.24実施、平成15年度：H15.10.16、
H16.2.5実施、平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施、平成17年度：H17.5.10、
H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施、平成26年度：H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施、
平成27年度：H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.9実施、平成28年度：H28.5.24、H28.7.25、H28.11.15、
H29.2.7実施

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

	検査項目	北揚水井						管理基準値 (参考)	検出下限		
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度			平成24年度	
		H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.10.27	H22.10.20	H23.10.20			H24.11.1	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.0	7.2	7.2	7.4	7.1	7.8	7.2	5.0~9.0	-	
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	17	96	41	66	63	37	ND	30 (日間平均20)	0.5	
	化学的酸素要求量 (COD)	110	370	250	350	220	77	100	30 (日間平均20)	0.5	
	浮遊物質 (SS)	7	7	10	10	4	20	3	50 (日間平均40)	1	
	大腸菌群数	17	44	180	20	20	1	0	(日間平均3000)	-	
	油分 (ノマルヘキサン抽出物質含有量)	1.5	3.1	2.5	1.8	3.9	0.8	0.9	35	0.5	
	フェノール類含有量	0.14	0.10	0.02	ND	0.02	0.14	0.13	5	0.02	
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5	
	溶解性鉄含有量	0.64	1.2	ND	0.35	0.46	0.19	0.26	10	0.05	
	溶解性マンガン含有量	0.6	0.8	0.7	0.5	0.5	0.7	0.6	10	0.4	
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	窒素含有量	80	220	140	140	230	27	23	120 (日間平均60)	1	
	リン含有量	0.4	0.6	0.5	0.6	0.8	0.3	0.6	16 (日間平均8)	0.1	
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01	
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	0.01	ND	0.02	ND	0.1	0.01	
	有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
	六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05	
	砒素及びその化合物	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	ND	ND	0.1	0.01	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005	
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
	P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005	
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03	
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003	
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
	ベンゼン	0.14	0.99	0.73	0.49	0.67	ND	0.89	0.1	0.01	
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
	ほう素及びその化合物	10	22	17	17	16	10	9.4	230	0.1	
	ふっ素及びその化合物	1.1	1.1	ND	1.0	0.9	ND	ND	15	0.8	
	アゾ、アゾキシ化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	71	85	99	110	140	ND	23	100	10	
	1,4ジオキサン							0.07	0.5	0.05	
	その他	ニッケル	0.05	0.06	ND	0.05	ND	ND	ND	0.1	0.05
		モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
全マンガン		0.6	0.8	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	-	0.4	
ウラン		0.0008	0.0008	0.0008	0.0012	0.0008	0.0006	0.0003	-	0.0001	
ダイオキシン類		1.4	0.25	0.068	0.058	0.63	23	0.57	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成13年度：H13.7.11、H14.2.1実施、平成14年度：H14.10.21、H15.3.24実施、平成15年度：H15.10.16、
H16.2.5実施、平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施、平成17年度：H17.5.10、
H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施、平成26年度：H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施、
平成27年度：H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.9実施、平成28年度：H28.5.24、H28.7.25、H28.11.15、
H29.2.7実施

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

検査項目	北揚水井											管理基準値 (参考)	検出下限
	平成25年度	平成26年度			平成27年度			平成28年度					
	H25.11.18	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均			
水素イオン濃度 (pH)	7.2	7.3	7.5	7.4	7.1	7.6	7.4	7.3	7.7	7.5	5.0~9.0	-	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	4.1	8.0	31	18	15	90	43	28	58	45	30 (日間平均20)	0.5	
化学的酸素要求量 (COD)	41	63	170	120	77	180	140	110	160	140	30 (日間平均20)	0.5	
浮遊物質 (SS)	7	1	14	9	6	120	48	42	95	59	50 (日間平均40)	1	
大腸菌群数	0	0	84	22	270	1900	770	58	94000	770	(日間平均3000)	-	
油分(ノマルヘキサン抽出物質含有量)	1.8	ND	2.4	1.0	ND	4.0	2.7	ND	3.2	2.5	35	0.5	
フェノール類含有量	0.02	0.02	0.09	0.06	0.04	0.21	0.11	0.04	0.17	0.10	5	0.02	
銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5	
溶解性鉄含有量	0.10	0.15	0.32	0.21	0.10	0.23	0.18	0.15	0.20	0.17	10	0.05	
溶解性マンガン含有量	ND	0.5	1.7	1.0	ND	2.8	2.1	ND	3.9	2.3	10	0.4	
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
窒素含有量	16	12	38	24	15	36	21	14	26	18	120 (日間平均60)	1	
有機炭素含有量	ND	ND	1.1	0.4	0.4	1.2	0.9	0.8	1.1	1.0	16 (日間平均8)	0.1	
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01	
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05	
砒素及びその化合物	ND	ND	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.1	0.01	
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005	
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005	
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03	
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02	
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04	
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003	
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
ベンゼン	0.02	0.02	0.27	0.14	0.03	0.26	0.12	0.04	0.57	0.20	0.1	0.01	
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ほう素及びその化合物	3.8	4.4	12	8.7	5.8	10	8.7	7.4	11	9.4	230	0.1	
ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8	
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	ND	ND	20	15	ND	19	19	ND	ND	ND	100	10	
1,4ジオキサン	ND	0.11	0.46	0.29	0.15	0.32	0.25	0.20	0.33	0.27	0.5	0.05	
ニッケル	0.06	ND	ND	ND	ND	0.10	0.10	ND	ND	ND	0.1	0.05	
モリブデン	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07	
全マンガン	ND	0.6	0.6	0.6	-	-	-	1.9	1.9	1.9	-	0.4	
ウラン	0.0017	0.0013	0.0013	0.0013	0.0025	0.0025	0.0025	0.0070	0.0070	0.0070	-	0.0001	
ダイオキシン類	4.7	3.0	6.6	4.3	3.0	44	24	22	350	120	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2) ND : 検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成13年度：H13.7.11、H14.2.1実施、平成14年度：H14.10.21、H15.3.24実施、平成15年度：H15.10.16、
H16.2.5実施、平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施、平成17年度：H17.5.10、
H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施、平成26年度：H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施、
平成27年度：H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.9実施、平成28年度：H28.5.24、H28.7.25、H28.11.15、
H29.2.7実施

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

	検査項目	北海岸浸出水					管理基準値 (参考)	検出下限	
		平成29年度				平成30年度			
		H29. 5. 23	H29. 7. 26	H29. 11. 29	H30. 2. 13	H30. 6. 26			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.4	7.3	7.3	7.6	7.5	5.0~9.0	-	
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	<u>44</u>	<u>38</u>	26	18	<u>45</u>	30 (日間平均20)	0.5	
	化学的酸素要求量 (COD)	<u>130</u>	<u>100</u>	<u>87</u>	<u>56</u>	<u>90</u>	30 (日間平均20)	0.5	
	浮遊物質 (SS)	43	<u>72</u>	38	37	45	50 (日間平均40)	1	
	大腸菌群数	0	150	50	0	850	(日間平均3000)	-	
	油分(ノルマルヘキサン抽出物質含有量)	1.5	5.0	1.6	1.3	3.2	35	0.5	
	フェノール類含有量	0.06	0.04	0.04	0.06	0.04	5	0.02	
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5	
	溶解性鉄含有量	0.09	0.17	0.09	ND	0.13	10	0.05	
	溶解性マンガン含有量	4.4	5.7	6.4	6.0	5.5	10	0.4	
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	窒素含有量	100	100	110	97	100	120 (日間平均60)	1	
	リン含有量	1.3	0.4	0.6	0.3	0.2	16 (日間平均8)	0.1	
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01	
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
	有機リン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
	六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05	
	砒素及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	0.01	0.1	0.01	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005	
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
	P C B	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005	
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03	
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02	
	トリス(1,2-ジクロロエチレン)	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003	
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
	ベンゼン	0.19	ND	0.16	0.05	0.06	0.1	0.01	
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
	ほう素及びその化合物	8.9	7.6	6.7	5.2	7.7	230	0.1	
	ふっ素及びその化合物	0.9	ND	ND	0.9	0.9	15	0.8	
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	44	42	52	35	43	100	10	
	1,4ジオキサン	0.28	0.30	0.23	0.16	0.20	0.5	0.05	
	その他	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
		モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
全マンガン		-	-	-	-	-	-	0.4	
ウラン		-	-	-	-	-	-	0.0001	
ダイオキシン類		<u>20</u>	<u>16</u>	<u>38</u>	3.7	9.9	10	-	

(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2) ND : 検出せず

(注3) 環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

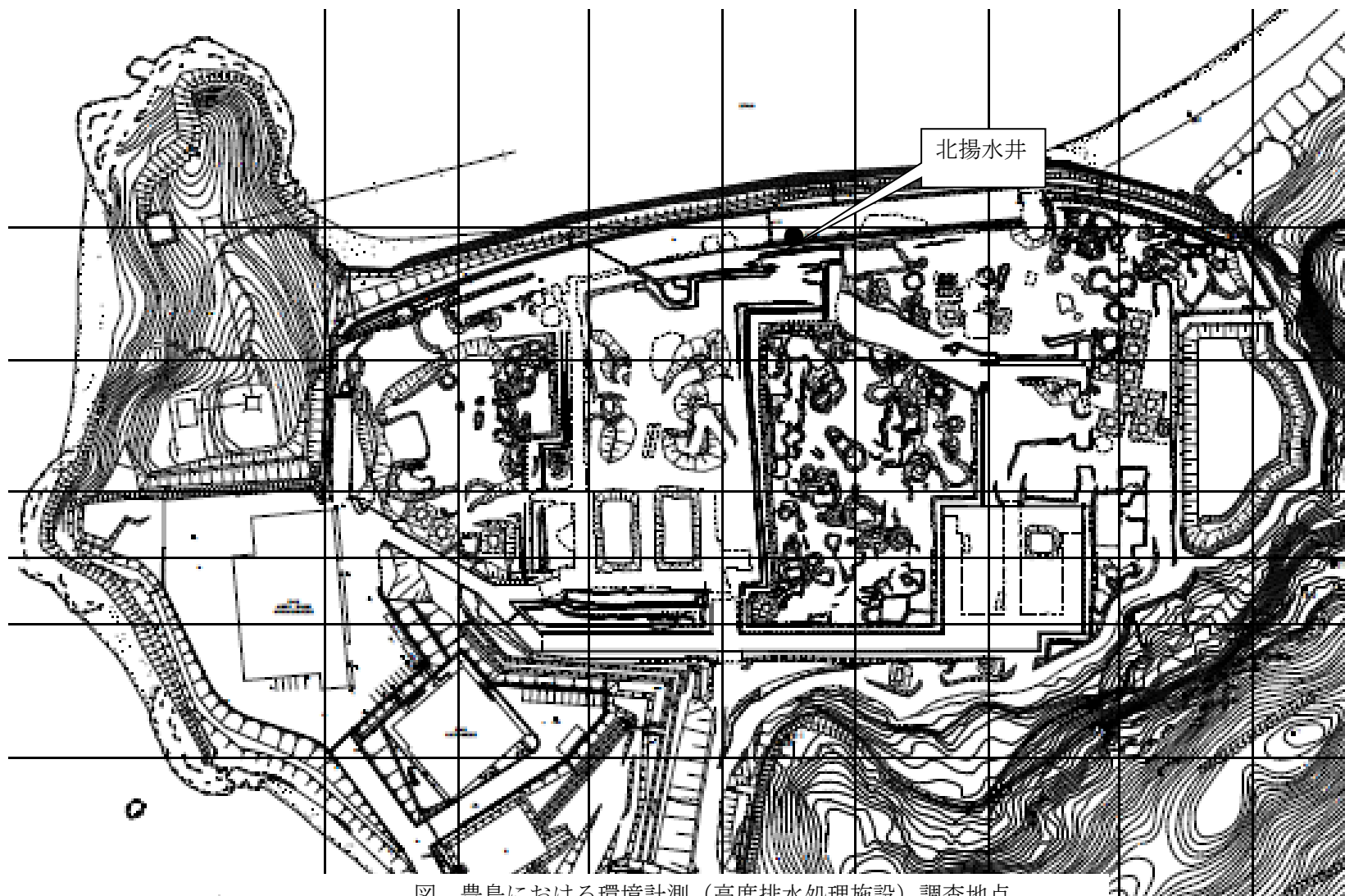


図 豊島における環境計測（高度排水処理施設）調査地点

豊島における環境計測（沈砂池）結果について

豊島の沈砂池の環境計測は、放流による環境面を把握することを目的としている。今回、平成30年7月12日に実施した沈砂池1の水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の概要

(1) 調査日

平成30年7月12日(木)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

沈砂池1

(3) 検体採取機関及び分析機関

廃棄物対策課、環境保健研究センター

2 結果の概要（表1）

- ・ 検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限
	H16.5.17	H16.7.5	H16.10.5	H18.5.30	H18.6.30	H18.7.28	H18.9.14	H19.6.5		
水素イオン濃度 (pH)	8.2	<u>9.4</u>	7.0	8.9	8.1	8.5	8.2	9.1 ¹⁾	5.0~9.0	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	3.1	2.8	2.3	1.2	1.5	1.0	0.6	1.9	30 (日間平均20)	0.5
化学的酸素要求量 (COD)	4.2	12	5.3	6.5	3.0	2.4	3.1	14	30 (日間平均20)	0.5
浮遊物質 (SS)	9	16	8	2	2	4	2	2	50 (日間平均40)	1
大腸菌群数	0	0	4	-	-	-	-	0	(日間平均3000)	-
油分(n-ヘキサン抽出物質)	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	35	0.5
フェノール類	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	5	0.02
銅含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
溶解性鉄含有量	ND	ND	0.30	ND	0.20	0.20	0.11	ND	10	0.05
溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	10	0.4
クロム含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	2	0.2
窒素含有量	1	ND	1.7	3	2	ND	ND	1	120 (日間平均60)	1
磷含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	16 (日間平均8)	0.1
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
シアン化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
鉛及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
六価クロム化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
P C B	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
四塩化炭素	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
チウラム	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
シマジン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
ベンゼン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	ND	0.2	0.1	-	-	-	-	0.2	230	0.1
ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	100	10
モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	ND	-	0.4
ウラン	-	-	-	-	-	-	-	0.0001	-	0.0001
ダイオキシン類	3.2	3.3	<u>15</u>	0.20	1.4	1.2	0.33	0.40	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H19.7.19	H19.10.4	H20.2.12	H20.4.4	H20.5.1	H20.6.5	H20.9.10	H20.10.29			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.9	8.8	7.2	8.1	9.1 ¹⁾	7.5	8.8	8.7	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	1.9	1.0	2.2	0.5	1.1	0.9	1.3	0.8	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.3	6.8	4	2.6	3.2	5.2	5.8	4.3	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	2	1	2	2	1	1	ND	1	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	-	19	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	-	-	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.05	ND	0.1	0.16	0.10	0.10	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	ND	1	1	1	ND	ND	ND	ND	120 (日間平均60)	1
	磷含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	シアン化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	ジス-1,2-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	チウラム	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	シマジン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	100	10	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	ND	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	0.0003	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	1.6	0.081	1.8	8.3	1.3	0.41	0.060	0.012	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ) を除いて、mg/ℓである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

	検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限
		H21.3.24	H21.5.12	H21.7.16	H21.7.29	H21.8.19	H21.12.9	H22.4.8	H22.6.2		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	8.0	8.9	9.0	8.0	8.4	7.7	7.9	8.7	5.0~9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	0.6	0.7	0.8	0.7	0.5	1.1	ND	2.2	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	4.7	5.0	5.6	4.8	3.6	4.1	4.4	5.5	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	2	3	2	ND	ND	ND	ND	ND	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	0	-	-	1	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	-	-	-	-	ND	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	ND	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.08	ND	ND	ND	0.07	0.08	0.16	0.20	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	1	1	ND	ND	ND	ND	5	ND	120（日間平均60）	1
	磷含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	シアン化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機磷化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	1	0.1
	六価クロム化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
	1,1,2-ジクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.02	0.002
	チウラム	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.06	0.006
	シマジン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	0.0002	-	-	0.0002	-	0.0001
	ダイオキシン類	1.1	4.2	0.14	2.2	0.15	0.57	0.58	1.0	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/0) を除いて、mg/0である。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。（平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。）

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分地排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

	検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限
		H22.7.6	H22.10.14	H23.3.17	H23.5.19	H23.6.3	H23.6.23	H23.7.14	H23.7.25		
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.5	7.4	6.8	7.7	6.9	7.4	7.5	7.6	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	0.7	1.2	0.9	1.0	ND	0.5	ND	ND	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.6	5.8	5.5	7.2	4.3	8.0	9.8	12	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	3	1	ND	ND	3	3	3	3	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	-	-	-	2	(日間平均3000)	-
	油分 (n-ヘキサン抽出物質)	-	-	-	-	-	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	-	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.15	0.15	0.13	ND	0.15	ND	0.29	0.10	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	1	5	1	2	1	3	5	7	120 (日間平均60)	1
	炭素含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	シアン化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	0.1	0.01
	有機リン化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	1	0.1
	六価クロム化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	1,1,2-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
	チウラム	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
	シマジン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	0.9	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	100	10
	その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-
全マンガン		-	-	-	-	-	-	-	ND	-	0.4
ウラン		-	-	-	-	-	-	-	0.0016	-	0.0001
ダイオキシン類		0.41	0.70	0.22	2.9	2.1	5.1	0.69	0.083	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H23.9.8	H23.9.18	H23.9.26	H23.10.18	H23.10.31	H23.11.24	H24.6.4	H24.6.22			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.6	7.7	7.1	7.3	7.6	8.1	8.3	8.0	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量（BOD）	0.5	0.9	0.8	ND	ND	0.9	ND	ND	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	8.0	7.2	6.2	12	11	11	18	9.7	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	3	3	4	4	1	ND	4	3	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	-	0	-	-	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	-	-	-	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.20	0.16	0.16	0.29	0.47	1.8	ND	0.20	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	3	1	2	7	7	7	5	4	120（日間平均60）	1
	磷含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	16（日間平均8）	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1
シアン化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機磷化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
六価クロム化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
砒素及びその化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
P C B		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
テトラクロロエチレン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
ジクロロメタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
四塩化炭素		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
トリス(1,2-ジクロロエチレン)		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
チウラム		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
シマジン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.03	0.003
チオベンカルブ		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
ベンゼン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
セレン及びその化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		-	-	-	-	-	1.9	-	-	230	0.1
ふっ素及びその化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	ND	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.19	3.8	0.58	2.8	2.4	6.0	0.70	10	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H24.7.10	H24.10.1	H25.1.24	H25.3.21	H25.6.3	H25.7.8	H25.9.10	H25.9.20			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	8.0	8.2	7.4	8.2	8.7	8.1	7.6	7.6	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量（BOD）	ND	ND	1.1	ND	0.7	0.5	ND	1.3	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	8.6	5.8	4.2	7.6	8.4	5.8	6.8	18	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	1	ND	ND	ND	ND	1	3	ND	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	-	-	0	-	-	-	-	0	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	-	-	ND	-	-	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	ND	-	-	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.13	ND	ND	0.11	0.10	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	-	-	-	-	0.5	10	0.4
	クロム含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	4	ND	1	3	2	2	2	10	120（日間平均60）	1
	磷含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	16（日間平均8）	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.03
シアン化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
六価クロム化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
P C B		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
テトラクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
四塩化炭素		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
チウラム		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
シマジン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
ベンゼン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	1.5	230	0.1
ふっ素及びその化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	15	0.8	
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	100	10	
1,4-ジオキサン	-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	ND	-	-	-	-	0.5	-	0.4
	ウラン	-	-	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	5.8	4.6	6.1	7.9	0.29	0.68	9.5	8.5	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/lである。)

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H25.10.28	H26.1.14	H26.3.17	H26.4.8	H26.5.22	H26.7.14	H26.8.19	H26.9.8			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.8	8.0	8.1	8.4	8.4	8.0	7.8	8.2	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	ND	0.7	ND	1.3	ND	0.5	ND	ND	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	12	8.5	8.7	7.1	9.4	7.4	5.9	6.4	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	3	ND	ND	ND	3	1	1	2	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	1	-	-	-	-	-	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	ND	-	-	-	-	-	-	-	35	0.5
	フェノール類	0.06	-	-	-	-	-	-	-	5	0.02
	銅含有量	ND	-	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	0.2	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.15	0.05	0.18	0.05	0.05	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	0.7	-	-	-	-	-	-	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	-	-	-	-	-	-	-	2	0.2
	窒素含有量	6	5	4	2	2	1	2	2	120 (日間平均60)	1
	燐含有量	ND	-	-	-	-	-	-	-	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	シアン化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	1	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロパン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	チウラム	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	シマジン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	0.8	-	-	-	-	-	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	100	10
1,4-ジオキサン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	ウラン	0.0019	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.43	1.2	6.0	0.79	9.9	1.5	0.041	0.12	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果

検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限	
	H26.10.23	H26.11.13	H26.12.10	H27.2.3	H27.3.23	H27.4.21	H27.5.26	H27.7.8			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.9	8.3	8.0	8.1	8.2	8.2	8.7	8.3	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	ND	ND	0.7	ND	ND	1.1	ND	ND	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	5.8	6.4	6.2	4.9	5.7	4.1	5.0	5.2	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	ND	ND	2	ND	2	ND	ND	ND	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	0	-	-	-	-	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	ND	-	-	-	-	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	ND	-	-	-	-	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	ND	ND	0.07	0.07	0.14	0.14	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	2	0.2
	窒素含有量	2	2	2	2	2	2	1	1	120 (日間平均60)	1
	燐含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	シアン化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロパン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	チウラム	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	シマジン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	0.5	-	-	-	-	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	100	10
1,4-ジオキサン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	ND	-	0.07
	全マンガン	-	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	ウラン	-	0.0010	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.44	0.95	2.1	0.97	2.5	1.4	0.018	0.18	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H27.7.21	H27.9.28	H27.10.28	H28.1.4	H28.5.18	H28.6.27	H28.7.19	H28.9.29			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.0	8.6	8.9	8.0	8.5	8.0	8.4	7.7	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	1.7	ND	1.2	1.7	1.0	2.0	1.8	0.9	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.0	7.2	7.5	0.5	5.4	4.3	5.7	3.0	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	5	3	2	3	1	2	1	1	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	10	-	-	53	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	-	ND	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	-	ND	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.10	ND	ND	0.16	0.06	0.11	ND	0.21	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	2	1	1	2	ND	ND	1	ND	120 (日間平均60)	1
	燐含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.03	0.003
	シアン化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	-	-	ND	-	-	-	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	1	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロパン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	チウラム	-	-	ND	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	シマジン	-	-	ND	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	-	ND	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	-	0.5	-	-	0.1	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	100	10
1,4-ジオキサン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	0.0007	-	-	0.0001	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	1.6	3.2	1.9	1.2	1.2	3.8	3.0	6.8	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/lである。)

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

	検査項目	沈砂池1				管理基準値	検出下限	
		H29.7.18	H29.10.24	H29.11.21	H30.7.12			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.7	7.8	6.7	7.7	5.0～9.0	-	
	生物化学的酸素要求量（BOD）	2.6	1.6	1.4	3.2	30（日間平均20）	0.5	
	化学的酸素要求量（COD）	5.3	4.0	3.0	5.0	30（日間平均20）	0.5	
	浮遊物質（SS）	2	3	1	8	50（日間平均40）	1	
	大腸菌群数	-	-	0	0	（日間平均3000）	-	
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	-	-	ND	1.3	35	0.5	
	フェノール類	-	-	ND	ND	5	0.02	
	銅含有量	-	-	ND	ND	3	0.3	
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	溶解性鉄含有量	ND	0.08	ND	1.0	10	0.05	
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	ND	10	0.4	
	クロム含有量	-	-	ND	ND	2	0.2	
	窒素含有量	ND	ND	ND	2.7	120（日間平均60）	1	
	リン含有量	-	-	ND	ND	16（日間平均8）	0.1	
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	ND	0.03	0.003	
	シアン化合物	-	-	ND	ND	1	0.1	
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
	有機リン化合物	-	-	ND	ND	1	0.1	
	六価クロム化合物	-	-	ND	ND	0.5	0.05	
	砒素及びその化合物	-	-	ND	ND	0.1	0.01	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	ND	ND	0.005	0.0005	
	アルキル水銀化合物	-	-	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
	P C B	-	-	ND	ND	0.003	0.0005	
	トリクロロエチレン	-	-	ND	ND	0.1 ^(注5)	0.03	
	テトラクロロエチレン	-	-	ND	ND	0.1	0.01	
	ジクロロメタン	-	-	ND	ND	0.2	0.02	
	四塩化炭素	-	-	ND	ND	0.02	0.002	
	1,2-ジクロロエタン	-	-	ND	ND	0.04	0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	ND	ND	1	0.02	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	-	-	ND	ND	0.4	0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	ND	ND	3	0.3	
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	ND	ND	0.06	0.006	
	1,3-ジクロロプロペン	-	-	ND	ND	0.02	0.002	
	チウラム	-	-	ND	ND	0.06	0.006	
	シマジン	-	-	ND	ND	0.03	0.003	
	チオベンカルブ	-	-	ND	ND	0.2	0.02	
	ベンゼン	-	-	ND	ND	0.1	0.01	
	セレン及びその化合物	-	-	ND	ND	0.1	0.01	
	ほう素及びその化合物	-	-	ND	ND	230	0.1	
	ふっ素及びその化合物	-	-	ND	ND	15	0.8	
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	ND	ND	100	10	
	1,4-ジオキサン	-	-	ND	ND	0.5	0.05	
	その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	-	0.07
		全マンガン	-	-	ND	ND	-	0.4
ウラン		-	-	0.0001	0.0008	-	0.0001	
ダイオキシン類		0.098	0.89	0.00047	0.89	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)



沈砂池 1

調査地点図

豊島における周辺環境モニタリング（水質）結果について

豊島における周辺環境モニタリングは、暫定的な環境保全措置の実施、高度排水処理施設等の建設・運転時、廃棄物等の掘削・運搬の開始後のそれぞれの段階において、周辺環境への影響を把握することを目的としており、これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、工事前及び工事中、掘削・運搬の開始後の周辺地先海域及び海岸感潮域における調査を順次実施してきた。

今回、平成30年5月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報 告 済	事前環境モニタリング	平成10年12月～平成11年12月 (4回実施)	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	暫定的な環境保全措置 工事前	平成12年7月27日(木)	事前環境モニタリング終了後、暫定工事開始前に実施した。
	暫定的な環境保全措置 工事中	平成13年7月18日(水)	北海岸では本矢板の打設が終了しており、東側のドレーン工を実施していた。また、東側雨水排水路、透気遮水シートの施工中であり、西海岸においては掘削作業を実施していた。
		平成14年2月1日(金)	西海岸では埋め戻し施工中、西海岸北東部では透気遮水シート、水路の施工中であった。
	中間保管梱包施設、高度 排水処理施設建設工事 中	平成14年7月23日(火)	中間保管梱包施設のピット部の基礎工事、高度排水処理施設の水槽部の基礎工事を実施していた。
		平成15年2月6日(木)	中間保管梱包施設の内部仕上げ及び外構工事、高度排水処理施設の無負荷運転を実施していた。
	廃棄物等の掘削・運搬 中、高度排水処理施設等 の運転中	平成15年5月15日(木) (水質調査)	中間処理施設試運転のため、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成15年7月14日(月) (水質調査、底質調査)	
		平成15年10月24日(金) (水質調査、底質調査)	中間処理施設本格稼働後、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年2月10日(火) (水質調査)	掘削現場の場内整備、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年6月1日(火) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年7月29日(木) (水質調査、底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年11月2日(火) (水質調査、底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年1月14日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
平成17年5月23日(月) (水質調査)		廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。	
平成17年7月21日(木) (水質調査、底質調査)		廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。	
平成17年11月7日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
		平成18年1月18日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成18年5月26日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年8月8日(金) (水質調査、底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年11月27日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年1月24日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年6月14日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年8月27日(月) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年11月15日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年1月25日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年5月21日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年8月27日(水) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年11月17日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年1月28日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年5月21日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年8月19日(水) 平成21年8月20日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年11月6日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年1月20日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年5月27日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年8月30日(月) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年11月11日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
平成23年1月24日(月) 平成23年1月25日(火) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
		平成23年6月29日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成23年8月26日(金) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成23年11月17日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年1月27日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年5月16日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年8月2日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年11月19日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年1月17日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年5月22日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年8月19日(月) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年11月8日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年1月22日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年5月26日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年8月7日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年11月12日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成27年1月26日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成27年5月25日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成27年7月30日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
平成27年11月17日(火) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		
平成28年1月28日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		
平成28年5月19日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
		平成28年8月2日(火) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成28年11月18日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年1月16日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
	処分地内の構造物撤去中、高度排水処理施設等の運転中	平成29年5月25日(木) (水質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年7月24日(月) (水質調査・底質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年11月9日(木) (水質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
	平成30年1月22日(月) (水質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。	
報告済	高度排水処理施設等の運転中	平成30年5月14日(月) (水質調査)	高度排水処理施設等の運転を実施していた。

2 調査の概要

1) 調査地点 (調査地点図参照)

① 周辺地先海域

○水質調査

St-3 (西海岸沖)、St-4 (北海岸沖) 及び St-8 (北海岸沖)

② 海岸感潮域

○水質調査

St-A (西海岸)、St-B (北海岸) 及び St-E (北海岸)

2) 検体採取機関及び分析機関

① 検体採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

② 分析機関：環境保健研究センター、四国計測工業(株)

3 調査結果の概要

(1) 周辺地先海域

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目 (生活環境保全上の基準：8項目)

・化学的酸素要求量 (COD) が St-3 及び St-4 の地点において、環境基準を満足しなかった。

・その他の項目については、全ての地点において、環境基準を満足していた。

○健康項目 (人の健康を保護する上での基準：26項目)

・全ての項目及び地点で検出されず、環境基準値を満足していた。

(2) 海岸感潮域

○一般項目 (7項目)

・全ての項目及び地点で、管理基準値を満足していた。

○健康項目 (26項目)

・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が全ての地点において検出されたが、管理基準値を満足し

ていた。

- その他の項目は全ての地点で検出されず、管理基準値を満足していた。

表1 豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、タリヤン類：pg-TEQ/L、pHを除く単位：mg/L）

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全ソーン	PCB	トリクロエチレン	テトラクロエチレン	ジクロロメタン	
南海岸沖 St-1	H13. 7. 18	7.7	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	H12. 7. 27	8.0	1.5	6.2	ND	ND	0.57	0.027	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
西海岸沖 St-3	平成30年度	H30. 5. 14	8.0	2.2	9.1	ND	7.8	0.16	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成29年度	最小	7.9	1.1	6.9	ND	ND	0.12	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	10.8	ND	2.0	0.35	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.7	8.2	ND	2.0	0.23	0.031	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.0	1.5	7.0	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.5	ND	ND	0.32	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.3	ND	ND	0.21	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.9	1.0	7.1	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.9	ND	490	0.43	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.4	8.5	ND	120	0.26	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.8	1.4	6.1	ND	2.0	0.27	0.018	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	9.5	ND	23	0.41	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.6	7.7	ND	13	0.52	0.030	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.6	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.6	9.6	ND	13	0.36	0.038	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.3	ND	3.8	0.23	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	8.0	0.7	6.8	ND	ND	0.13	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	9.6	ND	7.8	0.35	0.031	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.4	ND	3.4	0.26	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	1.7	5.8	ND	ND	0.21	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.9	9.8	ND	ND	0.58	0.045	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.4	7.8	ND	ND	0.32	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.2	8.2	ND	ND	0.19	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.5	9.0	ND	ND	0.25	0.040	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.7	ND	ND	0.22	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.1	7.2	ND	ND	0.14	0.019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.7	ND	33	0.28	0.038	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.2	ND	15	0.21	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.5	ND	ND	0.11	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	9.3	ND	2.0	0.26	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.8	ND	1.9	0.18	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.7	ND	ND	0.10	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.6	8.5	ND	13	0.19	0.042	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.5	ND	5.3	0.15	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.2	1.0	7.6	ND	ND	0.16	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.8	8.7	ND	4.5	0.27	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.3	1.4	8.1	ND	ND	0.22	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.5	7.1	ND	1.8	0.10	0.019	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.9	9.4	ND	220	0.27	0.049	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	8.0	ND	57	0.18	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	ND	0.12	0.018	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.7	ND	23	0.30	0.046	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	7.9	ND	7.1	0.19	0.031	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.7	1.1	6.7	ND	ND	0.11	0.014	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	8.6	ND	40	0.40	0.045	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	7.6	ND	11	0.22	0.029	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		7.9~8.1	1.6~2.1	6.6~9.2	ND	ND	0.10~0.63	0.022~0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平成13年度		7.9~8.0	1.4~1.6	7.0~9.1	ND	ND	0.12~0.13	0.020~0.021	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度		8.0	1.6	6.2	ND	ND	0.42	0.025	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		8.0~8.1 (8.0)	1.4~2.0 (1.7)	6.3~8.9 (7.5)	ND	—	0.13~0.28 (0.22)	0.027~0.044 (0.036)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)		7.8~8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁴⁾	ND	≤0.0005	≤0.003 ⁸⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02	
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁷⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	
	調査日	調査日																				
北海岸沖 St-4	平成30年度	H30.5.14	8.1	2.8	9.4	ND	2.0	0.17	0.022	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成29年度	最小	8.0	0.9	7.0	ND	ND	0.14	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.9	10.9	ND	4.0	0.42	0.049	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.4	ND	2.4	0.26	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.1	1.5	7.0	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.5	ND	4.0	0.29	0.038	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	8.3	ND	2.0	0.20	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	8.0	1.2	7.2	ND	ND	0.16	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.7	10	ND	490	0.50	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	8.6	ND	120	0.33	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.9	1.0	5.7	ND	2.0	0.15	0.016	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.7	ND	23	0.57	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	7.7	ND	13	0.37	0.030	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.8	ND	ND	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	11	ND	13	0.34	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	3.8	0.24	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.0	7.7	ND	ND	0.15	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.2	ND	4.5	0.40	0.043	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.4	ND	2.6	0.25	0.022	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.0	1.3	7.4	ND	ND	0.13	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.8	ND	7.8	0.25	0.042	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.2	ND	4.8	0.22	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.6	ND	ND	0.15	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.1	9.7	ND	4.5	0.25	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.1	ND	2.6	0.19	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.9	ND	ND	0.12	0.024	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.8	ND	23	0.29	0.044	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.8	7.7	ND	8.6	0.22	0.031	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	1.2	8.0	ND	ND	0.19	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.6	ND	1.8	0.26	0.038	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.4	ND	ND	0.21	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.0	1.9	7.4	ND	ND	0.14	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.1	9.4	ND	2.0	0.30	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.3	8.2	ND	1.9	0.19	0.028	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	2.0	0.14	0.016	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.4	8.5	ND	540	0.27	0.049	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平均		8.1	2.0	7.5	ND	140	0.21	0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成15年度	最小	7.9	1.1	6.8	ND	ND	0.11	0.015	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.4	2.0	8.9	ND	17	0.28	0.048	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	1.7	7.9	ND	6.2	0.21	0.031	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		8.0~8.3	1.4~2.0	7.0~9.4	ND	ND	0.11~0.19	0.019~0.027	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		7.9~8.1	1.4~1.7	7.0~9.1	ND	ND	0.13~0.14	0.020~0.022	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度		8.0	1.9	6.7	ND	ND	0.17	0.025	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		8.0~ 8.1 (8.1)	1.5~ 2.2 (1.9)	6.5~ 8.9 (7.6)	ND	—	0.12~ 0.38 (0.23)	0.026~ 0.044 (0.034)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)		7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁴⁾	ND	≤0.0005	≤0.003 ⁸⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02		
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁷⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002		

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン		
																					調査日	
北海岸沖 St-8	平成30年度	H30. 5. 14	8.1	1.9	9.5	ND	2.0	0.18	0.022	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成29年度	最小	8.0	0.8	7.2	ND	ND	0.14	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	10.7	ND	2.0	0.34	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.4	ND	1.9	0.22	0.031	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.1	1.4	7.0	ND	ND	0.15	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	9.4	ND	ND	0.37	0.038	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.3	ND	ND	0.23	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	8.0	1.6	7.4	ND	ND	0.17	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	11	ND	240	0.71	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	2.0	8.7	ND	61	0.35	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.9	1.3	5.6	ND	23	0.25	0.018	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	10	ND	23	0.69	0.041	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.7	7.7	ND	23	0.44	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.9	ND	ND	0.19	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	10	ND	7.8	0.35	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	2.0	0.24	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.4	8.1	ND	ND	0.19	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.1	ND	2.0	0.24	0.036	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.6	ND	ND	0.22	0.014	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.4	7.3	ND	ND	0.11	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.6	9.8	ND	23	0.24	0.046	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.3	ND	8.2	0.20	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	1.0	6.6	ND	ND	0.17	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.4	ND	2.0	0.27	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平均		8.1	1.6	8.1	ND	1.9	0.20	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成19年度	最小	8.0	1.1	7.0	ND	ND	0.09	0.023	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.3	2.6	8.7	ND	11	0.37	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.2	2.1	7.7	ND	4.2	0.20	0.031	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成18年度	最小	8.1	0.5	8.1	ND	ND	0.17	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.3	2.8	8.5	ND	4.5	0.27	0.037	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.2	1.7	8.3	ND	2.0	0.22	0.029	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成17年度	最小	8.1	1.9	7.2	ND	ND	0.11	0.019	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.3	3.0	9.3	ND	2.0	0.27	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.2	2.2	8.0	ND	1.9	0.18	0.030	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成16年度	最小	8.0	1.6	6.4	ND	ND	0.14	0.018	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.2	2.3	8.5	ND	130	0.28	0.046	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	1.9	7.5	ND	34	0.20	0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成15年度	最小	8.0	1.4	6.9	ND	ND	0.14	0.014	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.4	1.8	9.6	ND	25	0.31	0.047	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	1.6	8.0	ND	7.7	0.23	0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		8.0~8.2	1.3~2.0	6.8~9.5	ND	ND	0.10~0.20	0.019~0.026	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		8.1	1.7	9.0	ND	ND	0.14	0.020	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		8.0~ (8.0)	1.5~ (1.8)	6.5~ (7.6)	ND	ND~ (ND)	0.12~ (0.21)	0.027~ (0.035)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
家浦港沖 St-5	H13. 7. 18	8.0	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	H12. 7. 27	8.0	1.7	6.7	ND	1.8	0.19	0.029	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)		7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁴⁾	ND	≤0.0005	≤0.003 ⁸⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02		
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁷⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002		

測定項目 測定場所	調査日	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイキシン類 ²⁾		
南海岸沖 St-1	H13.7.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300	0.078		
	H12.7.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,500	0.086		
西海岸沖 St-3	平成30年度	H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	17,600	—		
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,100	0.073	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	ND	0.009	ND	18,100	0.081
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.077
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,200	0.065	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.010	ND	18,300	0.072
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.010	ND	17,600	0.069
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.065	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.078
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.072
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.010	ND	16,700	0.081
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.090
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.011	ND	17,400	0.086
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.068	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.29	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.18	
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,200	0.070	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.016	ND	18,000	0.21
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.014	ND	17,500	0.14
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.009	ND	17,300	0.084
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.092
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.054
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.063	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	19,000	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,500	0.079
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.071	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	18,700	0.074
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,600	0.073
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,000	0.068	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	19,100	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,500	0.12
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,700	0.072	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	18,900	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,300	0.084
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,000	0.076	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	ND	19,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,700	0.077
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.079	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	—	ND	0.010	ND	19,200	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.009	ND	18,500	0.20
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,400	0.091	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	0.001	18,800	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	17,800	0.11
	平成14年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900~19,200	0.077~0.087	
	平成13年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300~18,800	0.079~0.25	
	平成12年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,500	0.075	
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	<0.007~ 0.013 (0.009)	ND	17,400~ 18,600 (18,000)	0.065	
	環境基準 (海域A・II類型)		≦0.002	≦0.004	≦0.1 ⁶⁾	≦0.04	≦1	≦0.006	≦0.002	≦0.01	≦0.006	≦0.003	≦0.02	≦0.01	—	≦10	≦0.05	—	0.07 ³⁾	0.02 ³⁾	—	≦1	
	検出下限値 (ND)		<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目		調査日	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ²⁾		
測定場所																								
北海岸沖 St-4	平成30年度	H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	17,700	—		
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,000	0.068	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	18,200	0.12	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.063	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.094	
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,100	0.063	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.010	ND	18,000	0.077	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.07	
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	16,600	0.070	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.079	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.075	
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.009	ND	16,700	0.080	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.009	ND	17,900	0.13	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.009	ND	17,400	0.11	
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.051	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.062	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.057	
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,100	0.070	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	17,900	0.083	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.077	
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	0.081	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	ND	ND	17,800	0.086	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,600	0.084	
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.056	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	ND	18,900	0.089	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	18,600	0.073	
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,100	0.064	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,900	0.090	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	18,600	0.077	
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.073	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	ND	18,900	0.074	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,700	0.074	
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	17,800	0.067	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	19,300	0.086	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	18,500	0.077	
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	17,500	0.095	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	—	ND	ND	ND	18,500	0.097	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	18,200	0.096	
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	17,500	0.075	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	—	ND	ND	ND	18,700	0.089	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,000	0.082	
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,800	0.078	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	—	ND	0.007	ND	18,800	0.083	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	0.007	ND	18,300	0.081	
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,000	0.086	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	ND	19,000	0.17	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	17,700	0.12	
	平成14年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900~19,300	0.077~0.08	
	平成13年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,200~18,800	0.081~0.14	
	平成12年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	ND	18,300	0.086
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	0.008~ 0.012 (0.009)	ND	ND	17,200~ 18,600 (17,900)	0.065
	環境基準 (海域A・II類型)			≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁶⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	≤10	≤0.05	—	0.07 ³⁾	0.02 ³⁾	—	≤1	
	検出下限値 (ND)			<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目 測定場所	調査日		四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ²⁾		
	平成30年度	H30.5.14																						
北海岸沖 St-8	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	17,000	0.068	
	平成29年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	ND	18,100	0.073
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.009	ND	ND	17,700	0.071
		平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND	17,200	0.064
	平成28年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.010	ND	ND	18,000	0.064
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.010	ND	ND	17,500	0.064
		平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.009	ND	ND	16,700	0.061
	平成27年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.011	ND	ND	17,800	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	ND	17,300	0.078
		平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.009	ND	ND	16,600	0.065
	平成26年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.010	ND	ND	17,700	0.078
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.010	ND	ND	17,300	0.072
		平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.010	ND	ND	17,000	0.054
	平成25年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	ND	18,000	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.012	ND	ND	17,700	0.19
		平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND	17,100	0.070
	平成24年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.015	ND	ND	17,900	0.071
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	ND	17,500	0.071
		平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.008	ND	ND	17,300	0.068
	平成23年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	0.010	ND	ND	17,800	0.073
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.009	ND	ND	17,600	0.071
		平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.055
	平成22年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.080
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.068
		平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	ND	18,200	0.058
	平成21年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	ND	18,800	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	ND	18,500	0.079
		平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.074
	平成20年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	ND	ND	18,900	0.087
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	ND	18,700	0.081
		平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	ND	17,700	0.061
	平成19年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	ND	19,000	0.11
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	ND	18,500	0.086
		平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	ND	18,000	0.082
	平成18年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	—	ND	ND	ND	ND	18,800	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	ND	18,300	0.088
		平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	ND	17,300	0.088
	平成17年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	ND	18,700	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	ND	18,000	0.092
		平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	0.008	ND	ND	17,400	0.077
	平成16年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	—	ND	0.008	ND	ND	19,600	0.55
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.008	ND	ND	18,400	0.31
		平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	ND	16,600	0.080
	平成15年度	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	0.007	0.004	ND	19,000	0.18
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.007	0.002	ND	17,600	0.14
		平成14年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	ND	17,900~19,300	0.077~0.079
	平成13年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	ND	18,700	0.079	
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	0.008~ 0.010 (0.009)	ND	ND	17,300~ 18,500 (17,900)	0.065	
家浦港沖 St-5	H13.7.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	ND	17,900	0.41	
	H12.7.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	ND	18,200	0.084	
環境基準 (海域A・II類型)		≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁶⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	≤10	≤0.05	—	0.07 ³⁾	0.02 ³⁾	—	—	≤1		
検出下限値 (ND)		<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—			

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施 平成12年度：H12.7.27実施 (St-3、St-4) 平成13年度：H13.7.18 (St-3、St-4)、H14.2.1実施 平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施 平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施 平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施 平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施 平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施 平成21年度：H21.5.21、H21.8.19、H21.11.6、H22.1.20実施 平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施
平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17、H24.1.27実施 平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施 平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施 平成26年度：H26.5.26、H26.8.7、H26.11.12、H27.1.22実施
平成27年度：H27.5.15、H27.7.30、H27.11.17、H28.1.28実施 平成28年度：H28.5.19、H28.8.2、H28.11.18、H29.1.16実施 平成29年度：H29.5.25、H29.7.24、H29.11.9、H30.1.22実施

2) ダイオキシン類 (コプラナ-PCBを含む) は、事前環境モニタリングについては1回分 (H11.11.29) の測定データである。
3) 要監視項目指針値
4) 生物特A類型 (生物A類型の水域のうち、水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域) の基準値
5) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。 (平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
6) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。 (平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)
7) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。 (平成24年1月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
8) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。 (平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)
9) 赤字は海域の環境基準を超過したものを示す。

表2 豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域間隙水水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、タリキソ類：pg-TEQ/L、pHを除く単位：mg/L）

測定項目	調査日		pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	ホウ素	鉛	六価 クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロ エレン	テトラクロ エレン	ジクロ メタン	四塩化 炭素		
測定場所																							
西海岸St-A	平成30年度	H30.5.14	7.9	2.1	ND	ND	0.25	0.033	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
	平成29年度	最小	7.7	1.3	ND	ND	0.11	0.036	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		最大	7.9	1.5	ND	ND	0.49	0.055	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.4	ND	ND	0.31	0.043	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7.7	1.1	ND	ND	0.19	0.025	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.5	0.6	ND	0.58	0.052	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.8	0.5	ND	0.37	0.038	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.19	0.034	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	2.6	ND	ND	0.35	0.049	0.079	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.8	ND	ND	0.27	0.038	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.7	0.8	ND	2.0	0.24	0.027	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.6	ND	2.0	0.47	0.033	0.085	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.4	ND	2.0	0.33	0.030	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7.6	1.2	ND	ND	0.24	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	2.1	ND	4.5	0.48	0.88	0.016	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.7	ND	ND	0.35	0.45	0.008	ND	ND	0.0003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.15	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	ND	0.39	0.073	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	ND	0.25	0.036	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.6	1.1	ND	ND	0.17	0.024	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	11	ND	2.0	0.48	0.032	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	3.7	ND	1.9	0.34	0.028	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7.5	0.5	ND	ND	0.25	0.025	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	1.8	ND	ND	0.31	0.036	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	0.9	ND	ND	0.27	0.032	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7.5	0.7	ND	ND	0.15	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.7	1.7	ND	2.0	1.5	0.042	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	1.1	ND	1.9	0.59	0.031	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.17	0.024	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	ND	ND	4.5	0.32	0.047	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	ND	ND	2.5	0.25	0.035	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.17	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	0.6	ND	2.0	0.81	0.052	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	0.5	ND	1.9	0.41	0.040	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.27	0.037	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.3	ND	ND	0.47	0.096	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	0.8	ND	ND	0.37	0.068	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	7.8	1.2	ND	ND	0.13	0.028	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	2.0	0.43	0.057	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	1.9	0.31	0.039	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	7.6	0.6	ND	ND	0.21	0.035	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	1.9	ND	2.0	0.44	0.043	—	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.4	ND	1.9	0.29	0.039	—	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.8	0.7	ND	ND	0.08	0.032	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.4	ND	ND	0.43	0.042	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.1	ND	ND	0.26	0.036	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度			7.7~8.4	1.3~1.4	ND	ND	0.11~0.40	0.045~0.060	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平成13年度			7.4~8.0	1.2~1.7	ND	ND	0.12~0.25	0.040~0.052	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度			7.7	1.0	ND	ND	0.27	0.041	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)			7.6~ 8.0 (7.8)	1.0~ 1.7 (1.3)	ND	—	0.16~ 0.40 (0.27)	0.026~ 0.065 (0.047)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
管理基準値			5.0~ 9.0	≤30	鉱油類等 ≤35	1,000	≤120	≤16	≤2 ⁶⁾	ND	≤0.005	≤0.03 ⁵⁾	≤0.1	≤0.5	≤0.1	≤1	≤0.003	≤0.3	≤0.1	≤0.2	≤0.02		
検出下限値 (ND)			—	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002		

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全ソーン	PCB	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素
	平成30年度	H30.5.14																			
北海岸 St-B	平成29年度	最小	7.4	4.8	ND	ND	0.7	0.061	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	5.4	1.0	170	1.2	0.21	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	5.1	0.63	44	0.93	0.118	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7.5	3.4	ND	ND	0.44	0.078	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	6.4	0.5	460	1.6	0.15	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.65	4.9	0.5	120	0.80	0.11	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.5	3.2	ND	ND	0.68	0.072	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	5.0	ND	13	0.96	0.19	0.062	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	4.1	ND	6.2	0.83	0.12	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.4	3.4	ND	4.5	0.48	0.056	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.7	5.9	ND	11	1.00	0.18	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	5.2	ND	7.8	0.73	0.11	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7.3	4.1	ND	ND	0.88	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	4.8	ND	ND	1.5	0.88	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	4.5	ND	ND	1.1	0.49	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.1	6.7	ND	ND	1.4	0.066	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.4	16	ND	ND	5.4	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	10	ND	ND	3.1	0.094	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.3	2.8	ND	ND	0.58	0.075	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.7	50	0.9	7.8	4.1	0.17	0.047	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.4	17	0.5	3.4	2.5	0.11	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7.4	4.3	ND	ND	1.2	0.075	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.5	50	0.9	7.8	7.7	0.15	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	22	0.7	3.3	3.6	0.11	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7.1	8.1	ND	ND	1.4	0.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.4	41	ND	7.8	6.1	0.19	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	24	ND	8.4	4.5	0.15	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7.1	4.8	ND	ND	1.5	0.061	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.5	21	0.5	49	7.0	0.41	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.2	16	0.5	15	4.9	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	6.9	7.4	ND	ND	3.0	0.059	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	31	0.6	2.0	11	0.20	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.2	20	0.5	2.0	6.7	0.13	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	6.8	8.9	ND	ND	3.2	0.13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.4	52	1.4	4.5	23	0.50	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.0	39	0.7	2.8	11.8	0.23	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	6.8	19	1.3	ND	12	0.15	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.0	110	2.9	2.8	20	0.24	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	6.9	70	2.1	19	15	0.19	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	6.8	61	ND	ND	15	0.095	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.2	89	4.1	16000	26	0.16	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.0	75	1.9	4000	19	0.13	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	6.8	75	ND	ND	13	0.11	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.0	92	1.8	45	19	0.23	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	6.9	80	1.3	15	16	0.16	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平成14年度		6.8~6.9	100~140	2.4~6.0	ND~7.8	15~36	0.21~0.29	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平成13年度		6.9~7.1	130~170	2.2~6.3	4.0~4.0	23~41	0.24~0.26	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.007	ND	ND	ND	ND	ND
		平成12年度		6.8	170	1.3	2.0	22	0.31	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		6.4~ 6.8 (6.7)	190~ 240 (210)	1.4~ 3.7 (2.4)	—	23~ 32 (29)	0.24~ 0.36 (0.31)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND~ 0.007 (0.006)	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	管理基準値		5.0~ 9.0	≤30	鉱油類等 ≤35	1,000	≤120	≤16	≤2 ⁶⁾	ND	≤0.005	≤0.03 ⁵⁾	≤0.1	≤0.5	≤0.1	≤1	≤0.003	≤0.3	≤0.1	≤0.2	≤0.02
	検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002

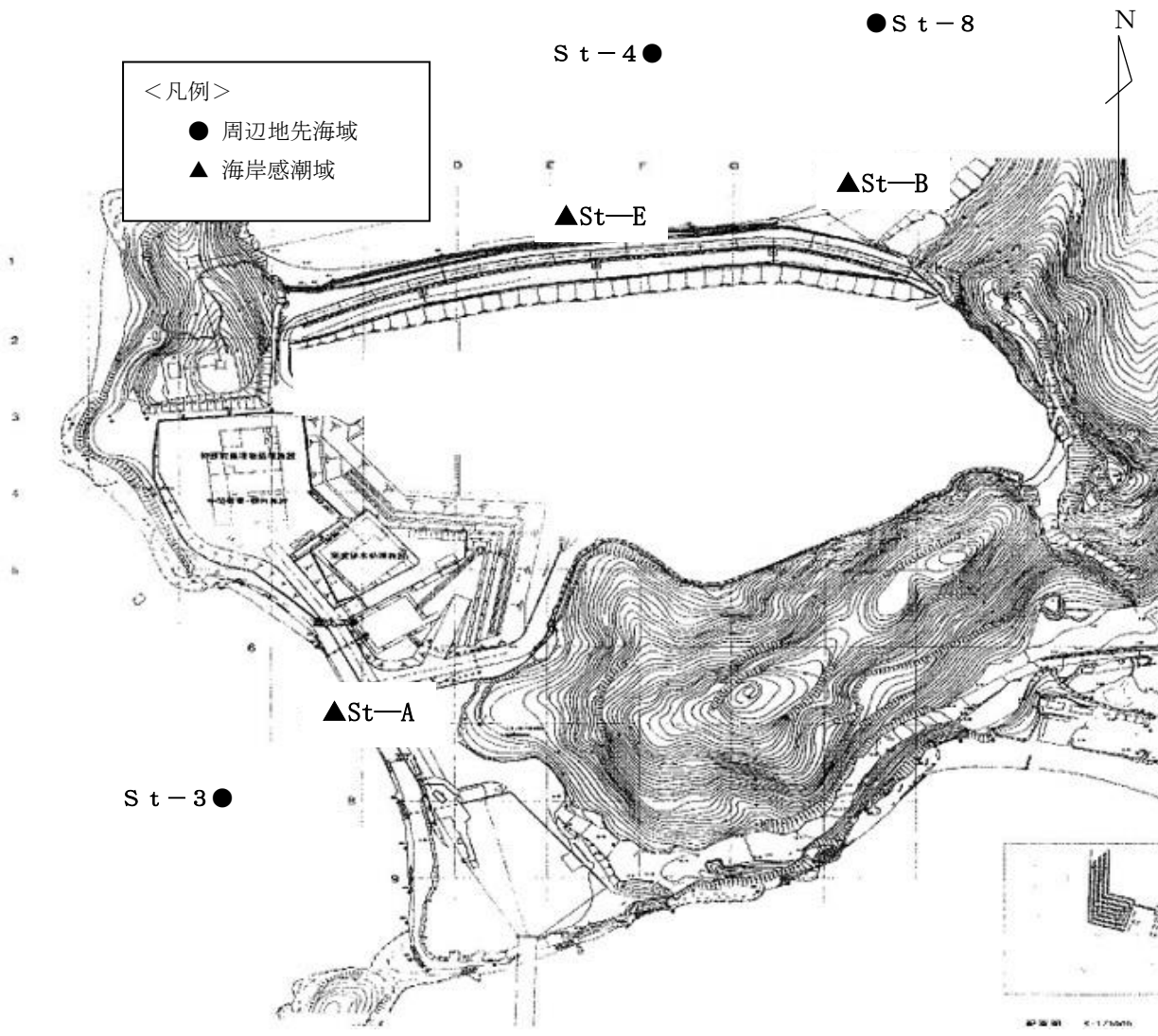
測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全ソーン	PCB	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	
	調査日	調査日																				
北海岸 St-E	平成30年度	H30.5.14	7.6	2.5	ND	1.5	1.5	0.026	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成29年度	最小	7.4	2.5	ND	ND	1.1	0.022	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.5	2.7	0.8	11	2.2	0.039	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	2.6	0.6	4.1	1.6	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7.3	2.1	ND	ND	0.8	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	3.6	0.6	17	1.5	0.061	0.033	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	3.0	0.5	5.65	1.1	0.047	0.01375	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.4	2.3	ND	ND	0.9	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	3.1	ND	9.3	2.1	0.048	0.060	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	2.7	ND	3.7	1.4	0.037	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.4	2.1	ND	2.0	1.1	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	5.1	ND	22	3.0	0.046	0.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	3.6	ND	8.7	2.0	0.034	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7.3	1.1	ND	ND	1.2	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	3.7	0.5	7.8	1.7	0.62	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	2.7	ND	3.5	1.6	0.33	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.15	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	ND	0.39	0.073	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	ND	0.25	0.036	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.4	2.9	ND	ND	1.8	0.040	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.7	3.7	ND	2.0	3.3	0.060	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	3.2	ND	1.9	2.7	0.047	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7.1	2.2	ND	ND	2.2	0.020	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.5	12.0	ND	2.0	7.0	0.051	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	5.0	ND	ND	4.5	0.030	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7.3	3.9	ND	ND	4.1	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.3	7.5	ND	4.5	9.5	0.056	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	4.9	ND	2.5	6.1	0.036	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7.2	4.1	ND	ND	8.6	0.020	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.3	5.4	ND	ND	13	0.044	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.2	4.9	ND	ND	10	0.031	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	7.1	4.9	ND	ND	7.7	0.006	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.3	6.2	ND	2.0	10	0.057	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	5.5	ND	1.9	9.0	0.033	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	7.0	5.2	ND	ND	4.2	0.019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.2	6.8	ND	2.0	10	0.10	0.033	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.1	6.2	ND	ND	6.3	0.060	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	7.0	8.8	ND	ND	13	0.056	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.2	16.0	0.5	2.0	24	0.10	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.1	14.0	0.5	1.9	19	0.075	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	7.0	16.0	ND	ND	21	0.064	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.1	25.0	0.5	28	44	0.15	—	ND	ND	ND	0.005	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.0	22.0	0.5	8.4	36	0.11	—	ND	ND	ND	0.005	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.1	14.0	ND	ND	25	0.071	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.2	21.0	ND	4.5	32	0.17	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.1	18.0	ND	2.5	29	0.099	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		7.0~7.0	15~29	ND	ND	19~46	0.10~0.28	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		7.2~7.2	1.3~21	ND~0.5	ND~1.8	14~40	0.13~0.20	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平成12年度		6.9	230	3.5	ND	170	0.84	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		6.6~ 7.1 (6.9)	140~ 420 (250)	1.6~ 9.2 (4.4)	—	98~ 280 (190)	0.33~ 0.90 (0.70)	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.019~ 0.06 (0.043)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
管理基準値		5.0~ 9.0	≤30	鉱油類等 ≤35	1,000	≤120	≤16	≤2 ⁶⁾	ND	≤0.005	≤0.03 ⁵⁾	≤0.1	≤0.5	≤0.1	≤1	≤0.003	≤0.3	≤0.1	≤0.2	≤0.02		
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002		

測定項目 測定場所	調査日		1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイキシン類 ²⁾	
	年度	日																				
西海岸St-A	平成30年度	H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	—	—	—	18,500	—	
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.007	ND	16,600	1.8
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND	ND	0.01	ND	18,000	10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	17,400	5.9
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	17,500	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	0.49	ND	ND	0.008	ND	18,300	2.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.28	ND	ND	0.008	ND	18,000	1.9
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,500	0.86
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.22	ND	ND	0.011	0.004	18,400	9.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.14	ND	ND	0.009	0.003	17,800	5.3
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.013	ND	17,500	3.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.025	0.002	18,600	4.1
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.019	0.002	18,100	3.6
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.016	ND	17,100	1.5
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND	ND	0.049	ND	18,700	2.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	0.033	ND	18,100	1.9
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.007	ND	17,500	1.0
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.27	ND	ND	0.011	ND	18,000	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.009	ND	17,700	1.2
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	16,100	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.015	0.003	18,100	0.52
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	0.013	0.001	17,300	0.48
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.008	ND	15,400	1.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	ND	0.010	0.002	18,900	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.009	0.002	17,500	1.8
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	0.002	16,500	0.49
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	—	ND	ND	0.002	19,400	0.50
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	—	ND	ND	0.002	18,500	0.50
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,800	0.12
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.009	ND	19,600	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	0.008	ND	19,200	0.66
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	0.001	18,500	2.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	—	ND	ND	0.003	18,900	3.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	ND	0.002	18,700	3.3
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	16,700	1.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.009	0.001	18,700	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	—	ND	0.005	0.001	18,000	1.8
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.007	ND	17,300	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.014	0.005	18,700	7.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	0.011	0.003	18,300	4.6
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	0.001	16,000	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.008	0.015	17,700	5.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	—	ND	0.008	0.008	16,700	3.9
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	14,100	2.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.008	0.004	18,800	6.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.007	0.001	16,700	4.8
	平成14年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,000~19,200	5.3~9.6
平成13年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	0.001~0.001	17,500~18,700	3.6~15	
平成12年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.008	0.001	17,900	9.4	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	ND	ND~ (0.011 0.009)	ND~ (0.001 0.001)	17,100~ 18,600 (17,900)	37
管理基準値			≦0.04	≦1 ⁴⁾	≦0.4	≦3	≦0.06	≦0.02	≦0.1	≦0.06	≦0.03	≦0.2	≦0.1	≦1	≦100	≦0.5	—	—	—	—	≦10	
検出下限値 (ND)			<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ³⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目 測定場所	調査日		1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ²⁾	
	年度	日																				
北海岸 St-B	平成30年度	H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	—	—	—	18,000	—	
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	13,700	0.44
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.008	ND	18,100	0.75
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.008	ND	15,700	0.60
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,500	0.48
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	16,400	0.84
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,700	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.027	ND	17,500	0.58
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.022	ND	16,600	0.51
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,700	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.027	ND	17,500	0.58
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.022	ND	16,600	0.51
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,200	0.34
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,800	0.53
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16,700	0.44
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.007	ND	15,500	0.27
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.007	ND	15,500	0.27
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5,070	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	0.012	0.002	17,500	0.54
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	0.010	0.001	13,000	0.35
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	ND	ND	ND	2,800	0.66
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.035	ND	ND	ND	17,500	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.019	ND	ND	ND	12,900	1.0
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.32
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	16,800	0.47
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	12,200	0.40
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,400	0.23
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	17,100	0.24
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	11,900	0.24
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.47
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	16,600	0.93
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	11,900	0.70
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0	6,000	1.2
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	0.001	15,400	2.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	0.001	9,880	2.0
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	4,600	0.57
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.005	11,500	1.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.003	8,680	0.94
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	5,790	0.27
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.010	0.011	9,520	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	0.009	0.006	7,500	1.0
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	3,920	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	12,000	1.9
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	7,400	0.96
	平成14年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	6,300~9,300	0.21~1.0
	平成13年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.002	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND~0.012	ND	6,800~11,100	0.56~0.97
	平成12年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	11,100	0.43
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~ 0.001 (0.001)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND~ 0.041 (0.016)	ND	8,700~ 10,600 (9,800)	0.25
	管理基準値			≤0.04	≤ ¹⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	≤10
検出下限値 (ND)			<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ³⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目 測定場所	調査日		1, 2- ジクロロ エタン	1, 1- ジクロロ エチレン	シス-1, 2- ジクロロ エチレン	1, 1, 1- トリクロロ エタン	1, 1, 2- トリクロロ エタン	1, 3- ジクロロ プロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベン カルブ	セレン	有機 リン	硝酸性窒素 及び亜硝酸 性窒素	1, 4- ジ オキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物 イオン	ダイキ ン類 ²⁾	
	年度	日																				
北海岸 St-E	平成30年度	H30. 5. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND	—	—	—	18,300	—	
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	ND	ND	14,300	0.15
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.72	ND	ND	0.007	ND	17,100	0.24
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.43	ND	ND	0.007	ND	16,100	0.20
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	ND	ND	ND	ND	16,200	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.72	0.005	ND	ND	0.002	16,800	0.21
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.50	0.005	ND	ND	0.002	16,500	0.18
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	ND	ND	15,500	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.62	0.006	ND	0.007	0.001	17,000	0.43
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	0.005	ND	0.007	0.001	16,300	0.29
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	ND	ND	16,100	0.18
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.79	0.006	ND	0.021	ND	17,000	0.38
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.43	0.006	ND	0.018	ND	16,500	0.28
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.011	ND	16,000	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	ND	ND	0.050	ND	17,400	0.39
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND	ND	0.031	ND	17,000	0.28
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.29	ND	ND	ND	ND	16,200	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.64	ND	ND	0.008	ND	17,300	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	ND	ND	0.007	ND	16,600	0.16
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	ND	15,400	0.069
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	0.008	ND	0.016	0.001	16,300	0.19
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	0.007	ND	0.010	0.001	15,900	0.13
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	0.006	ND	ND	ND	14,700	0.62
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.48	0.014	ND	0.007	ND	17,500	0.75
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	0.009	ND	0.007	ND	16,600	0.69
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	16,500	0.092
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.002	17,800	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.002	16,900	0.21
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	16,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.78	—	ND	ND	0.001	17,300	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.30	—	ND	ND	0.001	16,800	0.080
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	16,700	0.37
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.001	16,800	0.78
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	16,800	0.58
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,700	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.44	—	ND	ND	ND	17,400	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	16,125	2.2
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,600	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	0.007	ND	15,500	2.5
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	—	ND	0.007	ND	15,200	1.0
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	13,600	0.24
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	—	ND	ND	0.008	15,100	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.005	14,500	0.72
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,300	0.69
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	—	ND	ND	0.001	17,400	1.0
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	15,725	0.88
	平成14年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	15,800~18,300	0.39~0.88
	平成13年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,200~17,200	0.48~1.7
平成12年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	7,900	1.1	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)			ND~ 0.010 (0.0028)	ND	ND	ND	ND	ND	0.004~ 0.13 (0.037)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND	ND	6,300~ 12,800 (8,700)	0.096	
管理基準値			≤0.04	≤ ¹⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	≤10	
検出下限値 (ND)			<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ³⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

1) 事前環境モニタリング：H11. 1. 21、H11. 6. 16、H11. 9. 9、H11. 11. 29実施 平成12年度：H12. 7. 27実施 平成13年度：H13. 7. 18、H14. 2. 1実施 平成14年度：H14. 7. 23、H15. 2. 6実施
平成15年度：H15. 5. 15、H15. 7. 14、H15. 10. 24、H16. 2. 10実施 平成16年度：H16. 6. 1、H16. 7. 29、H16. 11. 2、H17. 1. 14実施 平成17年度：H17. 5. 23、H17. 7. 21、H17. 11. 7、H18. 1. 18実施
平成18年度：H18. 5. 26、H18. 8. 8、H18. 11. 27、H19. 1. 24実施 平成19年度：H19. 6. 14、H19. 8. 27、H19. 11. 15、H20. 1. 25実施 平成20年度：H20. 5. 21、H20. 8. 27、H20. 11. 17、H21. 1. 28実施
平成21年度：H21. 5. 21、H21. 8. 19 (H21. 8. 20)、H21. 11. 6、H22. 1. 20実施 平成22年度：H22. 5. 27、H22. 8. 30、H22. 11. 11、H23. 1. 25実施 平成23年度：H23. 6. 29、H23. 8. 26、H23. 11. 17、H24. 1. 27実施
平成24年度：H24. 5. 16、H24. 8. 2、H24. 11. 19、H25. 1. 17実施 平成25年度：H25. 5. 22、H25. 8. 19、H25. 11. 8、H26. 1. 22実施 平成26年度：H26. 5. 26、H26. 8. 7、H26. 11. 12、H27. 1. 26実施
平成27年度：H27. 5. 15、H27. 7. 30、H27. 11. 17、H28. 1. 28実施 平成28年度：H28. 5. 19、H28. 8. 2、H28. 11. 18、H29. 1. 16実施 平成29年度：H29. 5. 25、H29. 7. 24、H29. 11. 9、H30. 1. 22実施



調査地点図

豊島における周辺環境モニタリング（地下水：西揚水井）結果について

西揚水井については第 21 回及び第 22 回排水・地下水等対策検討会において、浄化が確認されたこととすることです承されたことから、周辺環境モニタリングとして実施した。今回、平成 30 年 5 月に実施した西揚水井の水質調査結果についてとりまとめた。

1. 調査の概要

(1) 調査日

平成 30 年 5 月 12 日(月)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

西揚水井

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

分析機関：環境保健研究センター

2. 結果の概要(表 1)

全ての項目において環境基準を満足した。

3. 過去の結果の概要（表 2：参考）

表1 豊島における周辺環境モニタリング（西揚水井：地下水）

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	環境基準値	定量下限値
	H28. 6. 14	H29. 5. 25	H30. 5. 14		
カドミウム及びその化合物	0.0004	ND	ND	0.003mg/L	0.0003mg/L
全シアン	ND	ND	ND	検出されないこと	0.01mg/L
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	0.01mg/L	0.001mg/L
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	0.05mg/L	0.005mg/L
砒素及びその化合物	ND	ND	ND	0.01mg/L	0.005mg/L
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	0.01mg/L	0.005mg/L
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	ND	ND	ND	0.0005mg/L	0.00005mg/L
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	検出されないこと	0.00005mg/L
P C B	ND	ND	ND	検出されないこと	0.00005mg/L
トリクロロエチレン	ND	0.0092	ND	0.01mg/L	0.0005mg/L
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	0.01mg/L	0.0005mg/L
ジクロロメタン	ND	ND	ND	0.02mg/L	0.002mg/L
四塩化炭素	ND	ND	ND	0.002mg/L	0.0002mg/L
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	0.004mg/L	0.0004mg/L
1,1-ジクロロエチレン	ND	0.005	ND	0.1mg/L	0.004mg/L
1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	0.04mg/L	0.004mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	1mg/L	0.0005mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	0.006mg/L	0.0006mg/L
1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	0.002mg/L	0.0002mg/L
チウラム	ND	ND	ND	0.006mg/L	0.0006mg/L
シマジン	ND	ND	ND	0.003mg/L	0.0003mg/L
チオベンカルブ	ND	ND	ND	0.02mg/L	0.002mg/L
ベンゼン	ND	ND	ND	0.01mg/L	0.001mg/L
ホウ素及びその化合物	0.4	0.3	0.4	1mg/L	0.1mg/L
フッ素及びその化合物	0.29	0.22	0.16	0.8mg/L	0.05mg/L
1,4-ジオキサン	0.008	0.009	0.008	0.05 mg/L	0.005mg/L
クロロエチレン ^(注3)	ND	0.0003	ND	0.002mg/L	0.0002mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1.7	0.5	0.7	10mg/L	0.1mg/L
ダイオキシン類	0.65	0.50	0.78	1pg-TEQ/L	—

(注1)ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/Lである。

(注2) ND：検出せず

(注3)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表2 豊島における環境計測結果（西揚水井:参考）

検査項目	西海岸浸出水																								管理基準値 (参考)	検出下限
	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度			平成27年度					
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.11.27	H22.10.20	H23.10.20	H24.11.1	H25.11.18	最小	最大	平均	最小	最大	平均			
水素イオン濃度 (pH)	7.1	7.2	7.1	6.7	7.3	6.9	6.9	7.2	7.0	6.7	6.8	6.9	7.1	6.7	6.6	7.2	6.8	6.8	8.9	7.4	6.6	7.0	6.9	5.0~9.0	-	
生物学的酸素要求量 (BOD)	10	51	26	5.7	9.3	7.7	7.3	15	13	8.2	1.7	0.9	3.9	0.8	1.3	3.5	0.8	ND	0.8	ND	2.5	1.7	30 (日間平均20)	0.5		
化学的酸素要求量 (COD)	42	68	56	20	71	39	35	82	63	77	25	21	35	21	19	24	32	5.3	16	8.9	4.0	5.9	5.0	30 (日間平均20)	0.5	
浮遊物質 (SS)	6	35	19	2	16	8	5	37	25	31	17	13	4	5	26	18	4	ND	3	2	1	4	2	50 (日間平均40)	1	
大腸菌群数	0	27	9	0	0	0	0	38	11	13	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	5	2	(日間平均3000)	-		
油分(石油由来抽出物質含有量)	1.0	2.5	1.8	1.1	5.2	2.6	0.9	2.4	1.6	0.7	0.9	0.7	0.9	1.0	1.1	1.2	1.9	ND	ND	ND	1.2	1.0	35	0.5		
フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.71	0.03	0.06	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02		
銅含有量	ND	ND	ND	ND	0.66	0.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3		
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	1.8	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5		
溶解性鉄含有量	0.05	20	8.0	ND	0.8	0.3	0.08	15	4.1	ND	0.75	ND	1.2	0.67	ND	0.15	5.4	ND	1.1	0.22	ND	0.4	0.22	10	0.05	
溶解性マンガン含有量	3.6	12.0	6.9	0.6	4.7	3.1	3.1	9.4	5.5	2.1	4.0	2.7	3.4	2.2	2.0	2.4	0.9	1.0	2.7	1.9	1.7	3.0	2.4	10	0.4	
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2		
窒素含有量	37	52	43	14	52	28	24	55	41	43	13	13	15	8	8	5	17	2	5	4	2	4	3	120 (日間平均60)	1	
有機含有量	ND	0.1	0.1	ND	ND	ND	ND	0.3	0.2	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16 (日間平均8)	0.1		
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01		
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1		
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01		
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1		
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05		
砒素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.01	0.02	0.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01		
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005		
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005		
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005		
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	0.03		
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01		
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02		
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002		
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004		
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02		
トリス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04		
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3		
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006		
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002		
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006		
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003		
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02		
ベンゼン	0.01	0.04	0.02	ND	0.01	0.01	0.02	0.05	0.04	0.04	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01		
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01		
ほう素及びその化合物	3.6	5.6	4.9	1.7	8.0	4.0	3.4	6.5	5.3	5.0	2.3	2.1	2.6	1.6	1.6	3.5	1.8	0.7	1.1	0.9	0.5	0.7	0.6	230	0.1	
ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8		
アモニウム化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	13.0	22.0	16.3	ND	20.0	13.0	8.8	21.0	14.7	40.0	12.0	10.0	10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	10		
1,4ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05		
ニッケル	0.01	0.06	0.04	ND	0.12	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05		
モリブデン	ND	0.12	0.095	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07		
全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	4.0	2.7	4.0	1.8	2.1	2.8	0.8	1.1	1.1	1.1	-	-	-	0.4		
ウラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0046	0.0013	0.0016	0.0028	0.0012	0.0024	0.0016	0.0057	0.0007	0.0007	0.0007	0.0008	0.0008	0.0008	-	0.0001	
ダイオキシン類	0.19	1.1	0.67	0.24	1.8	1.0	0.17	1.4	0.52	0.24	0.32	0.013	0.17	0.17	0.25	0.046	0.0033	0.016	1.4	0.58	0.0044	0.48	0.13	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cni)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ)を除いて、mg/ℓである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は管理基準を超過しているもの。

平成15年度：H15.6.23、H15.10.16、H16.2.5実施

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施

平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施

平成26年度：H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施

平成27年度：H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.22実施

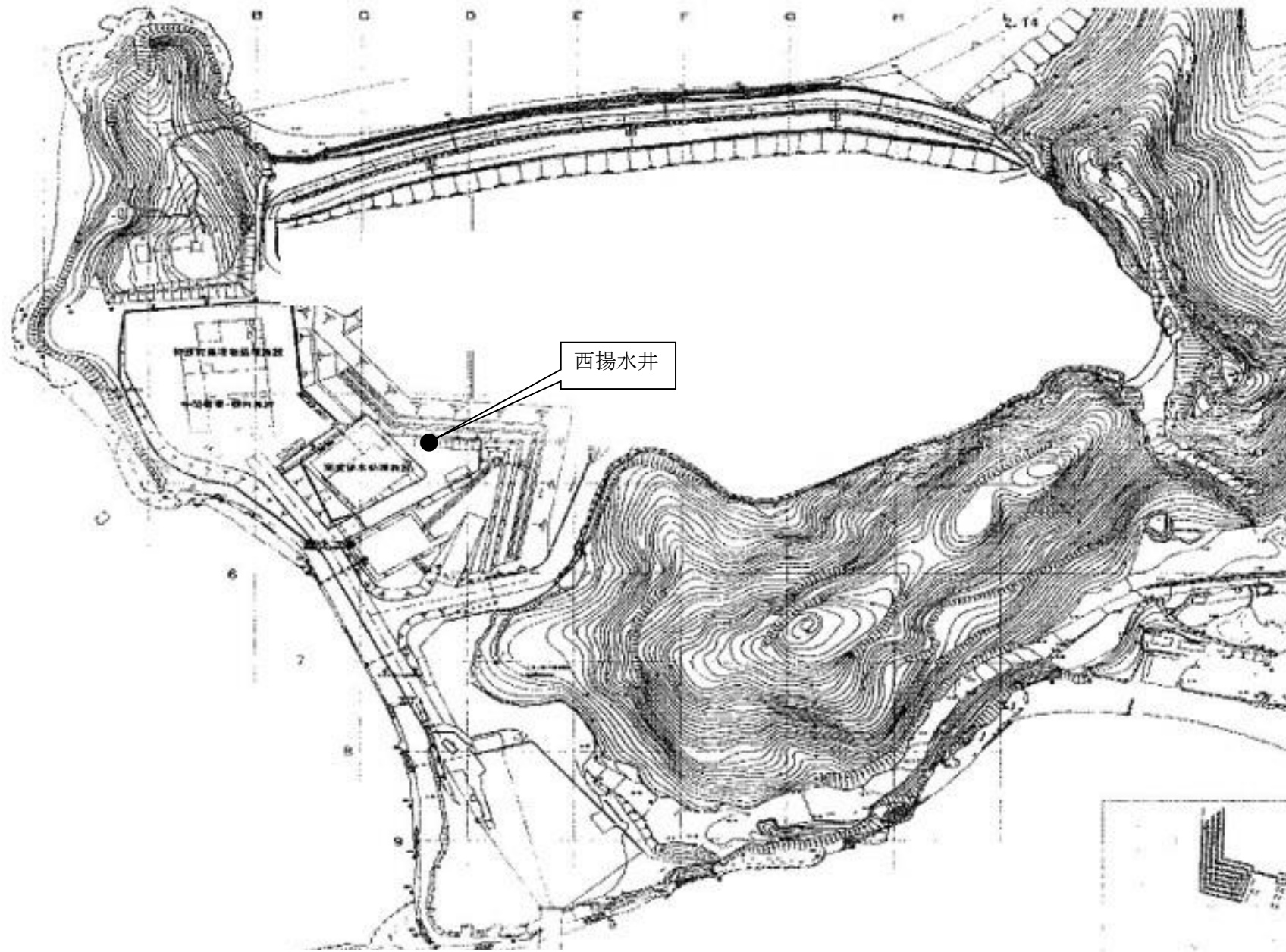


図 調査地点

縮尺 1/75000

各種マニュアルの見直し

1. 概要

現在、豊島廃棄物等処理施設撤去等事業を実施しており、これまでと作業体制や形態が大きく変わっていることから、順次、各種マニュアルの見直しを行っていくこととしている。

2. 修正を行うマニュアルと概要

今回、修正するマニュアルとその概要は次のとおりである。

マニュアル名	追加・修正の概要
豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 暫定的な環境保全措置工事の施設に関する 維持管理マニュアル	沈砂池 1 水質検査項目の見直し及び応急的な 整地に伴う状況にあわせたマニュアルに修正 する。

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業

暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアル

<目次>

I	主 旨	1
II	概 要	1
III	維持管理	2
1	通常の管理	2
2	設備等に異常が生じた場合	5
3	荒天時の管理	6

【修正履歴】

年 月 日	摘 要	審 議 等

暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアル

I 主 旨

- 1 本マニュアルは、暫定的な環境保全措置の施設等の維持管理が適切に行われるよう、「暫定的な環境保全措置の施設に関する維持管理ガイドライン」（第2次技術検討委員会最終報告書添付資料）に基づき、維持管理手法等を取りまとめたものである。
- 2 本マニュアルは、暫定的な環境保全措置として整備した次の施設に適用する。なお、廃棄物等の掘削の進捗に伴い、各施設を構成する設備に変更が生ずることがある。

施 設	対 象 設 備
①雨水排除施設	外周排水路、承水路、沈砂池 1、沈砂池 2、水門、後背地水路、北海岸排水路、南東部雨水排水路
②表面遮水施設	処分地内排水路、西海岸法面工
③鉛直遮水施設	鉛直遮水壁
④揚水施設 (北海岸、西海岸)	揚水人孔、西井戸（揚水井）、揚水ポンプ、送水管、ポンプ操作盤、分電盤
⑤貯留施設	貯留トレンチ
⑥土堰堤保全施設	土堰堤の根固め、築堤工
⑦雨水等貯留施設	承水路、沈砂池 1、水門、初期流入水貯留槽、連通管

諸元：別紙 1 「各設備一覧」、位置：図-1

II 概 要

- 1 施設の維持管理は、設備等に異常が生じた場合の異常時や荒天時も含めて、浸出水が海域へ流出することがないように実施するものとする。

○異常時：揚水人孔及び貯留トレンチの水位上昇、揚水ポンプの機能低下等を生じた時。異常時の基準となる水位は、目視観測により、揚水人孔にあっては、水面が天端高-1.5m程度、貯留トレンチにあっては水面が地上面より-0.2m程度とする。また、揚水人孔については、前日に比し0.5m以上上昇した場合も、異常時とする。

○荒天時：香川県地方、岡山県南部に管轄气象台から「暴風警報」が発表された場合（以下「強風時」という。）又は「大雨注意報」「大雨警報」が発表されたとき及び廃棄物対策課において梅雨等の長雨により処分地内に大量の出水が予想されると判断した場合（以下「異常降雨時」という。）等、荒天が予想される場合。

- 2 施設に管理基準が定められているものについて、基準を逸脱した場合には、あらかじめ定められた必要な措置及び対応を講じるものとする。
- 3 汚染地下水への対応が終了まで中間処理稼動期間と同様の維持管理を継続するものとする。
- 4 貯留施設及び掘削現場の施設の維持管理は、進捗状況に対応しながら実施する。

Ⅲ 維持管理

1 通常の管理

【廃棄物対策課】

(1) 気象状況の把握

香川県防災情報システムの気象・降水量データや香川県河川砂防課保有の降水量データ等により、風雨等に関する気象状況の把握を行う。

①雨水排除施設

- 承水路、沈砂池 1 及び 2 から海域への排水は、出来るだけにごりを出さないように工夫して排水する。
- 北海岸の揚水ポンプ配管等の異常の有無を監視する。

③鉛直遮水施設

- 鉛直遮水壁の前後における地下水位の変動を水位計により測定する。
- 鉛直遮水壁の前後における地下水位の変動がそれぞれ独立している場合には、正常に遮水機能が保たれているものと判断する。
- 鉛直遮水壁からの漏出等のデータが得られた場合には、その原因の調査等を行い、必要に応じて対策などの検討を行う。

④揚水施設

(1) 北海岸

- 揚水人孔内の水位計及び送水管の流量計により、水位の変動並びに揚水ポンプからの流量の状況を監視する。
- 揚水人孔内の地下水位については、概ね TP 0.0m にある場合を、正常に揚水施設が機能しているものと判断する。

⑤貯留施設 (使用している場合)

- 貯留トレンチ内及び地下水排除工の水位を水位計により監視する。貯留トレンチの水位が 1m 未満の場合は常に地下水排除工の水位が TP 0.0m 未満となるように地下水を汲み上げる。貯留トレンチの水位が 1m 以上の場合は、地下水排除工の水位が貯留トレンチの水位未満となるように管理する。
- 高度排水処理施設へ送水する場合は、前日の高度排水処理量から北揚水井揚水量を差し引いた量を目安とし、原則、平日の昼間に流量計及び原水調整槽貯留量を確認しながら送水する。

⑦雨水等貯留施設

- 沈砂池 1 は通常時には貯留量を確保しておくため、できるだけ空の状態にしておくものとする。
- 自動計測器 (UV 計) による沈砂池 1 の化学的酸素要求量 (COD) が放流水の管理基準値の日間平均値 (20mg/l) を超えた場合を注意レベルとする。この注意レベル (20mg/l) を上回った際には、公定法による測定の頻度を上げ、日間平均値を求めるとともに、超過の原因を調査する。

沈砂池 1 の水質管理及び注意レベル

項目	注意レベル	放流水の管理基準値
COD	20mg/l	30mg/l (日間平均 20mg/l)

- 沈砂池 1 の貯留水は、表 1 に示す項目が管理基準値内であることを確認できた場合を除いて放流しない。なお、管理基準値を超過している場合には、掘削現場、貯留トレ

ンチ又は、高度排水処理施設に送水する。

○沈砂池 1 から海域への排水は、土砂の堆積等によるにごりが出来るだけ出ないように工夫して排水する。

~~○沈砂池 1 の水質試験期間中等に降雨による流入水があった場合については、次のとおり取り扱う。~~

~~・水質試験期間中、または、検査結果が判明してから放流するまでの間に、相当量(10mm以上)の降雨があった場合は、水質試験の結果が管理基準以下であることに加え、自動計測器(UV計)のCOD濃度が30mg/l以下であり、濁度が5.6度以下であることを確認したうえで放流する。~~

~~・放流中に相当量(10mm以上)の降雨があった場合は、放流を中断し、自動計測器(UV計)のCOD濃度が30mg/l以下であり、濁度が5.6度以下であることを確認したうえで放流を再開する。~~

~~この取扱いによる放流は、あらためて水質試験を行った場合、その水質試験期間中に再び降雨があることが予測されたり、沈砂池1の貯留量が多く、次の降雨による流入水を貯留する十分な容量がないなど、再度の水質試験結果を確認してからの放流では、沈砂池1の管理に支障をきたすときに行うものとし、原則として、事前に地下水・雨水等対策検討会委員の了解を得るものとする。~~

~~○初期流入水貯留槽は降雨終了後から次の降雨が予想されるまでの間に、貯留水(上層水)を連通管から沈砂池1に移送し、上部に約20m³の空容量を確保しておくものとする。~~

○初期流入水貯留槽及び配管等の破損、漏水の有無を監視する。

【住民】

住民は、施設の異常の有無の確認に努める。

【請負者】

(1) 請負者は、平日 1 回以上（午後 6 時 30 分ほか適宜）、場内を巡回し、次の要領で監視及び点検・管理を行い、その結果は様式 1（請負者用）に取りまとめ、その都度、廃棄物対策課へ FAX で報告する。

(2) 施設の定期的な監視

①雨水排除施設

○外周排水路内の土砂堆積状況や、水路の破断、浸出水の漏出の有無を監視する。堆積物の除去は1月当たり1回を目安とする。

○水路の監視は目視によるものとし、対象範囲は水路工全線とする。

○水路の流下能力を阻害することが懸念される場合は、必要に応じて水路工の維持補修を行うものとする。

○承水路、沈砂池 1 及び 2 の土砂堆積状況や、水位の上昇、にごりの有無を監視し、必要に応じて機能回復を図るものとする。堆積物の除去は1月当たり1回を目安とする。

○北海岸の揚水ポンプ配管等の異常の有無を監視する。

②揚水施設

(1) 北海岸

○目標とする水位の確保が図れない場合には、県の指示により予備揚水ポンプの稼働や予備揚水人孔からの揚水等の措置を講じるものとする。

- 送水管の破損の有無、揚水人孔の破損、浸出水の漏出の有無を監視する。
- 電源設備の停電の有無を監視する。

(2) 西海岸

- 西井戸の水位の変動を定期的に監視する。西井戸の水位が一定の水位を超えた場合には、揚水ポンプにより貯留トレンチ又は高度排水処理施設に送水する。
- 送水管の破損の有無、西井戸の破損、浸出水の漏出の有無を監視する。
- 電源設備の停電の有無を監視する。

③土堰堤保全施設

- 土堰堤の根固め・築堤工及び西海岸法面工の崩落、浸出水の漏出の有無を監視する。
- 監視は目視によるものとし、変状の発生や波浪による浸食・洗掘の状況を確認する。

④雨水等貯留施設

- 沈砂池 1 の土砂堆積状況や、水位の上昇、にごりや着色の有無、藻の発生状況などを監視し、必要に応じて清掃など機能回復を行うものとする。堆積物の除去は 1 回/月を目安とする。
- 承水路のコンクリートマットの継ぎ目などからの漏出水の状況や水位上昇などを監視する。
- 承水路の水門 4 及び沈砂池 1 の水門 3 は、常には開いて閉じておくものとする。
- ~~○承水路の貯留水は、原則として放流しないものとし、水位が上昇した場合には、貯留水を貯留トレンチ又は高度排水処理施設に送水する。~~
ただし、表 1 に示す項目が管理基準値内である場合に限り、県の指示により沈砂池 1 を経由して放流できるものとする。
- 初期流入水貯留槽は降雨終了後から次の降雨が予想されるまでの間に貯留水（上層水）を連通管から沈砂池 1 に移送し、上部に約 20m³ の空容量を確保しておくものとする。
- 初期流入水貯留槽及び配管等の破損、漏水の有無を監視する。

2 設備等に異常が生じた場合

【廃棄物対策課】

- (1) 廃棄物対策課は、請負者又は住民から、設備等の異常が確認された旨の報告を受けた場合は、直ちに、次の対応を行う。
 - ① 別紙 3 の緊急時連絡体制表に基づき、請負者を現地に留め、応急対策の指示を行う。
 - ② フォローアップ委員会、廃棄物対策豊島住民会議及び関係機関への連絡・協議を行う。
 - ③ 状況確認のため、必要に応じて、職員 2 人以上を現地に派遣し、派遣された職員は、現地の状況を確認し、請負者に次の事項を指示する。
 - 補修不可能と判断された場合の設備の新設及び交換。
 - 現地の状況に応じたポンプ等の増設等の補強。
 - 必要に応じ、モニタリング設備のデータ監視。
- (2) 派遣された職員は、周辺環境への影響が懸念される場合は、あらかじめ現場に備えた試料サンプリング容器で、汚水、海水等のサンプルを採取するものとする。
- (3) 必要に応じ、技術アドバイザーに状況を報告し、指導助言を得る。

【住民】

住民は、施設の案内等で、別紙 2 の処分地チェック表に記載したような内容に気づいた場

合は、速やかに、廃棄物対策課に連絡する。

【請負者】

施設等に異常が発見された場合は、請負者は、別紙 3 の緊急時連絡体制表に基づき、廃棄物対策課にその内容を連絡し、指示を受けて次の要領で対応する。対応した結果は、様式 2 により廃棄物対策課に FAX で随時報告する。

内 容	措 置
揚水ポンプの故障、送水管の破損等	<ul style="list-style-type: none"> ○揚水ポンプが機能低下をおこしたり、故障して停止した場合は、直ちに予備揚水ポンプと交換する。さらに、揚水施設全体の水位等に異常が発生しないか、監視を継続・強化する。 ○送水管が破損した場合は、直ちに破損した揚水ラインを停止して、応急措置により浸出水の漏出を防止した後、送水管の補修や交換を行う。さらに、揚水施設全体の水位等に異常が発生しないか、監視を継続・強化する。
貯留トレンチの異常高水位	<ul style="list-style-type: none"> ○揚水ポンプを停止し、機能の正常化を図る。
揚水人孔の異常高水位	<ul style="list-style-type: none"> ○揚水人孔内の地下水位が天端高-1.5m 程度になった場合は、予備の揚水人孔から仮設ポンプによって、空いている貯留トレンチへ揚水して、水位の低下を図る。
浸出水の漏出	<ul style="list-style-type: none"> ○浸出水が漏出し、排水路に浸入している場合には、沈砂池 2 に流れ込むことがないように当該排水路の流末の適当な箇所に土のう等を設置し、排水路の遮断を行う。 ○漏出した浸出水は、仮設ポンプにより貯留トレンチ又は高度排水処理施設へ還流し、漏出防止対策を検討する。
北海岸の異常	<ul style="list-style-type: none"> ○揚水ポンプ配管からの排水の漏出が確認された場合は、雨水堰 A (図-3) を全閉し北海岸への流出を遮断するとともに、揚水人孔堰 B を全開して雨水等を揚水人孔へ導水する。 ○異常原因が排除され、又は、復旧工事が完了した後に雨水水路の清掃を行う。 ○【県】雨水水路滞留水の水質検査 (43 項目 (ダイオキシン類を含む)) を実施する。 ○【県】全ての項目が管理基準値内であれば、雨水堰 A を全開し、揚水人孔堰 B を全閉して通常時の管理に戻す。
沈砂池の汚染 (排水路が汚染された場合及び沈砂池の水質が管理基準値を超過した場合)	<ul style="list-style-type: none"> ○浸出水の漏出あるいは貯留トレンチでのオーバーフローによって、広範囲の排水路が汚染された場合は、原因箇所に土のう等を設置し排水路の遮断を行うとともに、沈砂池 2 への流入水門を沈砂池 1 へ切り替える。(→※1) ○浸出水によって汚染された沈砂池 1 の水は、原則として仮設ポンプによって貯留トレンチ又は高度排水処理施設へ還流するとともに、水路の清掃及び沈砂池 2 の底質を除去し、次の降雨に備える。
漏電・停電	<ul style="list-style-type: none"> ○漏電が確認された際は、漏電箇所の特定制を行い直ちに補修するものとする。 ○停電の場合は、中国電力に停電状況の確認を行い、必要に応じ、復旧までの電源として発電機を設置して、揚水施設の機能維持を図るものとする。
法面の土砂崩落	<ul style="list-style-type: none"> ○豪雨等により、法面の土砂が崩落した場合は、土のう等を置いて、被害拡大を防止する。 ○雨水の浸入が考えられる場合は、ブルーシート等で破損箇所を覆うものとする。

3 荒天時の管理

【廃棄物対策課】

廃棄物対策課は、気象状況データから判断し強風、異常降雨等の荒天が予想される場合には、別紙3の緊急時連絡体制表に基づき、請負者を現地にとどめ、監視強化を図るものとする。

また、必要に応じて、職員2人以上を現地に派遣し、派遣された職員はモニタリング設備のデータ監視等を含めた現地の状況を確認して、請負者ととともに現地での対応を行う。

また、必要に応じ、技術アドバイザーに状況を報告し、指導助言を得る。

【請負者】

請負者は、2人以上の人員を現場に配置して、次の対応を行う。対応した結果は様式2により廃棄物対策課へ随時報告する。

ただし、請負者自身が危険と判断した場合は、作業を中止して安全な場所に避難し、状況を確認する。

	措 置
異常降雨時	<ul style="list-style-type: none"> ○異常降雨が予想される場合には、沈砂池1及び承水路の貯留水を高度排水処理施設に揚水し、処理する。なお、沈砂池1及び承水路の貯留水について表1に示す項目が管理基準値内であるときに限り、放流する。事前に高度排水処理施設の調整槽に余裕をもたせておくこととするが、調整槽の容量を超える場合は、高度排水処理施設の常設ポンプで貯留トレンチに還流する。 ○異常降雨が予想される場合には、雨水排除施設、揚水施設等の各施設が正常に機能しているか、十分に点検しておく。 ○貯留トレンチの補修を設ける必要がある場合に備え、仮設ポンプやホース、バックホウ等の重機や運転要員を確保しておく。 ○降雨時には、ポンプを重点的に、排水系統の状況の監視を強化する。
※1 設備等の異常発生時に豪雨が予測される場合 【県】	<ul style="list-style-type: none"> ◎レベル1〔予想される累積雨量が200mm以内のとき〕 ○【県】沈砂池1周辺（沈砂池1及び承水路等、最大貯留量約12,300m³（うち1,300立方メートルは高度排水処理施設の原水槽に貯留する））を最大限活用し、沈砂池1周辺に貯留する。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎レベル2〔予想される累積雨量が200mmを越えるとき〕 — 昼間 — ○【県】事前に関係機関に連絡し、沈砂池1の水門③を開き沈砂池1の貯留水を放流する。 ○【県】放流水を採水し、分析結果を後日報告する。
	<ul style="list-style-type: none"> — 夜間 — ○【県】事前に関係機関に連絡し、沈砂池1の水門③を閉め、切替水門を操作してシート上からの雨水を沈砂池2に流入させる。 ○【県】沈砂池1と沈砂池2との連通管を閉め、後背地からの流入水とシート上からの流入水を沈砂池2に貯留させ、沈砂池2の呑口工から自然越流させる。 ○【県】越流水を採水し、分析結果を後日報告する。

表1 放流水の評価基準

区分	項目	管理基準値	水質汚濁防止法、最終処分場の排水基準（参考）
健康項目	カドミウム及びその化合物	0.03mg/l—(カドミウムとして)	0.1mg/l—(カドミウムとして)
	シアン化合物	1mg/l—(シアンとして)	1mg/l—(シアンとして)
	鉛及びその化合物	0.1mg/l—(鉛として)	0.1mg/l—(鉛として)
	六価クロム及びその化合物	0.5mg/l—(六価クロムとして)	0.5mg/l—(六価クロムとして)
	砒素及びその化合物	0.1mg/l—(砒素として)	0.1mg/l—(砒素として)
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005mg/l—(水銀として)	0.005mg/l—(水銀として)
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと
	PCB	0.003mg/l—	0.003mg/l—
	トリクロロエチレン	0.1mg/l—	0.1mg/l—
	テトラクロロエチレン	0.1mg/l—	0.1mg/l—
	ジクロロメタン	0.2mg/l—	0.2mg/l—
	四塩化炭素	0.02mg/l—	0.02mg/l—
	1,2-ジクロロエタン	0.04mg/l—	0.04mg/l—
	1,1-ジクロロエチレン	1mg/l—	1mg/l—
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/l—	0.4mg/l—
	1,1,1-トリクロロエタン	3mg/l—	3mg/l—
	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/l—	0.06mg/l—
	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/l—	0.02mg/l—
	手ウラム	0.06mg/l—	0.06mg/l—
	シマジン	0.03mg/l—	0.03mg/l—
	手オベンカルブ	0.2mg/l—	0.2mg/l—
	ベンゼン	0.1mg/l—	0.1mg/l—
	セレン及びその化合物	0.1mg/l—	0.1mg/l—
	ほう素及びその化合物	230mg/l—	230mg/l—
	ふっ素及びその化合物	15mg/l—	15mg/l—
	ニッケル※	0.1mg/l—	—
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100mg/l—	100mg/l—
	1,4-ジオキサン	0.5mg/l—	0.5mg/l—
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	5.0～9.0	5.0～9.0 (海域へ排出する場合)
	生物化学的酸素要求量 (BOD)―	30mg/l— (日間平均 20mg/l)	30mg/l— (日間平均 20mg/l) 注1
	化学的酸素要求量 (COD)	30mg/l (日間平均 20mg/l)	30mg/l (日間平均 20mg/l) 注1
	浮遊物質 (SS)	50mg/l (日間平均 40mg/l)	50mg/l (日間平均 40mg/l) 注1
	トリクロロエチレン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)―	5mg/l—	5mg/l—
	トリクロロエチレン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	30mg/l—	30mg/l—
	フェノール類含有量	5mg/l—	5mg/l—
	銅含有量	3mg/l—	3mg/l—
	亜鉛含有量	2mg/l—	2mg/l—
	溶解性鉄含有量	10mg/l	10mg/l
	溶解性マンガン含有量	10mg/l—	10mg/l—
	クロム含有量	2mg/l—	2mg/l—
	大腸菌群数	日間平均 3,000 個/cm ³	日間平均 3,000 個/cm ³
	窒素含有量	120mg/l— (日間平均 60mg/l)	120mg/l— (日間平均 60mg/l)
	リン含有量	16mg/l— (日間平均 8mg/l)	16mg/l— (日間平均 8mg/l)
モリブデン	—	—	
ダイオキシン類	10pg-TEQ/l	10pg-TEQ/l 注2	

別紙 1

各 設 備 一 覧

1 雨水排除施設

- (1) 外周排水路 総延長 L=1,350m
- (2) 沈砂池 2 貯留可能容量 540m³ (A=322m²、H=1.4m)
- (3) 水門 (図-2)
沈砂池流入切替 (スライドゲート式)
- (4) 雨水堰・揚水人孔 (図-3)

2 表面遮水施設

処分地内排水路：総延長 L=1,270m

3 鉛直遮水施設：鉛直遮水壁の総延長 L=360m

4 揚水施設

- (1) 揚水人孔 (北海岸) 揚水人孔①、②、③ (φ=1.5m、H=7.9m)
注：①、③は、②の予備設備として利用する
- (2) 揚水井 (西海岸) 西井戸 (φ=0.8m、H=6.8m)、

(3) 揚水ポンプ

	数量 (基)	口径 (インチ)
西井戸	1	2
北海岸揚水人孔②	1+1	4

- (4) ポンプ制御盤 1基、ポンプ操作盤 14基

- (5) 分電盤 12基

5 貯留施設：貯留トレンチ 1基

6 土堰堤保全施設：根固め、築堤工総延長 L = 322m

7 雨水等貯留施設

- (1) 沈砂池 1 貯留可能容量 920m³ (A=773m²、H=0.9m)
- (2) 承水路 貯留可能容量 530m³ (L=156m、H=1.0m)
- (3) 水門 (図-2) 沈砂池 1 放流部、承水路
- (4) 初期流入水貯留槽 貯留可能量 30m³

8 モニタリング設備

装置名	数量	設置場所
・投込み式水位計	4	遮水壁内側及び外側、揚水人孔②、貯留トレンチ
・電磁流量計	2	揚水人孔②の送水管、貯留トレンチの送水管
・pH計	1	沈砂池 1
・UV計	1	沈砂池 1
・転倒ます式雨量計	1	沈砂池 1 南側

処 分 地 チェック 表

区 分	チェック項目	異常だと思った場合に 県へ連絡する内容
揚水人孔 貯留トレンチ 揚水井	①浸出水があふれていないか。 ②水位は上昇していないか。	①あふれている場所 ②あふれた浸出水はどこへ流れたか。 ③海は汚れていないか。
揚水ポンプ 送水管	①ポンプから作動音がしているか。(動いているか) ②送水管から浸出水が漏れていないか。	①ポンプの状態 ②漏れている場所
外周排水路 処分地内排水路	①浸出水が漏れていないか。 ②こわれているところはないか。	①浸出水が漏れている場所 ②排水路がこわれている場所
沈砂池	①変色していないか。 ②においはないか。	①水位はどのくらいか。 ②海へ流れていないか。 ③海は汚れていないか。
北海岸土堰堤 西海岸法面 西海岸承水路	①法面、堰堤が崩れていないか。 ②浸出水が漏れていないか。	①崩れている範囲 ②漏れている範囲 ③沈砂池は汚れていないか。
その他	—	①雨の状況 ②風の状況 ③工事業者の作業状況

(連絡先)

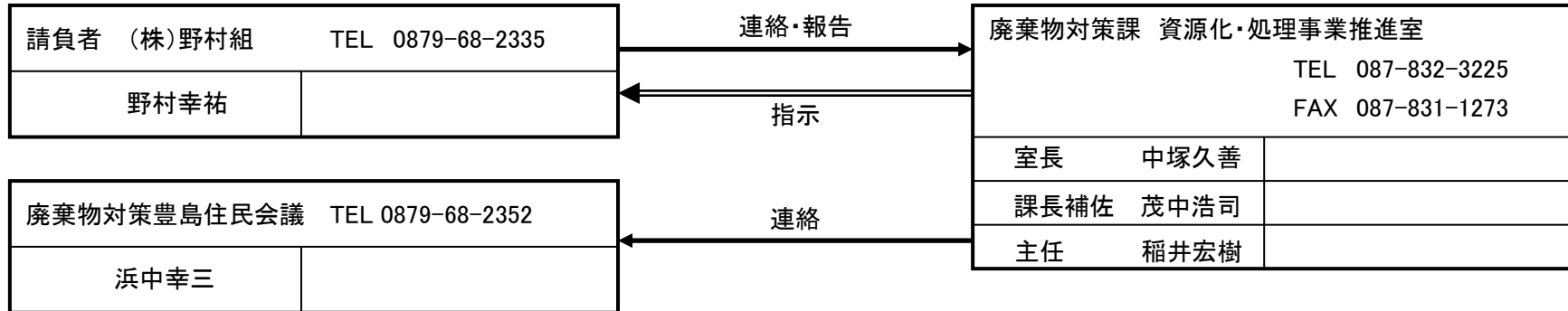
(昼間) 廃棄物対策課 : TEL 087-832-3225、3228 FAX 2985

(夜間・休日) 廃棄物対策課長又は課長が指定する職員

(携帯) 090-0000-0000

緊急連絡体制

平成 30 年 9 月現在



様式1 請負者用

場 内 巡 回 日 報

廃棄物対策課

宛

平成 年 月 日 天候 ()

入場時刻 (:) 退場時刻 (:)

巡回者 名前 :

(FAX 087-831-1273)

区 分		確 認 事 項	結 果	区 分		確 認 事 項	結 果
雨水 排除 施設	外周排水路	土砂が多量に溜まっていないか。	有・無	揚 水 施 設	揚水人孔の送水管	破損、浸出水の漏出はないか。	有・無
		破断箇所又は浸出水が漏出している箇所はないか。	有・無			揚水井の送水管	破損、浸出水の漏出はないか。
	沈砂池1 水位 : m pH : COD : mg/l (放流 : 有・無)	貯留水ににごりはないか。	有・無	施 設	揚水ピットの送水管	破損、浸出水の漏出はないか。	有・無
		放流口が埋没していないか	有・無			電源設備	断線、破損はないか。
	沈砂池2 水位 : m (放流 : 有・無)	排水による海域にごりはないか。	有・無	施 設	貯留トレンチ 送水管	浸出水がオーバーフローしていないか。	有・無
		貯留水ににごりはないか。	有・無			破損、浸出水の漏出はないか。	有・無
排水による海域にごりはないか。	有・無	土 堤 堰	根固工及び築堤工	崩落箇所はないか。	有・無		
	有・無			浸出水が漏出している箇所はないか。	有・無		
表面 遮 水 施 設	透気・遮水シート	めくれている箇所はないか。	有・無	棧橋及び付属施設		目視で異常は見当たらないか。	有・無
		浸出水が漏出している箇所はないか。	有・無	コンテナヤード及び付属施設		目視で異常は見当たらないか。	有・無
	処分地内排出路	土砂が多量に溜まっていないか。	有・無	道路及び付属施設		目視で異常は見当たらないか。	有・無
		破断箇所又は浸出水が漏出している箇所はないか。	有・無	中間保管・高度排水及び付属施設		目視で異常は見当たらないか。	有・無
西海岸法面	崩落箇所はないか。	有・無	掘削現場		目視で異常は見当たらないか。	有・無	
	浸出水が漏出している箇所はないか。	有・無					
作 業 環 境	中間保管・梱包施設 (作業 : 有・無)	建屋内で異臭は発生していないか。	有・無	作 業 環 境	掘削・混合地点 (作業 : 有・無)	粉じん等が飛散していないか。	有・無
		建屋内で粉じん等によるのどの痛み等はないか。	有・無			入口付近で異臭は発生していないか。	有・無
		粉じん等が飛散していないか。	有・無			散水は行われているか。※	有・無
	特殊前処理室 (作業 : 有・無)	粉じん等が飛散していないか。	有・無		陸上輸送 (作業 : 有・無)	作業員はマスク等を装着しているか。※	有・無
		作業員はマスク等を装着しているか。※	有・無			廃棄物等が飛散していないか。	有・無
高度排水処理施設	異臭は発生していないか。	有・無		運転手は積込時にマスク等を装着しているか。※	有・無		
特 記 事 項							

注) 作業環境の確認は、作業場所の入口付近で行うこと。※印の項目の確認は、作業が行われていない場合は記入は不要。

様式1 職員用

場内巡回日報

廃棄物対策課

宛

平成 年 月 日 天候 ()

入場時刻 (:) 退場時刻 (:)

巡回者 名前 :

(FAX 087-831-1273)

区分	確認事項	結果	区分	確認事項	結果	
雨水排除施設	外周排水路	土砂が多量に溜まっていないか。	揚水施設	揚水人孔の送水管	破損、浸出水の漏出はないか。	
		破断箇所又は浸出水が漏出している箇所はないか。		西井戸(揚水井)の送水管	破損、浸出水の漏出はないか。	
	沈砂池1	貯留水ににごりはないか。		東井戸(揚水ピット)の送水管	破損、浸出水の漏出はないか。	
	水位 : cm	放流口が埋没していないか		電源設備	断線、破損はないか。	
	pH : COD : mg/l	排水による海域のにごりはないか。		その他仮設送水管等	掘削現場外への浸出水の漏出はないか。	
	沈砂池2	貯留水ににごりはないか。		貯留施設	掘削現場素掘ピット(南側)	浸出水がオーバーフローしていないか。
	水位 : cm	排水による海域のにごりはないか。			貯留トレンチ	浸出水がオーバーフローしていないか。
	沈砂池1放流ゲート	閉・開(時分～時分)			送水管	破損、浸出水の漏出はないか。
	沈砂池2越流	①時分(有・無)②時分(有・無)③時分(有・無)			土堰	根固工及び築堤工
	承水路ゲート	閉・開(時分～時分)				浸出水が漏出している箇所はないか。
沈砂池ゲート	沈砂池1・沈砂池2(切替時刻時分)	棧橋及び付属施設		目視で異常は見当たらないか。		
北海岸雨水堰	北海岸・揚水人孔(切替時刻時分)	コンテナヤード及び付属施設		目視で異常は見当たらないか。		
表面遮水施設	透気・遮水シート	めくれている箇所はないか。	道路及び付属施設	目視で異常は見当たらないか。		
		浸出水が漏出している箇所はないか。	中間保管・高度排水及び付属施設	目視で異常は見当たらないか。		
	処分地内排出路	土砂が多量に溜まっていないか。	掘削現場	目視で異常は見当たらないか。		
		破断箇所又は浸出水が漏出している箇所はないか。	仮囲い	転倒、破損はないか。		
西海岸法面		崩落箇所はないか。	北海岸東詰	浸出水の漏出はないか。		
		浸出水が漏出している箇所はないか。				
作業環境	中間保管・梱包施設	建屋内で異臭は発生していないか。	作業環境	掘削・混合地点	粉じん等が飛散していないか。	
	(作業：有・無)	建屋内で粉じん等によるのどの痛み等はないか。		(作業：有・無)	入口付近で異臭は発生していないか。	
		粉じん等が飛散していないか。			散水は行われているか。※	
	特殊前処理室	粉じん等が飛散していないか。			作業員はマスク等を装着しているか。※	
	(作業：有・無)	作業員はマスク等を装着しているか。※		陸上輸送	廃棄物等が飛散していないか。	
高度排水処理施設	異臭は発生していないか。	(作業：有・無)	運転手は積込時にマスク等を装着しているか。※			
特記事項						

注) 作業環境の確認は、作業場所の入口付近で行うこと。※印の項目の確認は、作業が行われていない場合は記入は不要。

様式2

場内巡回日報（異常時及び荒天時）

廃棄物対策課

平成 年 月 日 () 天候 ()

あて

入場時刻 (:) 退場時刻 (:)

(FAX 087-831-1273)

巡回者 氏名 :

責任者 氏名 :

確認時刻	異常等の内容	対応内容

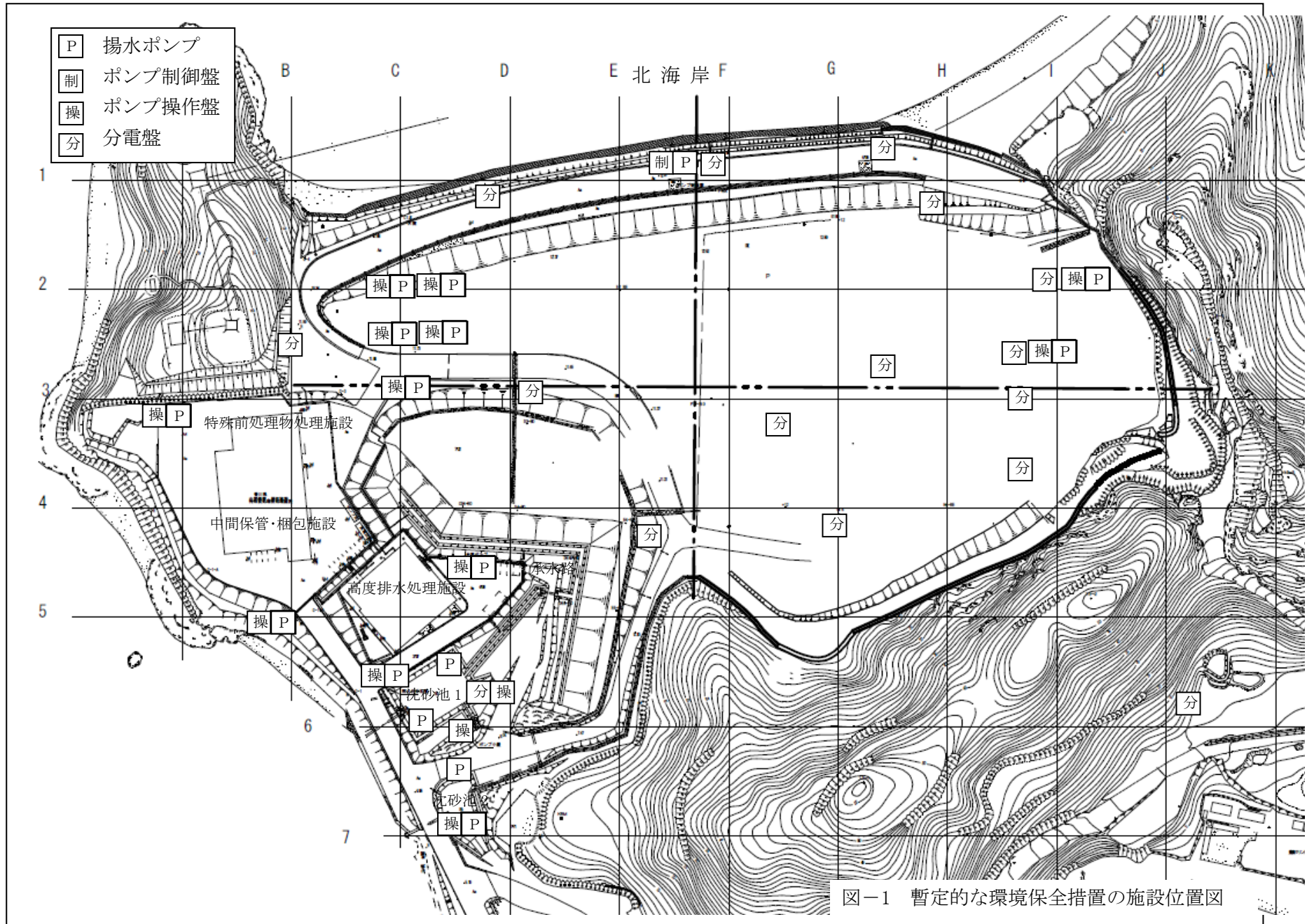


図-1 暫定的な環境保全措置の施設位置図

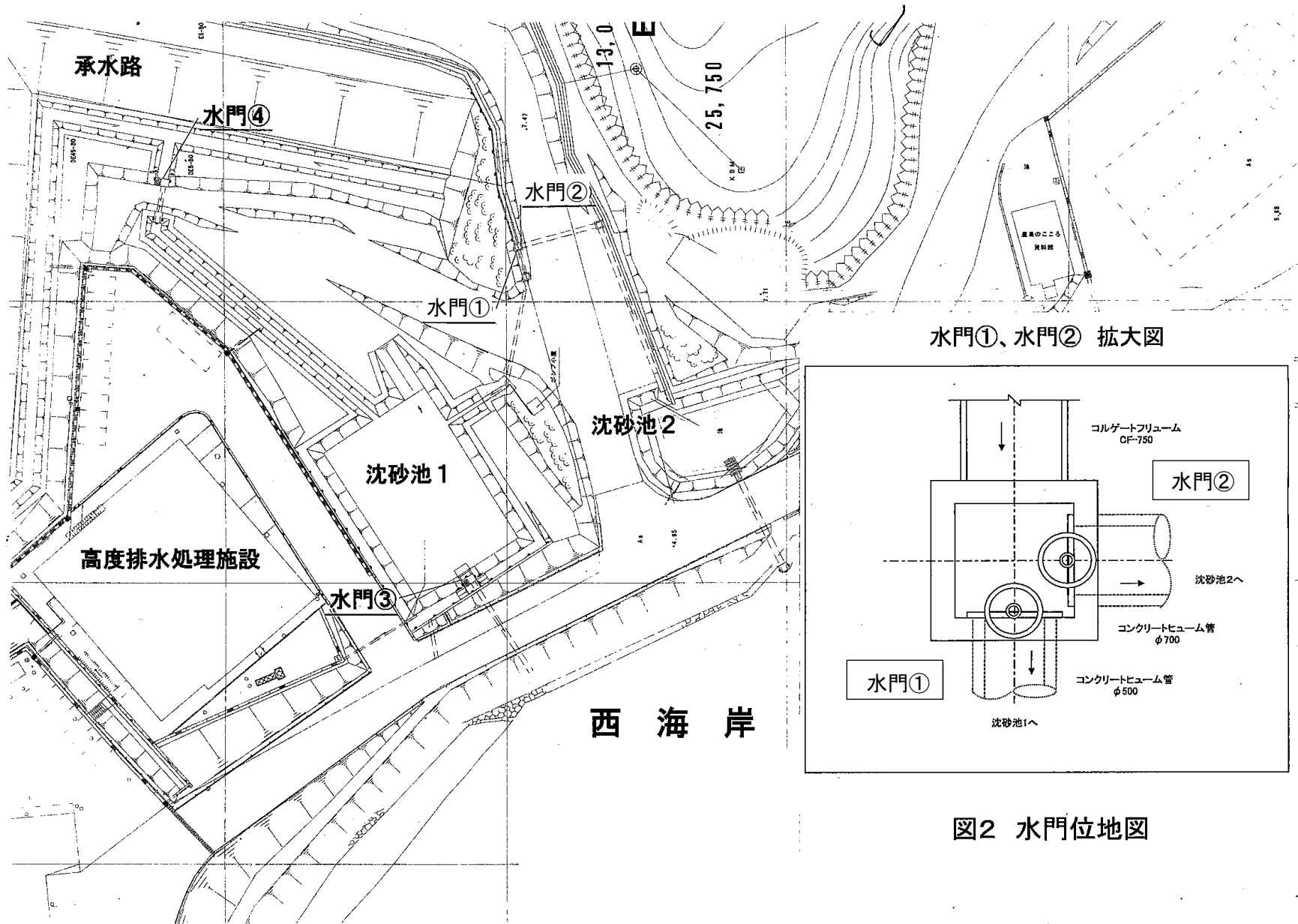


図2 水門位地図

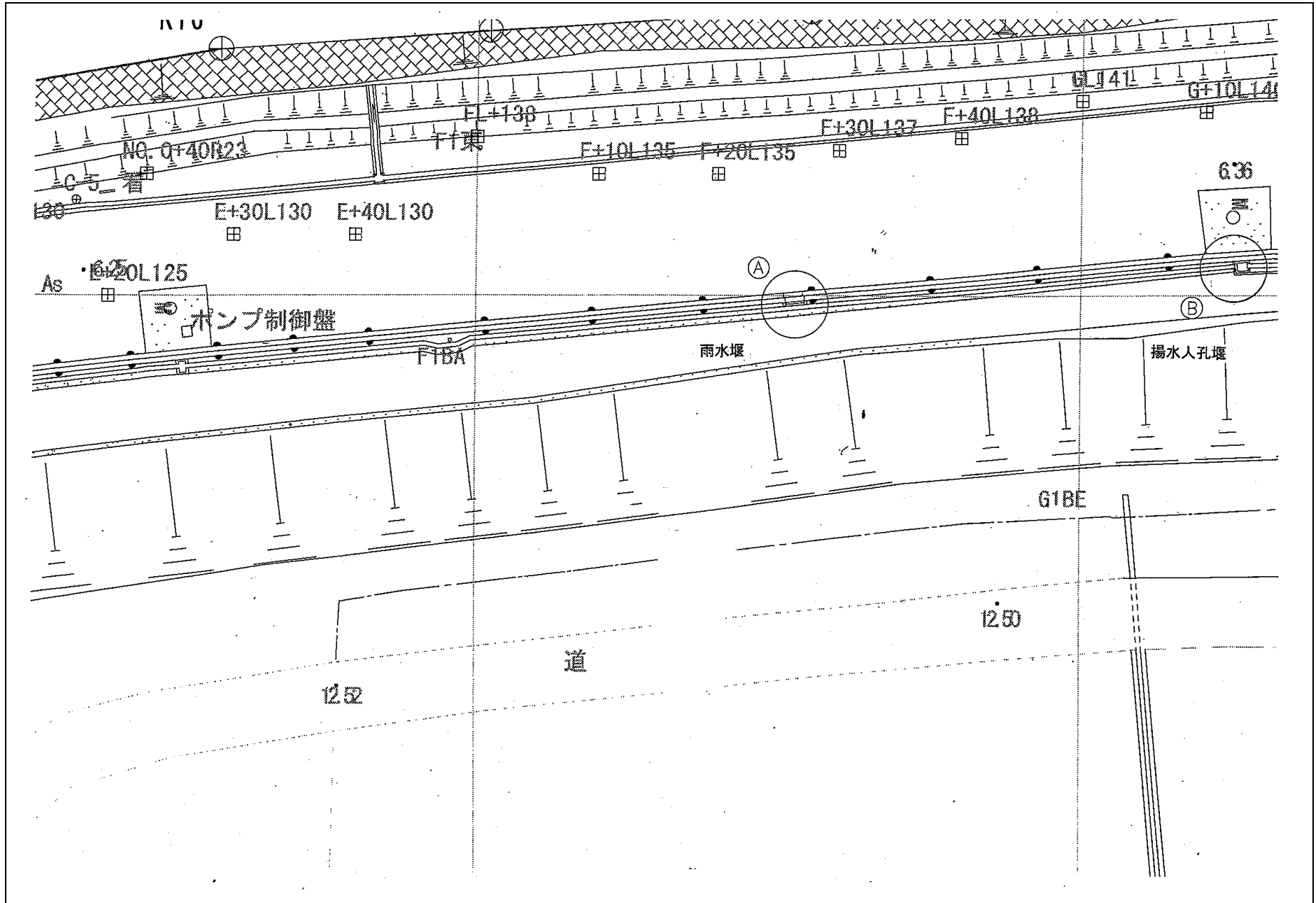


図-3 雨水堰・揚水人孔堰（北海岸）

廃棄物対策課

(廃棄物対策課内での確認事項)

○気象状況の把握

- ①風雨に関する注意報、警報の発令状況確認（毎日）
- ②週間天気・日降雨量の確認（毎日）
- ③月間降水量の確認（1回/月）

○表示システム

(現地での確認事項)

○モニタリング設備データの回収・整理（1回/月）

①表面遮水施設

- ・水位計による地下水位の測定

②鉛直遮水施設

- ・遮水壁外側及び内側の水位計の観測データの確認

③揚水施設

- ・揚水人孔内の水位計及び送水管の流量計の観測データの確認

④貯留施設

- ・貯留トレンチの水位計の観測データの確認

⑤雨量

⑥沈砂池1水質

定期報告

請負者

(現地での確認事項)

①雨水排除施設（目視）

- ・外周排水路の土砂堆積状況、水路の破断、浸出水の漏出の有無（必要に応じ、水路工の維持補修の実施）
- ・北海岸への雨水の放流（県より指示があった場合）

②表面遮水施設（目視）

- ・処分地内排水路の土砂堆積状況、水路の破断、浸出水の漏出の有無（必要に応じ、水路工の維持補修の実施）
- ・西海岸覆土法面の崩落箇所、浸出水の漏出の有無

③揚水施設（目視、聴音及び水位計による確認）

- ・揚水ポンプ（揚水人孔、揚水井、揚水ピット）の稼働状況、送水管の破損の有無
- ・揚水人孔、揚水井及び揚水ピットの水位
- ・揚水人孔、揚水井及び揚水ピットの破損、浸出水の漏出の有無
- ・電源設備の停電の有無

④貯留施設（目視及び水位計による確認）

- ・貯留トレンチの水位

⑤土堰堤保全施設（目視）

- ・土堰堤の根固め・築堤工及び西海岸法面工の崩落、浸出水の漏出の有無

⑥掘削現場の施設（目視）

- ・掘削後の法面の崩壊の有無

⑦雨水貯留施設（目視）

- ・沈砂池・承水路の土砂堆積状況、浸出水の有無、水位上昇、にごりの有無（必要に応じ、沈砂池の機能回復の実施）
- ・水門の状況
- ・UV計による沈砂池1のCOD値
- ・沈砂池から海域の放流時のにごりの抑制措置（県より指示があった場合）

住民は施設の異常の有無の確認に努める。

図-4 通常の管理体制

廃棄物対策課

請負者

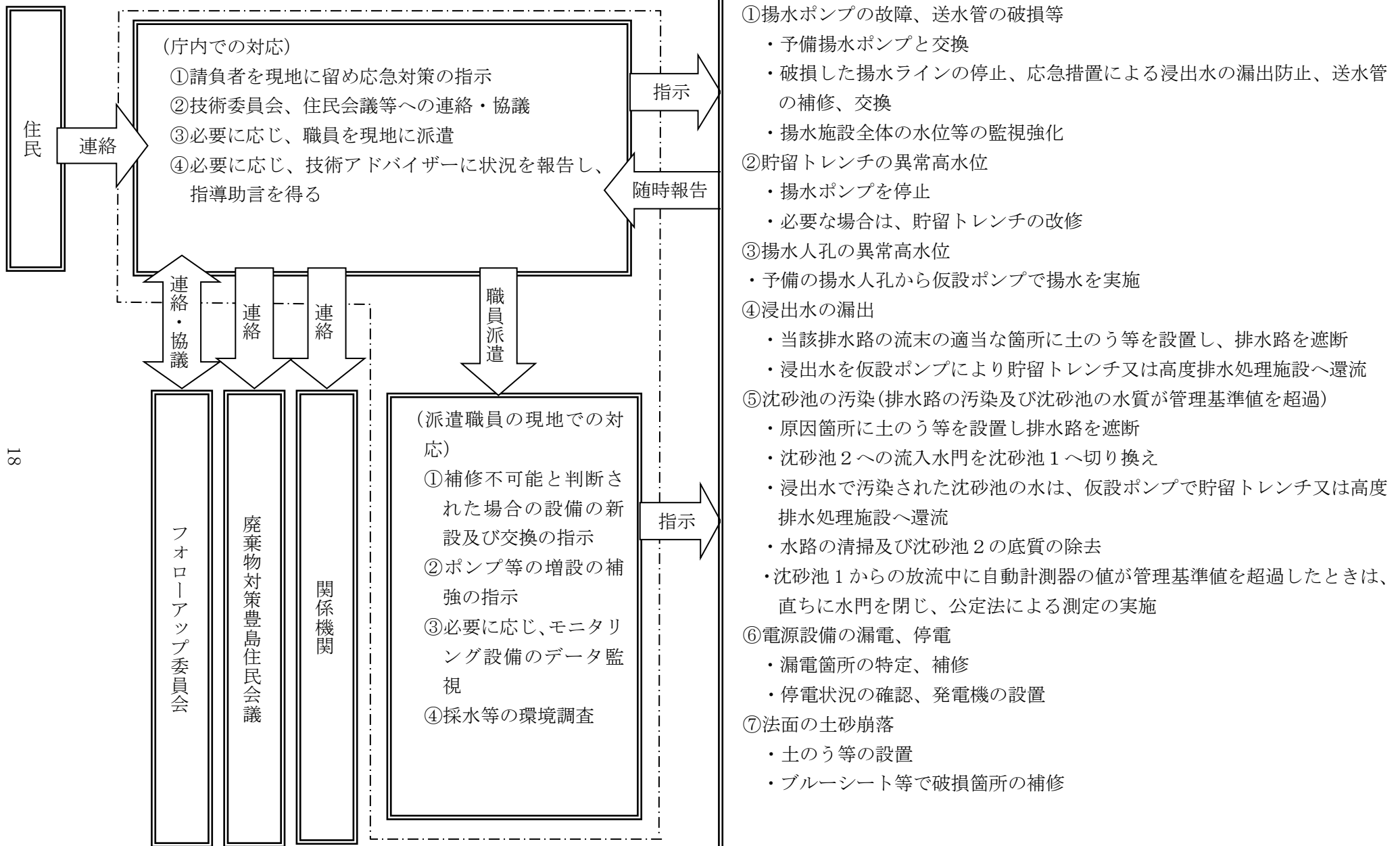
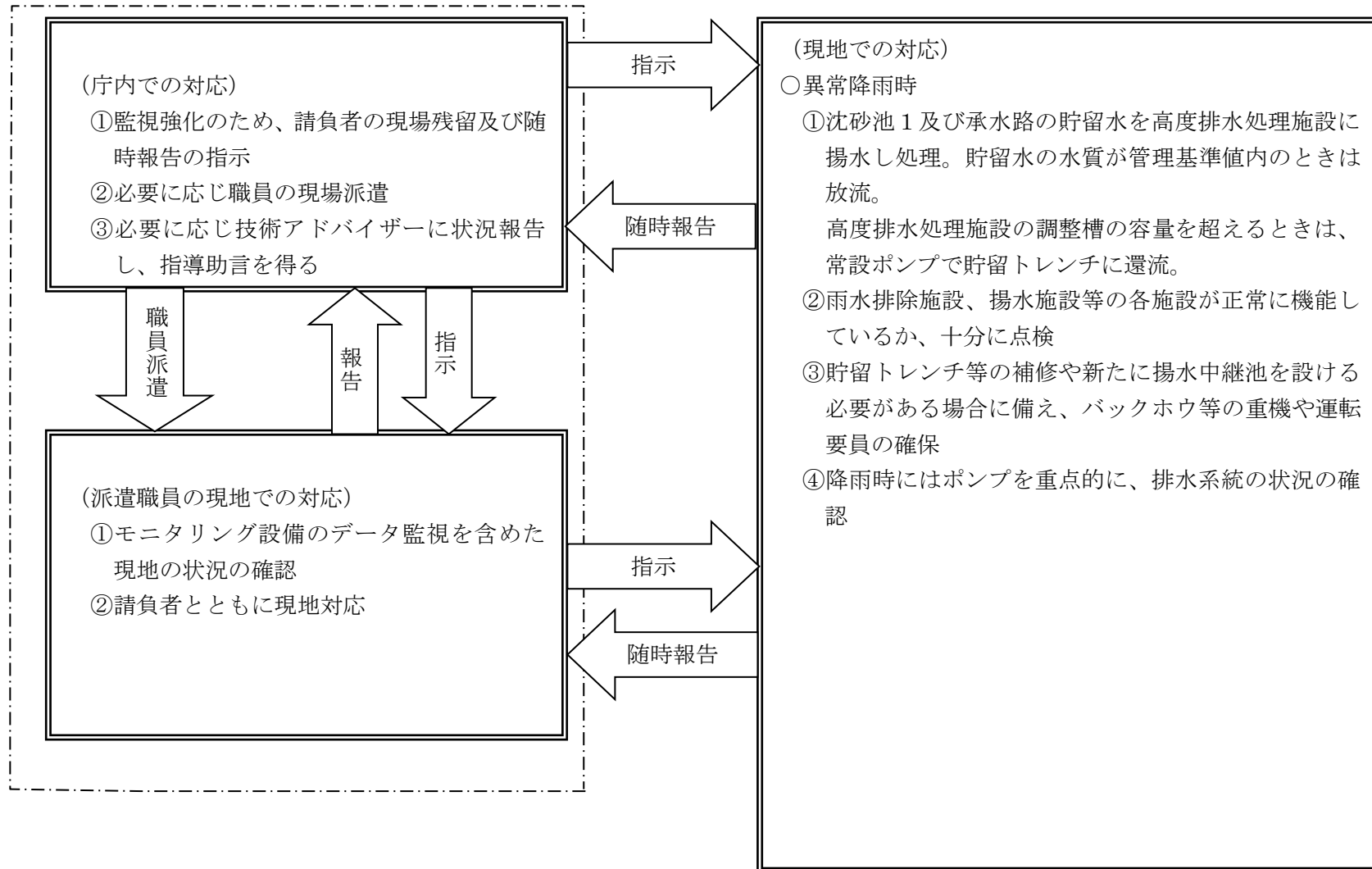


図-5 設備等に異常が生じた場合の管理体制

廃棄物対策課

請負者



図－6 荒天時の管理体制